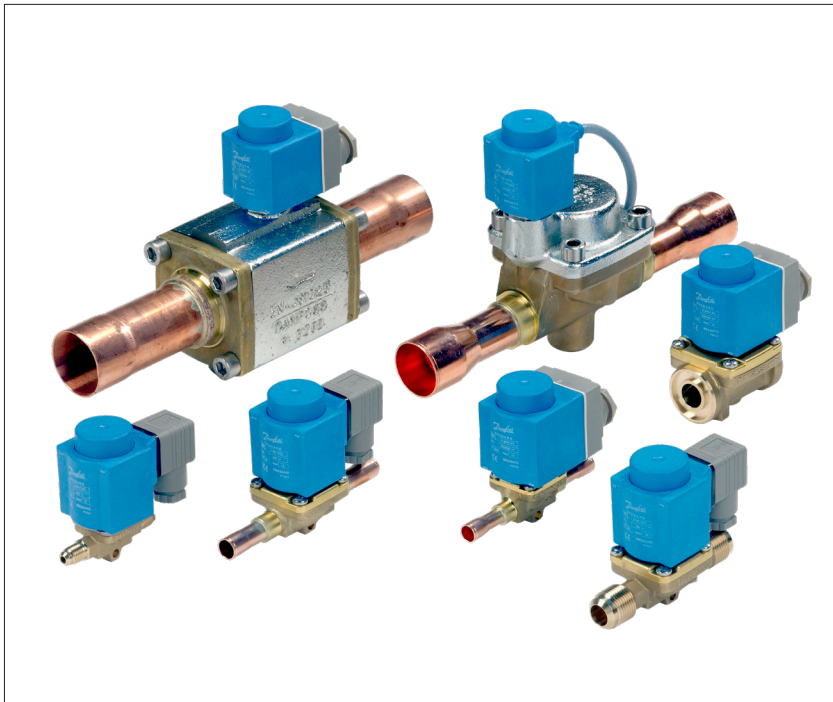


データシート

電磁弁
タイプEVR 2 - EVR 40 バージョン2

EVRは直動式あるいはパイロット式の電磁弁です。可燃性冷媒などのほとんどの冷媒で、液配管、吸入配管およびホットガスの配管に適しています。

EVRバルブとコイルは別売りです。

特徴

- ・ 冷蔵、冷凍、空調設備を対象とする幅広い種類の電磁弁
- ・ 通電開方式 (NC) および通電閉方式 (NO) の製品をご提供しております。
- ・ AC および DC コイルからお選びいただけます。
- ・ 可燃性冷媒などを含むほとんどの冷媒に適しています。
- ・ 流体温度上限 105°C
- ・ フレア継手最大 3/8 in、
- ・ ろう付用継手最大 2 1/8 in に対応。
- ・ 拡管されたろう付け用継手は、簡単に設置することができます。ろう付けの際にバルブ分解する必要ありません。
- ・ フレア、ろう付継手、フランジ継手製品をお求めいただけます。

認定

- ・ 欧州圧力機器指令 (PED) 2014/68/EU
- ・ 低電圧指令 (LVD) 2014/35/EU
- ・ UL429 General Purpose Valve
- ・ EAC
- ・ UA
- ・ ATEX ゾーン 2
- ・ CQC
- ・ RoHS II
- ・ 船舶用認定: 最新の更新情報はダンフォスまでお問い合わせください

目次	技術データ	3
	定格容量 [kW]	4
	注文	5
	EVRろう付継手 (NC).....	5
	EVRろう付継手 (NO).....	6
	フレア継手 (NC).....	6
	EVRフレア継手 (NO).....	6
	EVRフランジ継手 (NC)	7
	EVRろう付継手 (NC).....	7
	機能	8
	設計および材質仕様.....	9
	EVR 2 - EVR 3 ろう付継手およびフレア継手.....	9
	EVR 4 - EVR 6 - EVR 8 ろう付継手およびフレア継手.....	10
	EVR 10 ろう付継手およびフレア継手.....	11
	EVR15 - EVR 18 ろう付継手、フレア継手、フランジ継手.....	12
	EVR 20 - EVR 3 ろう付継手およびフランジ継手.....	13
	EVR25 ろう付継手.....	14
	EVR 32 - EVR40 ろう付継手.....	15
	EVR ろう付継手.....	16
	寸法および重量.....	17
	EVR 2 - EVR 3 ろう付継手.....	17
	EVR 4 - EVR 6 - EVR 8 ろう付継手.....	18
	EVR10 ろう付継手.....	19
	EVR 15 - EVR18 ろう付継手.....	20
	EVR 20 - EVR 22 ろう付継手.....	21
	EVR25 ろう付継手.....	22
	EVR 32 - EVR40 ろう付継手.....	23
	EVR15 ろう付継手.....	24
	EVR20 ろう付継手.....	25
	EVR2 - EVR 3 ろう付継手.....	26
	EVR6 ろう付継手.....	27
	EVR10 ろう付継手.....	28
	EVR15 ろう付継手.....	29
	EVR 15 フランジ継手.....	30
	EVR 20 フランジ継手.....	31
	液体容量.....	32
	吸入容量.....	35
	ホットガス容量.....	47

技術データ

冷媒

R22/R407C, R134a, R404A/R507, R410A, R407A, R32, R290, R600, R600a, R1234ze, R404A, R407F, R407H, R125, R152A, R1234yf, R448A, R449A, R452A, R450A. 適用冷媒の総合表は www.products.danfoss.com のサイトをご覧ください。個別のコード番号を検索してください。サイト内では技術データの一部として冷媒を記載しております。



R32, R152A, R290, R600, R600a, R1234yf, R1234ze に関する特別注意事項:

本製品はATEX, ISO 5149, IEC60335, ULに準拠し検証されています。発火リスクはISO 5149およびIEC 60335に準拠して評価されています。本ページの下の部分にある安全上の注意をご覧ください。

流体温度

-40 - 105 °C / デフロスト中は最高130 °C

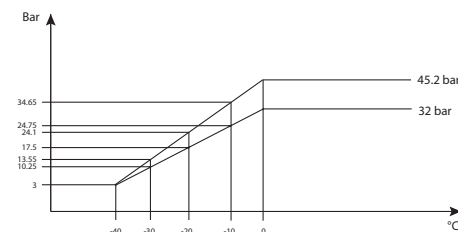
周囲温度とコイル用エンクロージャにつきましては、別紙の電磁およびATEXコイルのデータシートをご覧ください。

トをご覧ください。

最高使用圧力(MWP)

EVRろう付継手およびフレア継手 45.2 bar.

EVR フランジ継手: 32 bar.



流体温度(°C)と最高使用圧力(bar)の関係

能力(容量)

表の K_v 値をご覧ください。

K_v 値は弁による圧力損失1barのとき、バルブを流れる水量を $[m^3/h]$ で表した値(水の密度 $\rho = 1000kg/m^3$) です。

本データシートの後半にある能力表をご覧ください。

形式	開弁作動圧力差 標準コイル Δp [bar]		
	最小	最大(=MOPD)液体	
		AC コイル [10 W]	DC コイル [20 W]
EVR 2 NC	0.00	38	33
EVR 3 NC	0.00	38	18
EVR 4 NC	0.03	38	28
EVR 6 NC	0.03	38	28
EVR 6 NO	0.03	21	21
EVR 8 NC	0.03	38	28
EVR 10 NC	0.03	38	20
EVR 10 NO	0.03	21	21
EVR 15 NC	0.03	38	20
EVR 15 NO	0.03	21	21
EVR 18 NC	0.03	38	20
EVR 20 NC	0.03	38	20
EVR 20 NO	0.03	19	19
EVR 22 NC	0.03	38	20
EVR 22 NO	0.03	19	19
EVR 25 NC	0.20	38	17
EVR 32 NC	0.20	38	17
EVR 40 NC	0.20	38	17

ご希望があれば、MODPがより高い 12 Wおよび 20 W AC コイルもお求めいただけます。



ろう付継手でマニュアルスピンドルのないEVR 2 - EVR 22は、R32, R152A, R290, R600, R600a, R1234yfおよび R1234zeを流体として用いるシステムに使用することができます。

ダンフォスでは、安全システムに対して安全基準が不要な国では、設置者が可燃性冷媒を含むシステムに関する第三者機関の承認を得ることを推奨しています。

注意事項: これらの特定の冷媒については、データシート中の特定の選択基準に従ってください。

定格容量 [kW]
他の冷媒については
Coolselector®2を参照
してください

形式	R22/R407C	R134a	R404A/R507	R410A	R32	R290	R600a
液							
EVR 2	3.02	2.79	2.04	2.96	4.23	3.36	3.38
EVR 3	5.43	5.02	3.68	5.32	7.61	6.05	6.09
EVR 4	13.68	12.66	9.26	13.41	19.17	15.23	15.33
EVR 6	17.90	16.56	12.12	17.55	25.09	19.93	20.07
EVR 8	21.32	19.73	14.44	20.90	29.88	23.74	23.90
EVR 10	37.62	34.80	25.47	36.88	52.71	41.88	42.17
EVR 15	57.93	53.60	39.23	56.79	81.18	64.49	64.94
EVR 18	75.84	70.16	51.36	74.35	106.26	84.43	85.01
EVR 20	120.29	111.29	81.46	117.93	168.56	133.92	134.85
EVR 22	137.19	126.92	92.90	134.49	192.23	152.73	153.79
EVR 25	149.23	138.06	101.06	146.30	-	-	-
EVR 32	254.97	235.89	172.66	249.96	-	-	-
EVR 40	368.74	341.15	249.71	361.49	-	-	-
吸入ガス							
EVR 2	0.33	0.24	0.29	0.42	0.54	0.41	0.23
EVR 3	0.60	0.44	0.52	0.75	0.96	0.73	0.41
EVR 4	1.51	1.10	1.32	1.90	2.43	1.85	1.03
EVR 6	1.98	1.44	1.72	2.48	3.18	2.42	1.35
EVR 8	2.35	1.71	2.05	2.96	3.78	2.88	1.60
EVR 10	4.15	3.02	3.62	5.22	6.67	5.09	2.83
EVR 15	6.40	4.65	5.57	8.03	10.28	7.83	4.36
EVR 18	8.37	6.09	7.30	10.52	13.45	10.26	5.70
EVR 20	13.28	9.66	11.57	16.68	21.34	16.27	9.04
EVR 22	15.15	11.02	13.20	19.02	24.34	18.55	10.31
EVR 25	16.33	11.79	14.25	20.58	-	-	-
EVR 32	27.90	20.14	24.35	35.16	-	-	-
EVR 40	40.35	29.12	35.21	50.85	-	-	-
ホットガス							
EVR 2	1.35	1.04	1.10	1.65	2.18	1.54	0.94
EVR 3	2.42	1.87	1.99	2.98	3.92	2.76	1.70
EVR 4	6.10	4.70	5.01	7.50	9.86	6.96	4.28
EVR 6	7.99	6.16	6.56	9.81	12.91	9.11	5.61
EVR 8	9.51	7.33	7.81	11.68	15.37	10.85	6.68
EVR 10	16.78	12.94	13.78	20.61	27.12	19.14	11.78
EVR 15	25.85	19.93	21.22	31.74	41.77	29.48	18.14
EVR 18	33.84	26.08	27.77	41.55	54.67	38.59	23.75
EVR 20	53.68	41.37	44.05	65.91	86.72	61.21	37.67
EVR 22	61.22	47.18	50.24	75.17	98.91	69.81	42.96
EVR 25	87.87	67.73	72.12	107.91	-	-	-
EVR 32	150.17	115.75	123.24	184.40	-	-	-
EVR 40	217.22	167.43	178.27	266.74	-	-	-

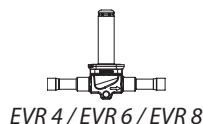
液および吸入ガスの定格容量は、蒸発温度 $t_e = -10\text{ }^\circ\text{C}$ 、バルブ入口の液体温度 $t_l = 25\text{ }^\circ\text{C}$ 、バルブの圧力損失 $\Delta p = 0.15\text{ bar}$ に基づいています。

ホットガスの定格容量は、凝縮温度 $t_c = 40\text{ }^\circ\text{C}$ 、弁全体の圧力損失 $\Delta p = 0.8\text{ bar}$ 、ホットガス温度 $t_h = 65\text{ }^\circ\text{C}$ 、および過冷却 $\Delta t_{\text{sub}} = 4\text{ K}$ によって決まります。

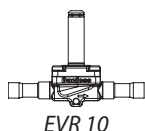
注文
EVR ろう付継手、通電開方式 (NC) - バルブ本体別売り



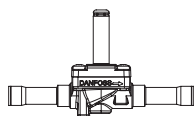
EVR 2 / EVR 3



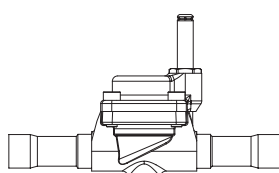
EVR 4 / EVR 6 / EVR 8



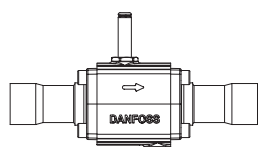
EVR 10



EVR 15 / EVR 18 / EVR 20 / EVR 22



EVR 25

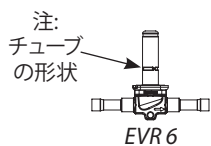


EVR 32 / EVR 40

形式	コイル電圧	継手寸法 [in]	継手寸法 [mm]	マニュアルスピンドル	K _v 値 [m ³ /h]	コード番号
EVR 2	AC/DC	¼	-	なし	0.15	032F1201
	AC/DC	¼	-	なし	0.15	032F7100
	AC/DC	-	6	なし	0.15	032F1202
EVR 3	AC/DC	¼	-	なし	0.26	032F1206
	AC/DC	¾	-	なし	0.26	032F1204
	AC/DC	-	6	なし	0.26	032F1207
EVR 4	AC/DC	-	10	なし	0.26	032F1208
	AC/DC	¾	-	なし	0.70	032L7110
	AC/DC	¾	-	なし	1.0	032L1212
EVR 6	AC/DC	¾	-	有	0.87	032L7116
	AC/DC	-	10	なし	1.0	032L1213
	AC/DC	-	12	なし	1.0	032L1236
	AC/DC	½	-	なし	1.0	032L1209
	AC/DC	½	-	有	0.87	032L7144
	AC/DC	¾	-	なし	1.0	032L7117
EVR 8	AC/DC	½	-	なし	1.15	032L7121
	AC/DC	½	-	有	1.09	032L7148
	AC/DC	¾	-	なし	1.56	032L7122
EVR 10	AC/DC	¾	-	なし	1.47	032L7125
	AC/DC	-	12	なし	2.2	032L1218
	AC/DC	½	-	なし	2.2	032L1217
	AC/DC	½	-	有	2.2	032L1188
	AC/DC	¾	16	なし	2.2	032L1214
	AC/DC	¾	-	有	2.2	032L7149
EVR 15	AC/DC	¾	16	なし	3.3	032L1228
	AC/DC	¾	16	有	3.3	032L1227
	AC/DC	7/8	22	なし	3.3	032L1225
EVR 18	AC/DC	7/8	-	有	3.9	032L1004
EVR 20	AC/DC	7/8	-	なし	6.0	032L1240
	AC/DC	7/8	-	有	6.0	032L1254
	AC/DC	1 ½	-	なし	6.0	032L1244
	AC/DC	-	28	なし	6.0	032L1245
EVR 22	AC/DC	1 ½	-	なし	6.0	032L7145
	AC/DC	1 ½	-	有	6.0	032L7137
	AC/DC	1 ¾	-	なし	6.0	032L3267
EVR 25	AC/DC	1 ½	-	有	9.8	032L2200
	AC/DC	1 ½	-	なし	9.8	032L2201
	AC/DC	-	28	有	9.8	032L2205
	AC/DC	-	28	なし	9.8	032L2206
	AC/DC	1 ¾	-	有	9.8	032L2207
	AC/DC	1 ¾	-	なし	9.8	032L2208
EVR 32	AC/DC	1 ¾	35	有	16.7	032L1105
	AC/DC	1 ¾	35	なし	16.7	032L1106
	AC/DC	1 ¾	-	有	16.7	032L1103
	AC/DC	1 ¾	-	なし	16.7	032L1104
	AC/DC	-	42	有	16.7	032L1107
	AC/DC	-	42	なし	16.7	032L1108
	AC/DC	2 ½	-	なし	16.7	032L1180
EVR 40	AC/DC	2 ½	-	有	16.7	032L1181
	AC/DC	1 ¾	-	有	24.2	032L1109
	AC/DC	1 ¾	-	なし	24.2	032L1110
	AC/DC	-	42	有	24.2	032L1113
	AC/DC	-	42	なし	24.2	032L1114
	AC/DC	2 ½	-	有	24.2	032L1111
AC/DC	2 ½	-	なし	24.2	032L1112	

コイルについては別紙のデータシートをご覧ください。

注文
EVR ろう付継手、通電閉方式
(NO) -バルブ本体別



形式	コイル電圧	継手寸法 [in]	継手寸法[mm]	マニュアル スピンドル	K _v 値[m ³ /h]	コード番号
EVR 6	AC / DC	¾	-	なし	1.0	032L1290
	AC / DC	-	10	なし	1.0	032L1295
EVR 10	AC / DC	½	-	なし	2.2	032L1291
	AC / DC	-	12	なし	2.2	032L1296
EVR 15	AC / DC	¾	16	なし	3.3	032L1299
	AC / DC	7/8	-	なし	3.3	032L3270
EVR 20	AC / DC	7/8	-	なし	6.0	032L1260
	AC / DC	1 ¼	-	なし	6.0	032L1269
	AC / DC	-	28	なし	6.0	032L1279
EVR 22	AC	1 ¾	-	なし	6.0	032L3268

コイルについては別紙のデータシートをご覧ください。

一般的な電圧のコイルをNOバルブに使用することができます。ただし、110V、および220Vの50/60Hz 共用の製品は除く。

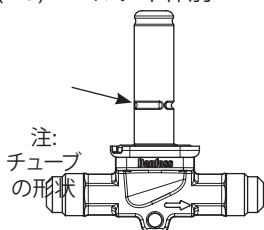
注文
EVRフレア接続、通電閉方式
(NC) -バルブ本体別



形式	コイル電圧	継手寸法 [in]	継手寸法[mm]	マニュアル スピンドル	K _v 値 [m ³ /h]	コード番号
EVR 2	AC / DC	¼	6	なし	0.15	032F8056
EVR 3	AC / DC	¼	6	なし	0.26	032F8107
	AC / DC	¾	10	なし	0.26	032F8116
EVR 6	AC / DC	¾	10	なし	1.0	032L8072
	AC / DC	½	12	なし	1.0	032L8079
EVR 10	AC / DC	½	12	なし	2.2	032L8095
	AC / DC	¾	16	なし	2.2	032L8098
EVR 15	AC / DC	¾	16	有	3.3	032L8100
	AC / DC	¾	16	なし	3.3	032L8101

コイルについては別紙のデータシートをご覧ください。

注文
EVRフレア接続、通電閉方開
(NO) -バルブ本体別



形式	コイル電圧	継手寸法 [in]	継手寸法[mm]	マニュアル スピンドル	K _v 値 [m ³ /h]	コード番号
EVR 6	AC / DC	¾	10	なし	1.0	032L8085
EVR 10	AC / DC	½	12	なし	2.2	032L8090

コイルについては別紙のデータシートをご覧ください。

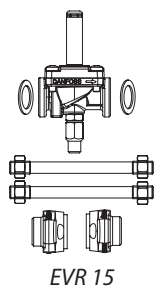
一般的な電圧のコイルをNOバルブに使用することができます。ただし、110V、および220Vの50/60Hz 共用の製品は除く。

バルブ本体にはフレアナットは付属されておりません。

個別フレアナット 別売:

- ¼ in または 6 mm, コード番号 011L1101
- ¾ in または 10 mm, コード番号 011L1135
- ½ in または 12 mm, コード番号 011L1103
- 5/8 in または 16 mm, コード番号 011L1167

注文
EVRフランジ継手、通電開方式
(NC)ーバルブ本体別



形式	コイル電圧	継手	マニュアルスピンドル	コード番号
EVR 15	AC / DC	フランジ	なし	032L1224
	AC / DC	フランジ	有	032L1234
EVR 20	AC / DC	フランジ	なし	032L1243
	AC / DC	フランジ	有	032L1253

コイルについては別紙のデータシートをご覧ください。
フランジ

形式	継手寸法		継手タイプ			コード番号
	[in]	[mm]	ろう付 [in]	ろう付 [mm]	溶接 [in]	
EVR 15	1/2	-	-	-	有	027N1115
	3/8	-	有	-	-	027L1117
	-	16	-	有	-	027L1116
	3/4	-	-	-	有	027N1120
	7/8	-	有	-	-	027L1123
	-	22	-	有	-	027L1122
EVR 20	3/4	-	-	-	有	027N1220
	7/8	-	有	-	-	027L1223
	-	22	-	有	-	027L1222
	1	-	-	-	有	027N1225
	1 1/8	-	有	-	-	027L1229
	-	28	-	有	-	027L1228

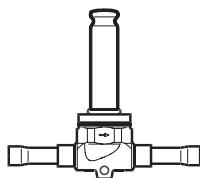
コイルについては別紙のデータシートをご覧ください。

例
EVR 15 マニュアルスピンドルなし
コード番号032L1224

1/2in 溶接フランジセット
コード番号 027N1115

ターミナルボックス付コイル 定格電圧 220 V, 50 Hz
コード番号 018F6701

注文
EVRろう付継手、通電開方式
(NC)ーバルブ本体別



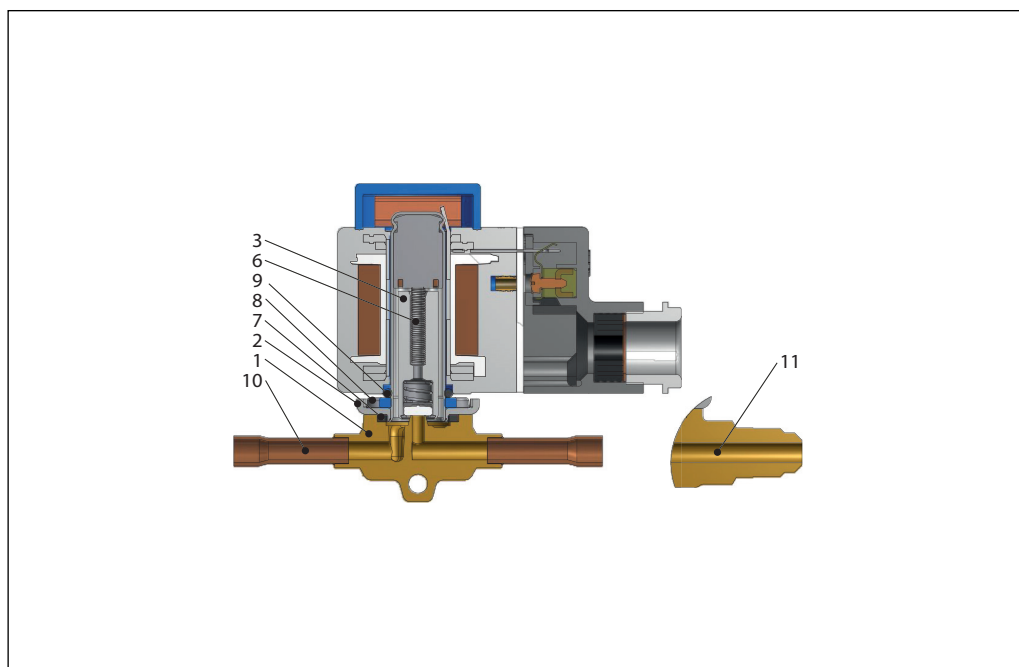
形式	コイル電圧	継手寸法 [in]	継手寸法 [mm]	マニュアルスピンドル	K _v 値[m ³ /h]		コード番号
					矢印方向の流れ	矢印と逆方向の流れ	
EVRC 15	AC / DC	3/8	16	無	2,7	2,5	032L1255
EVRC 20	AC / DC	1/2	22	無	3,6	5,0	032L1258

コイルについては別紙のデータシートをご覧ください。

機能	<p>EVR 電磁弁は、2種類の作動原理に基づいて設計されています。</p> <p>1.直動式 2.パイロット式</p>	<p>す。安定して弁開することのできる最小差圧は0.2 barです。</p> <p>EVR (NO)はEVR (NC)に対し逆の作動をするため、コイルの非通電時に弁が開きます。</p>
詳細は、以下のページの設計と材質に関する図をご覧ください。	<p>1.直動式 (NC) EVR 2 - EVR 3 は直動式です。アマチュア(3)がコイルの磁力により持ち上げられ、全流量に対して弁が直接開きます。</p> <p>よって、(直動式の)最小作動圧力は0 barです。</p>	<p>EVR (NO)が利用できるのはパイロット式のみです。</p> <p>3.EVRCでの双方向フロー操作 EVRCはパイロット式の電磁弁であり、逆止弁内蔵の特殊なダイアフラムが搭載されています。バルブは冷凍設備の液ラインで使用します。</p>
	<p>シートプレートは、直接アマチュア(3)に取り付けてあります。</p> <p>一次側の圧力は、アマチュアおよびシートプレートの上部からかかります。このように、一次側の圧力とスプリング力は、コイルに電流が流れていない時にバルブを閉じるため働きます。</p>	<p>EVRCは双方向の流れを可能にし、ホットガスあるいはデフロストが行われる液ラインで使用することができます。</p> <p>冷凍期間中、EVRCは通常の電磁弁と同様に働きますが、デフロスト中は凝縮液をマニホールドに戻すことができます。</p>
	<p>2.パイロット式 (NC) EVR 4 - EVR 22は「フローティング・ダイアフラム」(4)付きのパイロット式です。ステンレススチール製のパイロットオリフィスはダイアフラムの中央部に位置します。弁のシール部は、アマチュア(3)に直接取り付けられています。コイルに電流が流れていない時、メインポートとパイロット・オリフィスは閉まっています。パイロット・オリフィスとメインポートは、アマチュアのスプリング力および一次側と二次側の差圧によって閉じられます。</p>	<p>デフロスト中、EVRC用のコイルは通電する必要があります。</p> <p>4.EVR 6-25 NCの手動ステム操作 EVR 6-25 NCは、オプションでステム操作を行い、コイルの電源を切ったときに、NC弁を手動で強制的に開くことができます。</p>
	<p>電流がコイルに流れるとき、アマチュアは磁力によって引き上げられ、パイロット・オリフィスを開きます。これにより、ダイアフラム上の圧力が二次側にぬけます。つまりダイアフラム上のスペースは、バルブの二次側とつながります。</p>	<p>保護キャップは必ず取り外してください。そうすると、手動ステム(12)は、弁が完全に開くまで回転します。完全に閉じてから、完全に開いた位置に達するには約6サイクルかかります。</p>
	<p>次に、ダイアフラム下部の圧力が上部の圧力に勝り、ダイアフラムを押しメインポートから離し、流量が流れるように開きます。したがって、バルブを開き、その状態を維持するには、一定の最小差圧が必要となります。EVR 4 - EVR 22 バルブでの安定して弁が開くことのできる最小差圧は、0.03 barです。</p>	<p>手動操作が完了したら、手動で弁を再度閉じて、保護キャップを装着することができます。または、EVR NC および NO弁はすべて、コイルを取り外して、手動で操作することができます。また、電磁弁テスター (永久磁石) コードno. 018F0091を使用して、強制的に弁を開いたり閉じることができます。</p>
	<p>電流が止められるとき、パイロットオリフィスは閉じられます。均圧穴を通じてダイアフラム上の圧力は、一次側の圧力と同じ値まで上昇し、ダイアフラムはメインポートを閉じます。</p>	
	<p>EVR 25、EVR 32 およびEVR 40 は、パイロット式ピストンバルブです。シーリング面のサーボピストン(16)は、弁の入口と出口側の差圧、および圧縮バネの力によって、弁を閉じます。コイルのスイッチが入ると、パイロット・オリフィスが開きます。これにより、バルブのピストンばね側の圧力が解放されます。次に差圧により、バルブが開かれま</p>	

設計および材質仕様

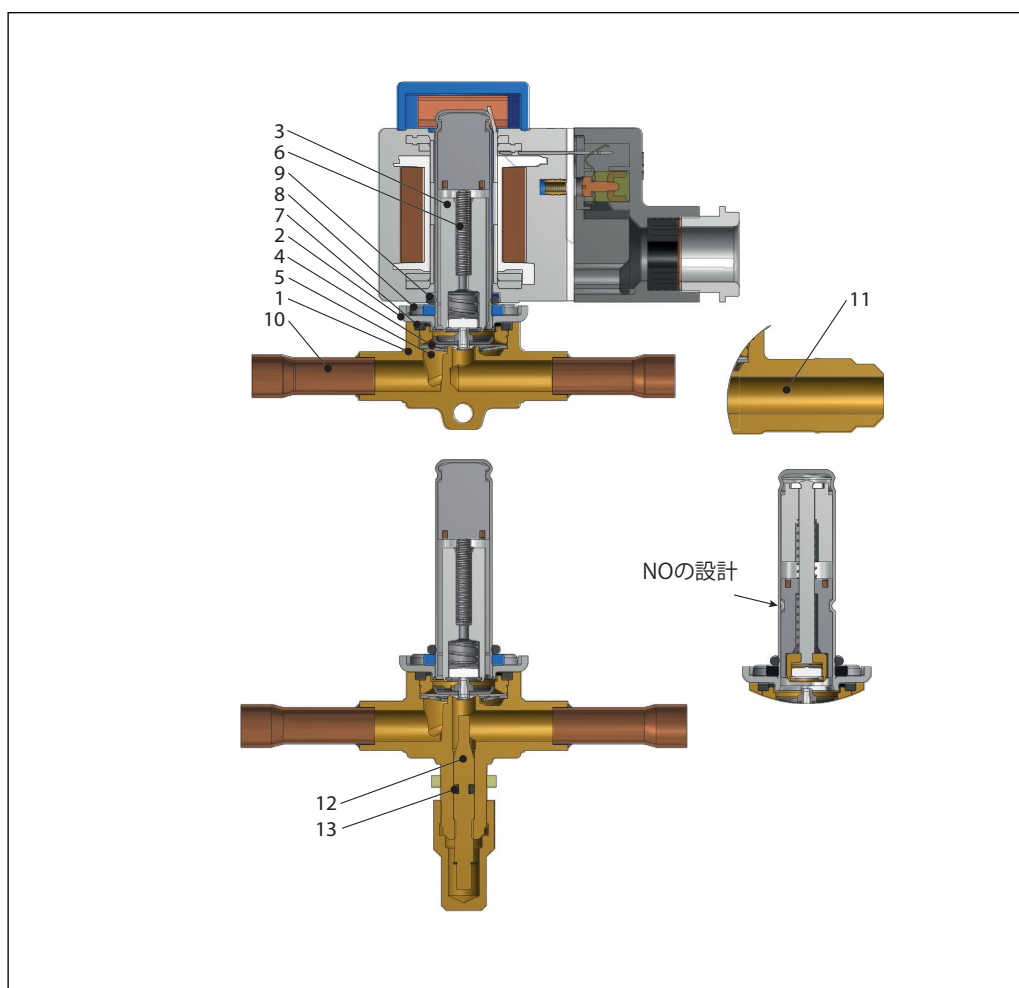
EVR 2 - EVR 3
ろう付継手およびフレア継手



番号	部品名	材質
1	バルブボディ	黄銅、銅
2	バルブカバー	ステンレス鋼
3	アマチュア	ステンレス鋼/PTFE
6	アマチュアスプリング	ステンレス鋼
7	ガスケット	CR
8	ボルト	ステンレス鋼
9	Oリング	EPDM
10	ろう付継手	銅
11	フレア継手	黄銅

設計および材質仕様

EVR 4 - EVR 6 - EVR 8
ろう付継手およびフレア継手

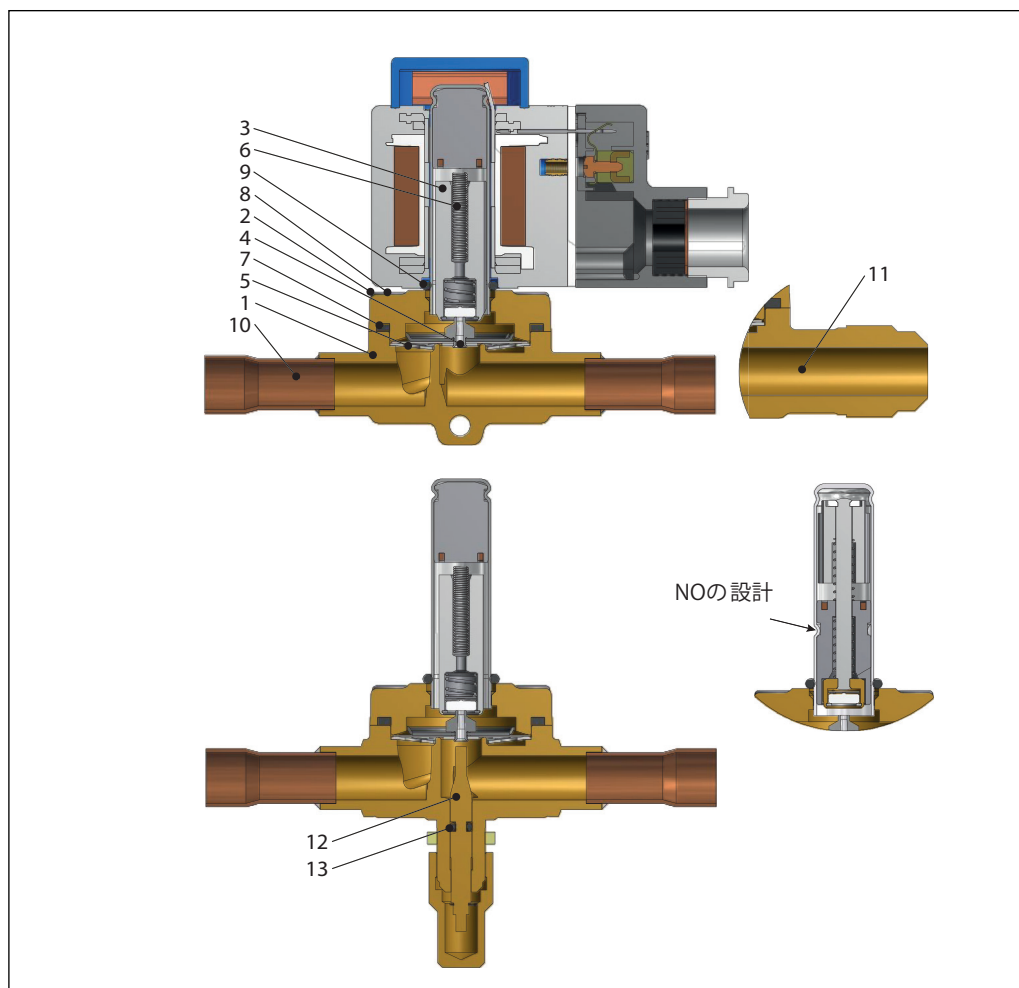


番号	部品名	材質
1	バルブボディ	黄銅
2	バルブカバー	ステンレス鋼
3	アマチュア	ステンレス鋼/PTFE
4	ダイヤフラム	ステンレス鋼/PTFE
5	サポートワッシャー	ステンレス鋼
6	アマチュアスプリング	ステンレス鋼
7	ガスケット	CR
8	ボルト	ステンレス鋼
9	Oリング	EPDM
10	ろう付継手	銅
11	フレア継手	黄銅
12	マニュアルスピンドル ¹⁾	黄銅
13	Oリング	CR

¹⁾ マニュアルスピンドルは EVR 4ではご利用いただけません。

設計および材質仕様

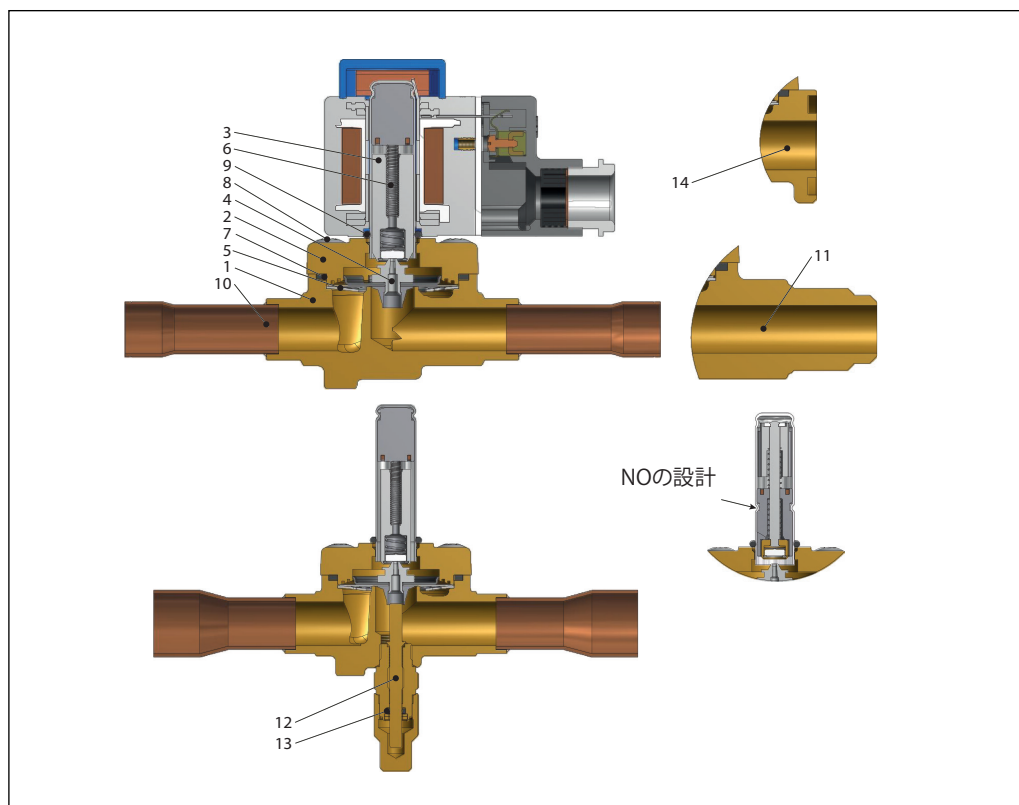
EVR 10
ろう付継手およびフレア継手



番号	部品名	材質
1	バルブボディ	黄銅
2	バルブカバー	黄銅
3	アマチュア	ステンレス鋼/PTFE
4	ダイヤフラム	ステンレス鋼/PTFE
5	サポートワッシャー	ステンレス鋼
6	アマチュアスプリング	ステンレス鋼
7	ガスケット	CR
8	ボルト	ステンレス鋼
9	Oリング	EPDM
10	ろう付継手	銅
11	フレア継手	黄銅
12	マニュアルスピンドル	黄銅
13	Oリング	CR

設計および材質仕様

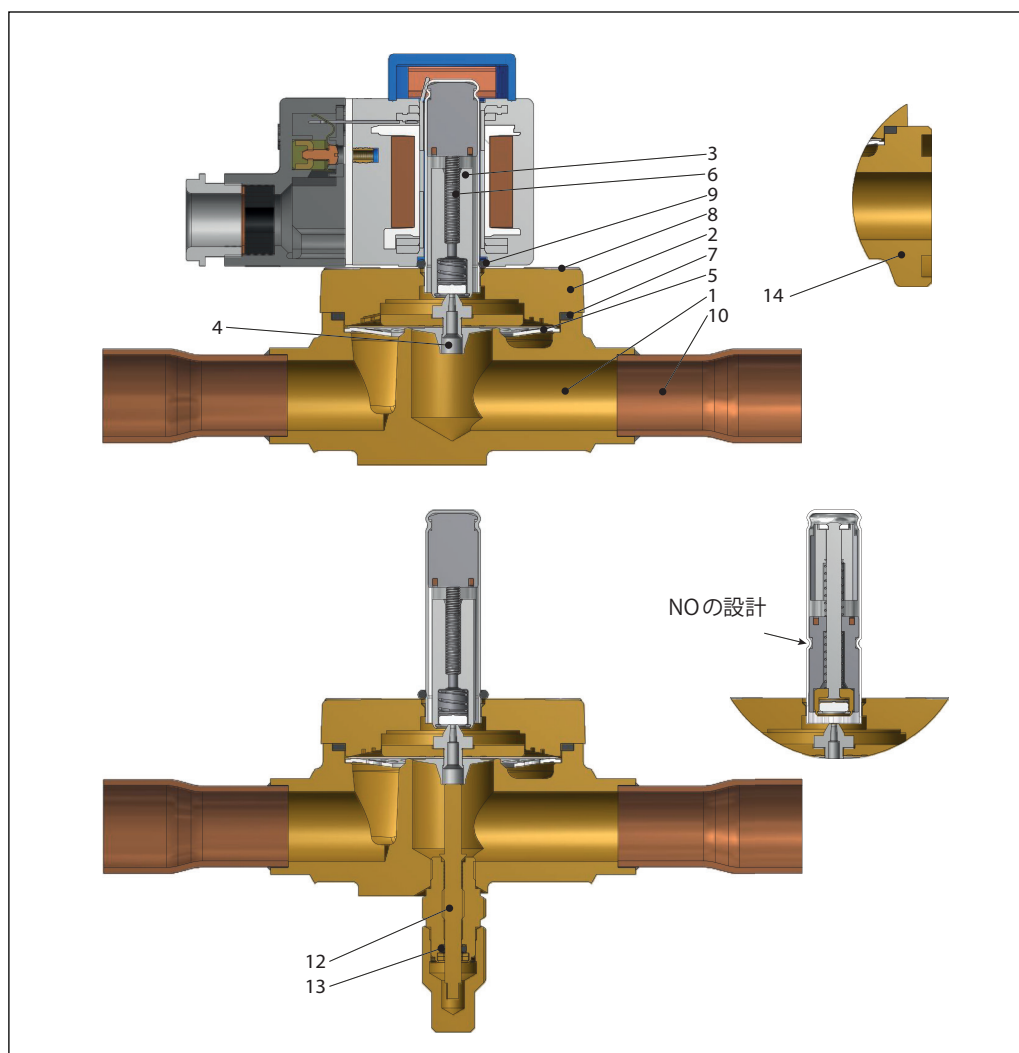
EVR 15 - EVR 18
ろう付、フレア、フランジ継手



番号	部品名	材質
1	バルブボディ	黄銅
2	バルブカバー	黄銅
3	アマチュア	ステンレス鋼/PTFE
4	ダイヤフラム	ステンレス鋼/PTFE
5	サポートワッシャー	ステンレス鋼
6	アマチュアスプリング	ステンレス鋼
7	ガスケット	CR
8	ボルト	ステンレス鋼
9	Oリング	EPDM
10	ろう付継手	銅
11	フレア継手	黄銅
12	マニュアルスピンドル	黄銅
13	Oリング	CR
14	フランジ継手	黄銅

設計および材質仕様

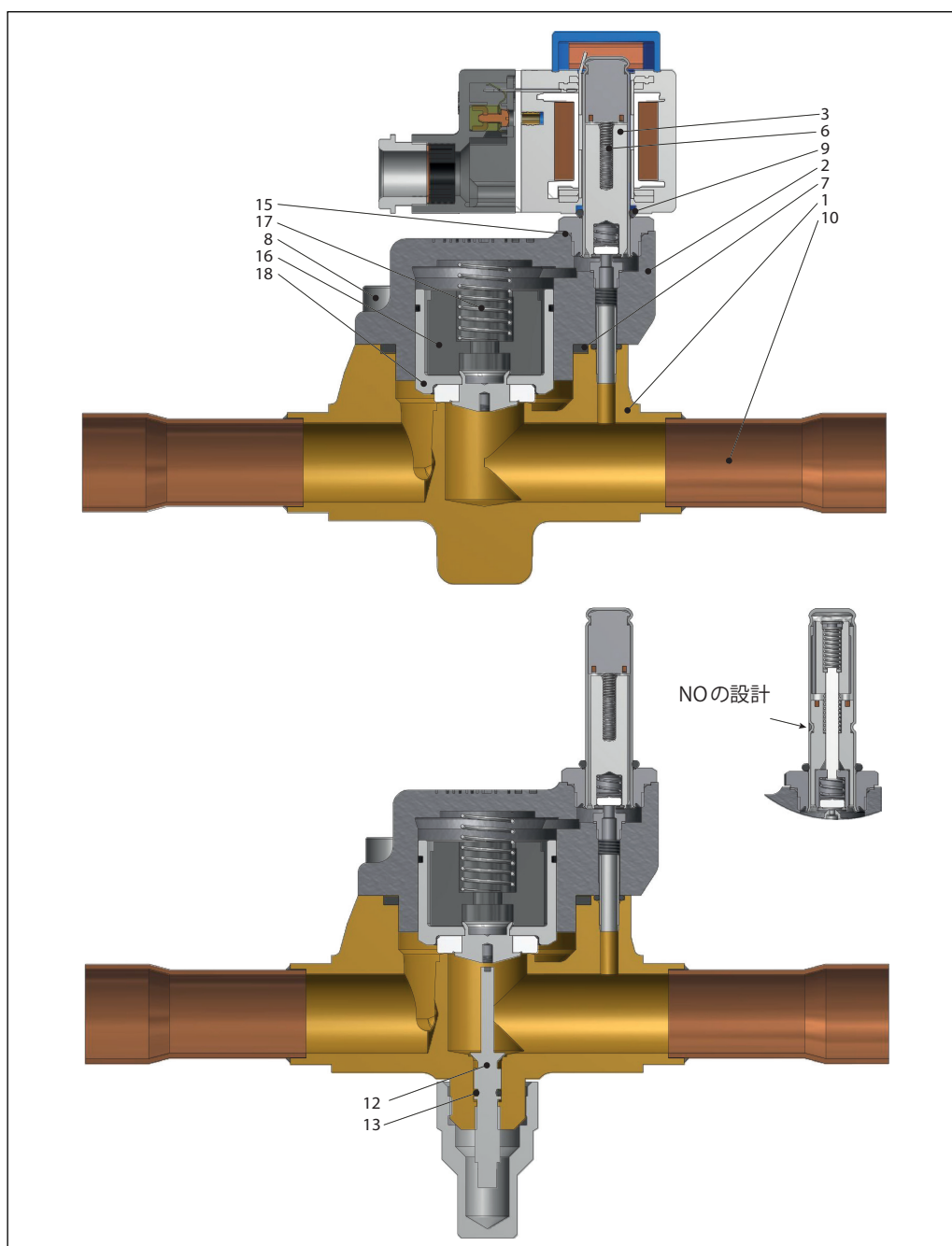
EVR 20 - EVR 22
ろう付継手およびフランジ継手



番号	部品名	材質
1	バルブボディ	黄銅
2	バルブカバー	黄銅
3	アマチュア	ステンレス鋼/PTFE
4	ダイヤフラム	ステンレス鋼/PTFE
5	サポートワッシャー	ステンレス鋼
6	アマチュアスプリング	ステンレス鋼
7	ガスケット	CR
8	ボルト	ステンレス鋼
9	Oリング	EPDM
10	ろう付継手	銅
12	マニュアルスピンドル	黄銅
13	Oリング	CR
14	フランジ継手	黄銅

設計および材質仕様

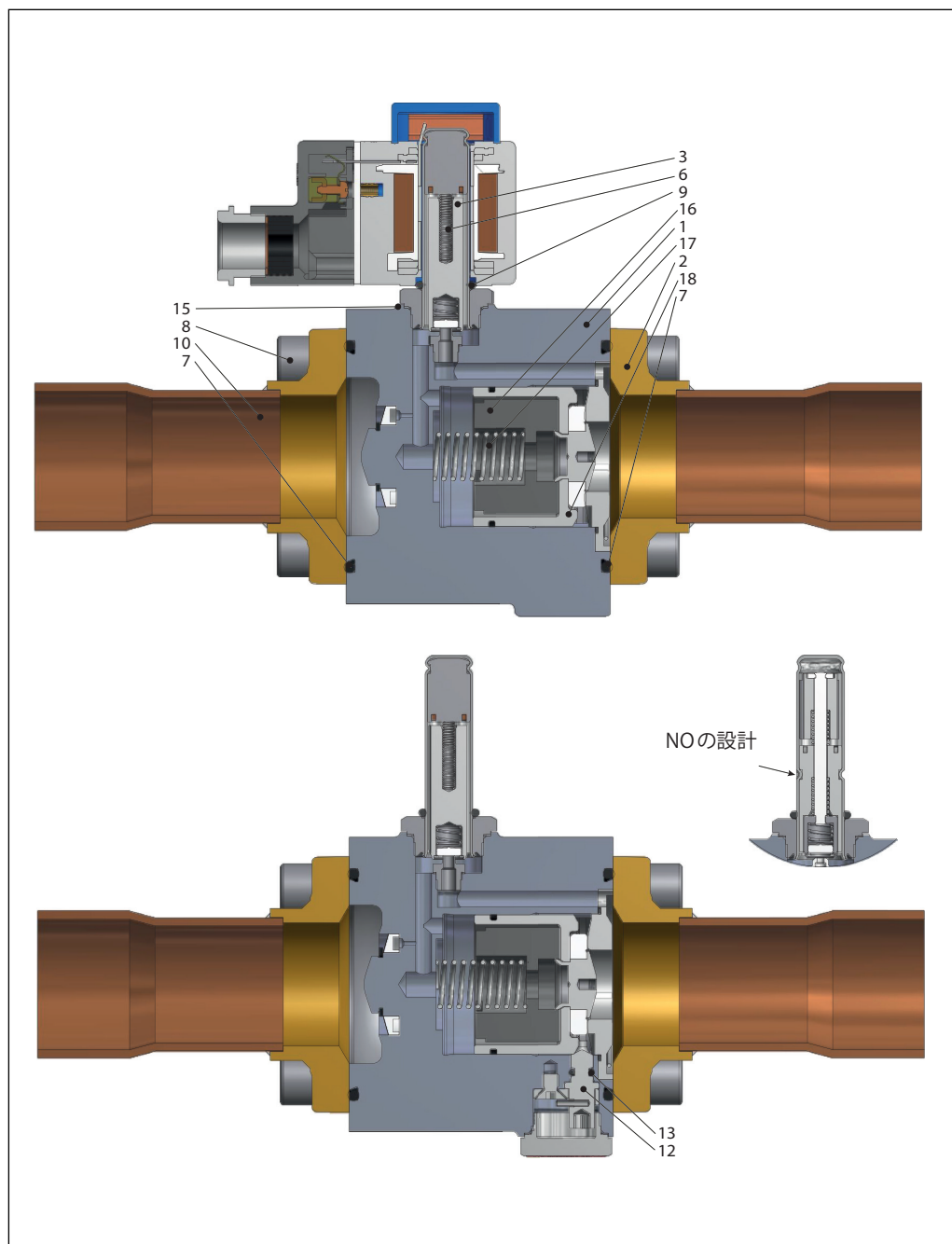
EVR 25
ろう付継手



番号	部品名	材質
1	バルブボディ	黄銅
2	バルブカバー	鋳鉄
3	アマチュア	ステンレス鋼/PTFE
6	アマチュアスプリング	ステンレス鋼
7	ガスケット	CR
8	ボルト	ステンレス鋼
9	Oリング	EPDM
10	ろう付継手	銅
12	マニュアルスピンドル	黄銅
13	Oリング	CR
15	ガスケット	アルミニウム
16	インサート	ナイロン
17	ピストンばね	ステンレス鋼
18	ピストン	ステンレス鋼

設計および材質仕様

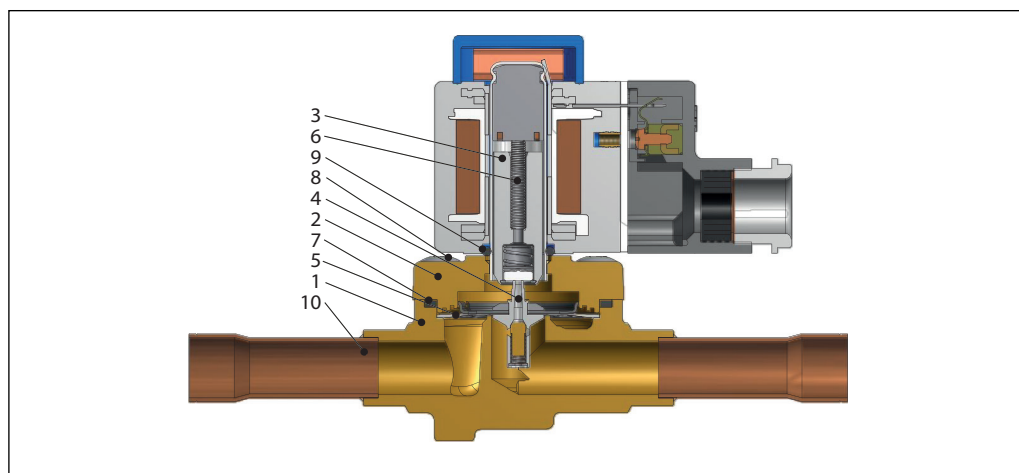
EVR 32 - EVR 40
ろう付継手



番号	部品名	材質
1	バルブボディ	鋳鉄
2	バルブカバー	黄銅
3	アマチュア	ステンレス鋼/PTFE
6	アマチュアスプリング	ステンレス鋼
7	ガスケット	CR
8	ボルト	ステンレス鋼
9	Oリング	EPDM
10	ろう付継手	銅
12	マニュアルスピンドル	黄銅
13	Oリング	CR
15	ガスケット	アルミニウム
16	インサート	ナイロン
17	ピストンばね	ステンレス鋼
18	ピストン	ステンレス鋼

設計および材質仕様

EVRC
ろう付継手

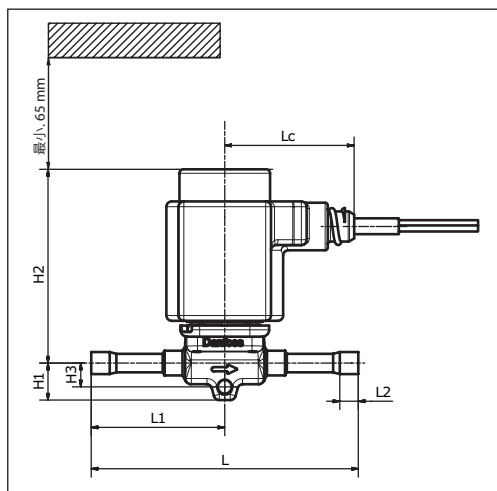


番号	部品名	材質
1	バルブボディ	黄銅
2	バルブカバー	黄銅
3	アマチュア	ステンレス鋼/PTFE
4	ダイアフラム	ステンレス鋼/PTFE
5	サポートワッシャー	ステンレス鋼
6	アマチュアスプリング	ステンレス鋼
7	ガスケット	CR
8	ボルト	ステンレス鋼
9	Oリング	EPDM
10	ろう付継手	銅

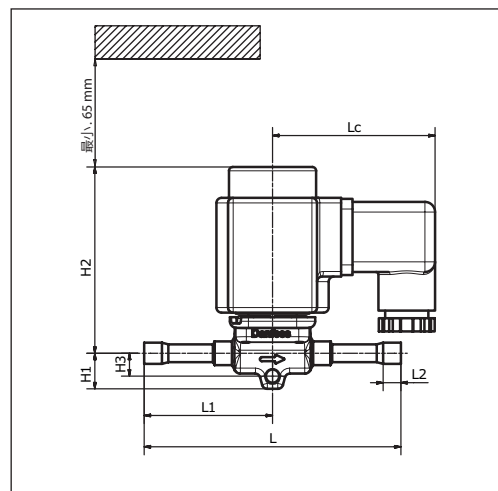
寸法および重量

EVR 2 - EVR 3
ろう付継手

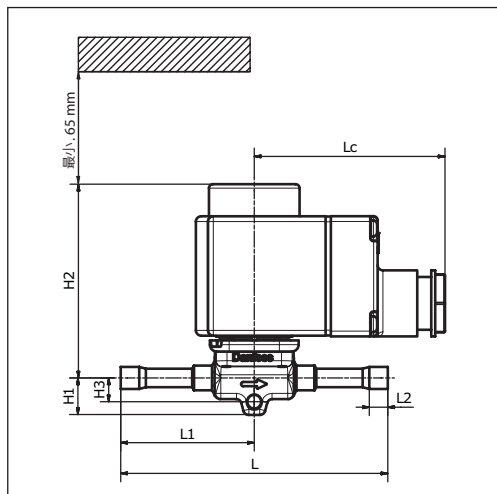
ケーブル付コイル¹⁾



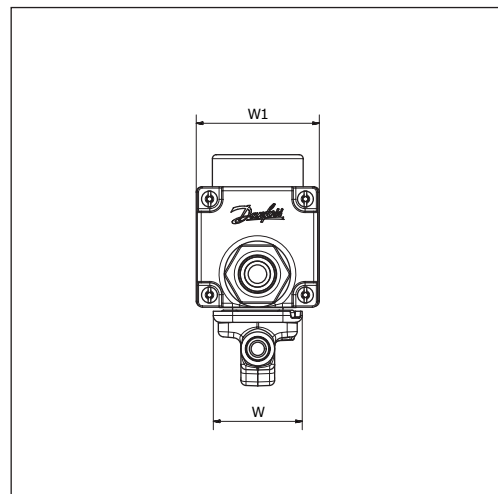
DIN プラグ付コイル²⁾



ターミナルボックス付コイル³⁾



側面図



形式	継手サイズ		H ₁ [mm]	H ₂ [mm]	H ₃ [mm]	L [mm]	L ₁ [mm]	L ₂ [mm]	L _c [mm]	W [mm]	W ₁ 最大 [mm]	コイルを 除く重量 [kg]	
	[in]	[mm]											
EVR 2	1/4	6	14	73	9	101	50.5	7	-	34	-	0.16	
EVR 3	1/4	6	14	73	9	101	50.5	7	-	34	-	0.16	
	3/8	10	14	73	9	117	58.5	8	-	34	-	0.17	
ケーブル付コイル ¹⁾										49	-	46	-
DIN プラグ付コイル ²⁾										64	-	47	-
ターミナルボックス付コイル 10 W ³⁾										72	-	47	-
ターミナルボックス付コイル 12 / 20 W ³⁾										80	-	68	-

コイルの重量

10 W: 約 0.3 kg

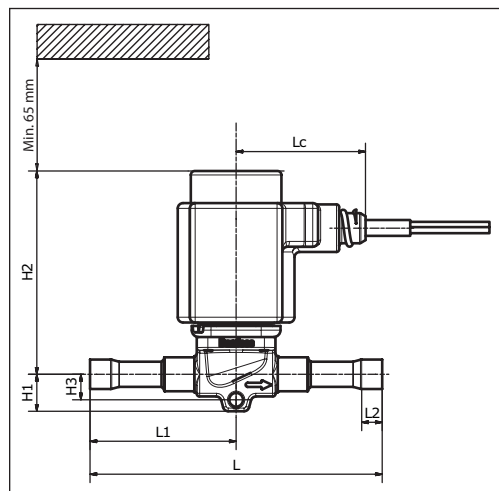
12 W および 20 W: 約 0.5 kg

3D 図は、こちらをご覧ください。 www.danfoss.com/products/categories/

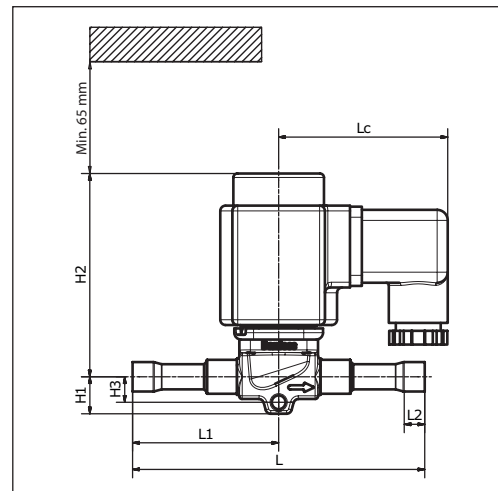
寸法および重量

EVR 4 - EVR 6 - EVR 8
ろう付継手

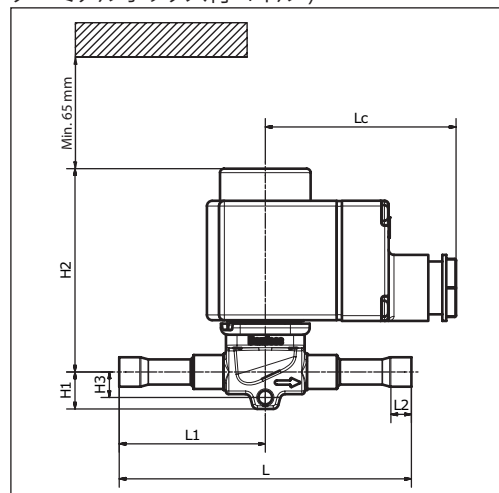
ケーブル付コイル¹⁾



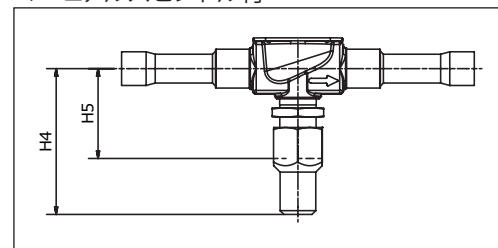
DIN プラグ付コイル²⁾



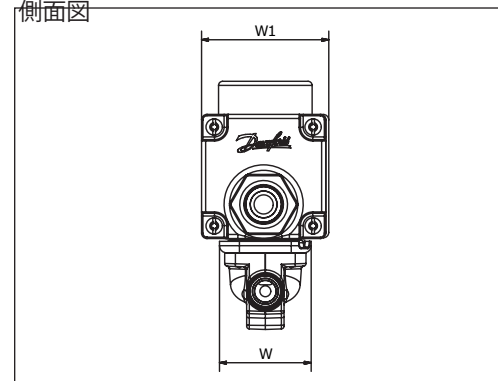
ターミナルボックス付コイル³⁾



マニュアルスピンドル付



側面図



形式	継手サイズ		マニ ユ ア ル ス ピ ン ド ル	H ₁ [mm]	H ₂ [mm]	H ₃ [mm]	H ₄ [mm]	H ₅ [mm]	L [mm]	L ₁ [mm]	L ₂ [mm]	L _c [mm]	W [mm]	W _{最大} [mm]	コイル を除く 重量 [kg]
	[in]	[mm]													
EVR 4	3/8	10	なし	14	78	10	—	—	117	58.5	8	—	34	—	0.19
EVR 6	3/8	10	有	14	78	10	48	30	117	58.5	8	—	34	—	0.19
	3/8	10	なし	14	78	10	—	—	111	55.5	8	—	34	—	0.19
	1/2	12	有	14	78	10	48	30	127	63.5	10	—	34	—	0.20
	1/2	12	なし	14	78	10	—	—	127	63.5	10	—	34	—	0.20
EVR 8	1/2	12	有	14	78	10	48	30	127	63.5	10	—	34	—	0.20
	1/2	12	なし	14	78	10	—	—	127	63.5	10	—	34	—	0.20
	5/8	16	なし	14	78	10	—	—	163	81.5	12	—	34	—	0.20
ケーブル付コイル ¹⁾												49	—	46	—
DIN プラグ付コイル ²⁾												64	—	47	—
ターミナルボックス付コイル 10 W ³⁾												72	—	47	—
ターミナルボックス付コイル 12 / 20 W ³⁾												80	—	68	—

コイルの重量

10 W: 約 0.3 kg

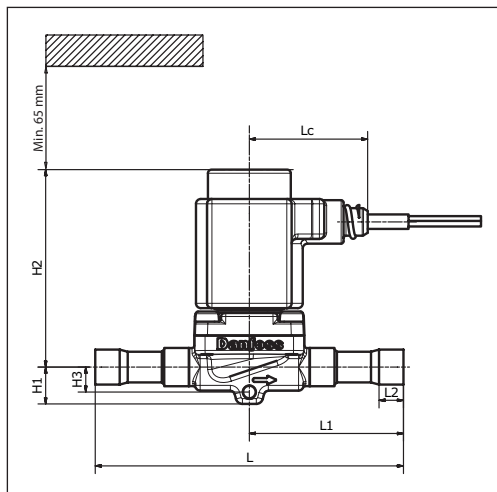
12 W および 20 W: 約 0.5 kg

3D図は、こちらをご覧ください。 www.danfoss.com/products/cataegories/

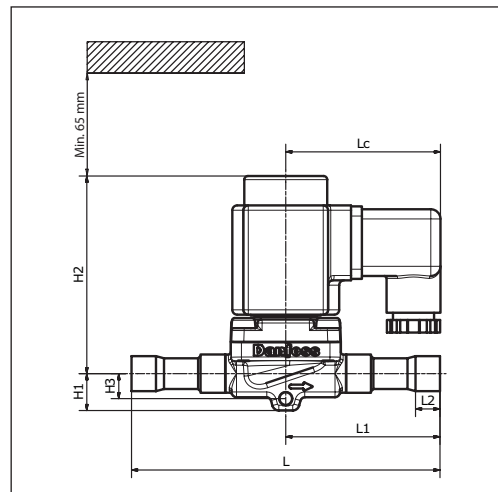
寸法および重量

EVR 10
ろう付継手

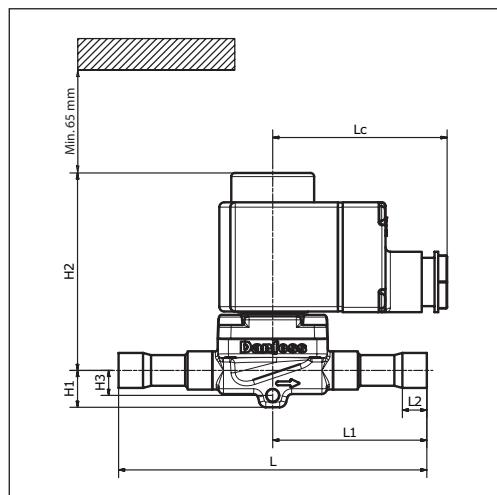
ケーブル付コイル¹⁾



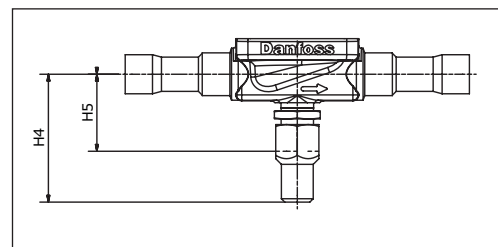
DIN プラグ付コイル²⁾



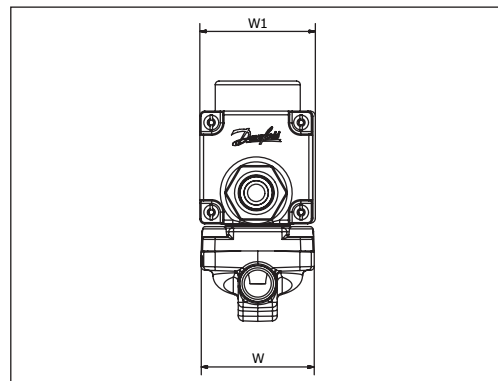
ターミナルボックス付コイル³⁾



マニュアルスピンドル付



側面図



形式	継手サイズ		マニュアルスピンドル	H ₁ [mm]	H ₂ [mm]	H ₃ [mm]	H ₄ [mm]	H ₅ [mm]	L [mm]	L ₁ [mm]	L ₂ [mm]	L _c [mm]	W [mm]	W ₁ 最大 [mm]	コイルを除く重量 [kg]
	[in]	[mm]													
EVR 10	1/2	12	有	15	82	10	48	29	128	64	10	-	46	-	0.39
	3/8	10	なし	15	82	10	-	-	118	59	-	-	46	-	0.34
	1/2	16	なし	15	82	10	-	-	163	81.5	12	-	46	-	0.38
	3/4	16	有	15	82	10	48	29	163	81.5	12	-	46	-	0.40
ケーブル付コイル ¹⁾												49	-	46	-
DIN プラグ付コイル ²⁾												64	-	47	-
ターミナルボックス付コイル 10 W ³⁾												72	-	47	-
ターミナルボックス付コイル 12 / 20 W ³⁾												80	-	68	-

コイルの重量

10 W: 約 0.3 kg

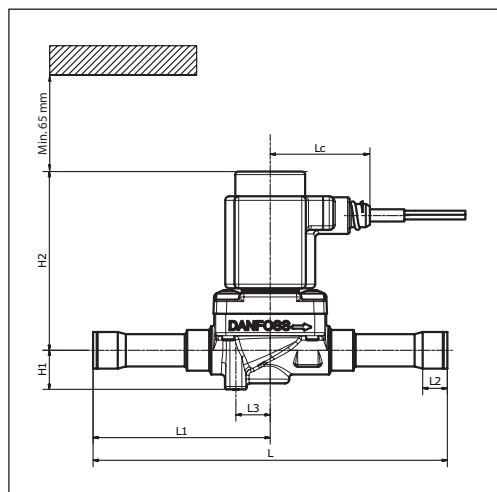
12 W および 20 W: 約 0.5 kg

3D 図は、こちらをご覧ください。 www.danfoss.com/products/categories/

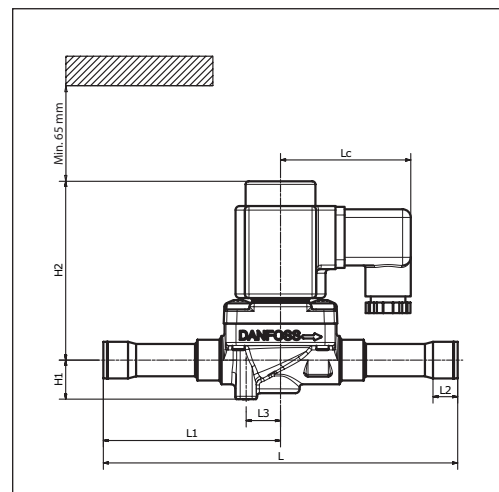
寸法および重量

EVR 15 - EVR 18
ろう付継手

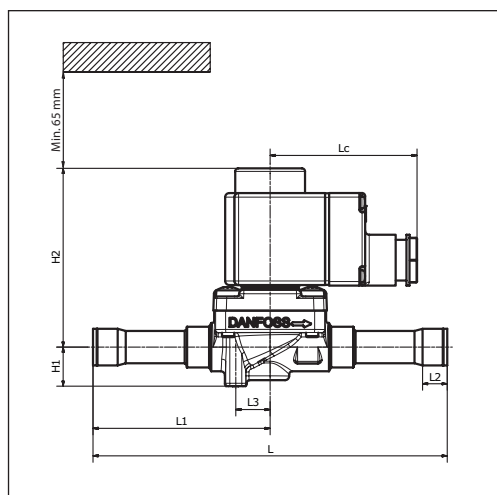
ケーブル付コイル¹⁾



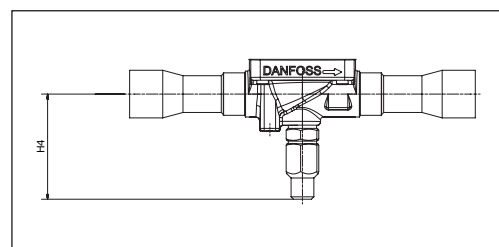
DIN プラグ付コイル²⁾



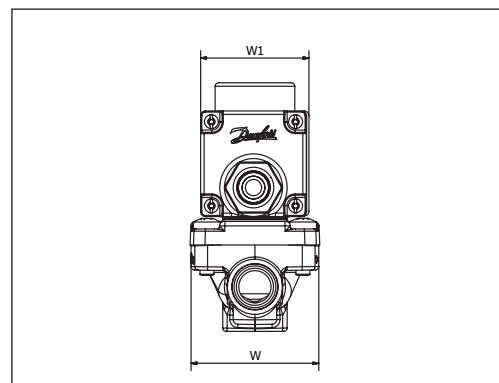
ターミナルボックス付コイル³⁾



マニュアルスピンドル付



側面図



形式	継手サイズ		マニュアルスピンドル	H ₁ [mm]	H ₂ [mm]	H ₄ [mm]	L [mm]	L ₁ [mm]	L ₂ [mm]	L ₃ [mm]	L _c [mm]	W [mm]	W ₁ 最大 [mm]	コイルを除く重量 [kg]	
	[in]	[mm]													
EVR 15	5/8	16	有	19	89	54	174	87	12	17	-	56	-	0.70	
	5/8	16	なし	19	89	-	174	87	12	17	-	56	-	0.70	
	7/8	22	なし	19	89	-	174	87	17	17	-	56	-	0.70	
EVR 18	7/8	22	有	19	89	54	179	89.5	17	17	-	56	-	0.70	
ケーブル付コイル ¹⁾												49	-	46	-
DIN プラグ付コイル ²⁾												64	-	47	-
ターミナルボックス付コイル 10 W ³⁾												72	-	47	-
ターミナルボックス付コイル 12 / 20 W ³⁾												80	-	68	-

コイルの重量

10 W: 約 0.3 kg

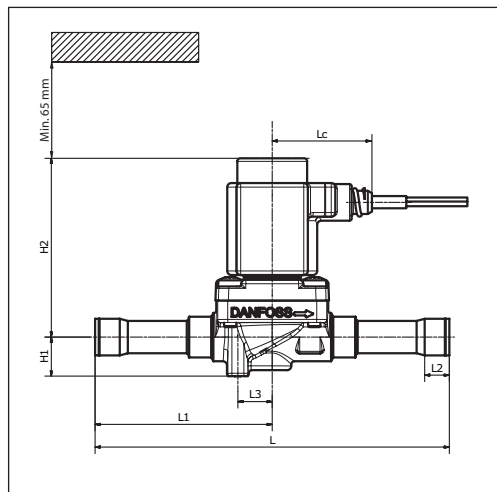
12 W および 20 W: 約 0.5 kg

3D 図は、こちらをご覧ください。 www.danfoss.com/products/cataegories/

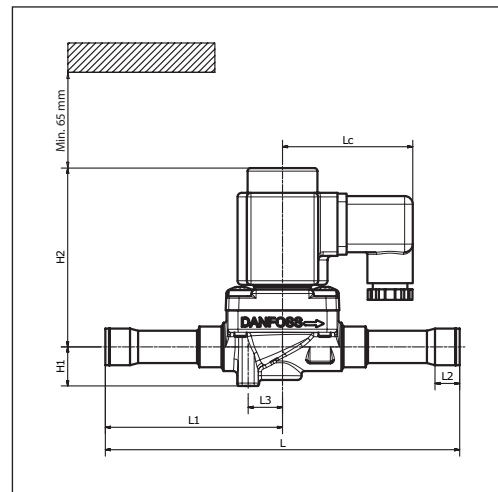
寸法および重量

EVR 20 - EVR 22
ろう付継手

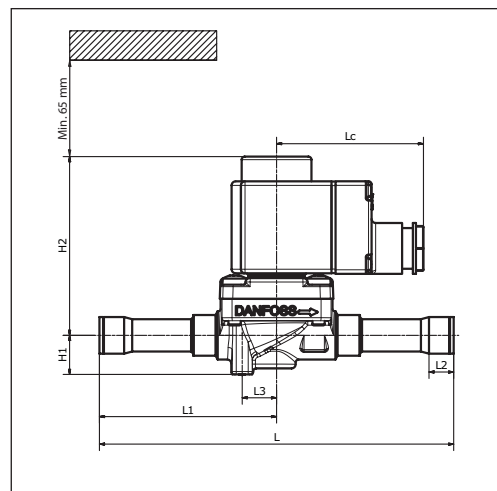
ケーブル付コイル¹⁾



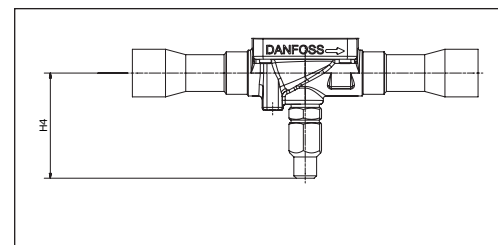
DIN プラグ付コイル²⁾



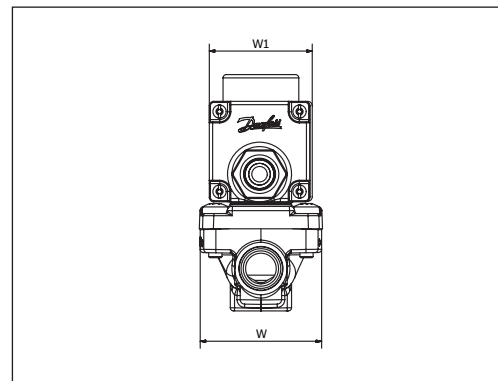
ターミナルボックス付コイル³⁾



マニュアルスピンドル付



側面図



形式	継手サイズ		マニュアルスピンドル	H ₁ [mm]	H ₂ [mm]	H ₄ [mm]	L [mm]	L ₁ [mm]	L ₂ [mm]	L ₃ [mm]	L _c [mm]	W [mm]	W ₁ 最大 [mm]	コイルを除く重量 [kg]
	[in]	[mm]												
EVR 20	7/8	22	有	19	93	56	190	95	17	20	-	72	-	1.26
	7/8	22	なし	19	93	-	190	95	17	20	-	72	-	1.26
	1 1/8	28	なし	19	93	-	217	108.5	20	20	-	72	-	1.31
EVR 22	1 1/8	28	有	19	93	56	222	111	20	20	-	72	-	1.31
	1 1/8	28	なし	19	93	-	267	133.5	20	20	-	72	-	1.47
	1 3/8	35	なし	19	93	-	292	146	25	20	-	72	-	1.47
ケーブル付コイル ¹⁾											49	-	46	-
DIN プラグ付コイル ²⁾											64	-	47	-
ターミナルボックス付コイル 10 W ³⁾											72	-	47	-
ターミナルボックス付コイル 12 / 20 W ³⁾											80	-	68	-

コイルの重量

10 W: 約 0.3 kg

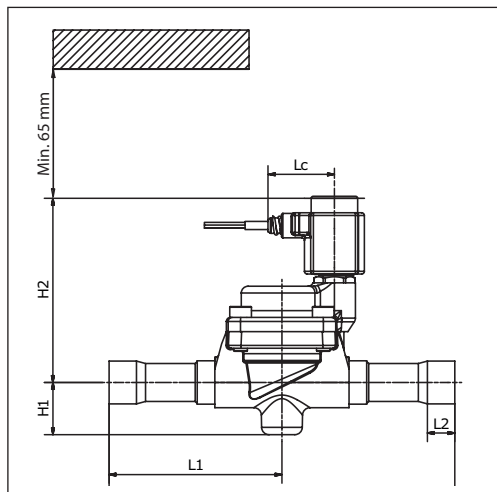
12 W および 20 W: 約 0.5 kg

3D 図は、こちらをご覧ください。 www.danfoss.com/products/cataegories/

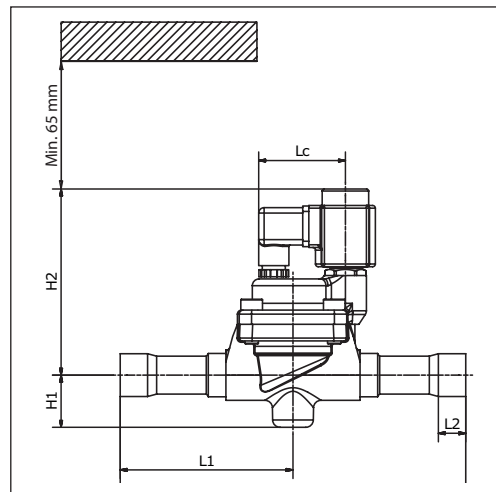
寸法および重量

EVR 25
ろう付継手

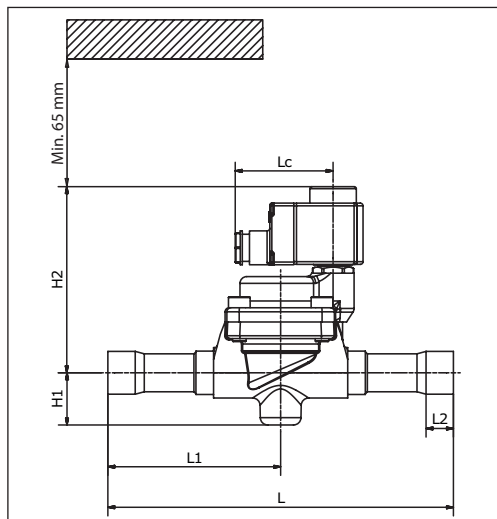
ケーブル付コイル¹⁾



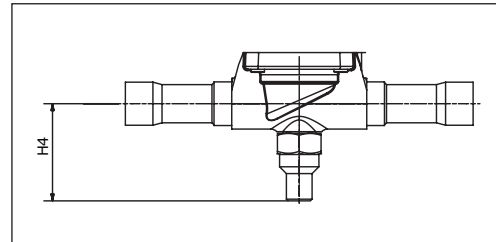
DIN プラグ付コイル²⁾



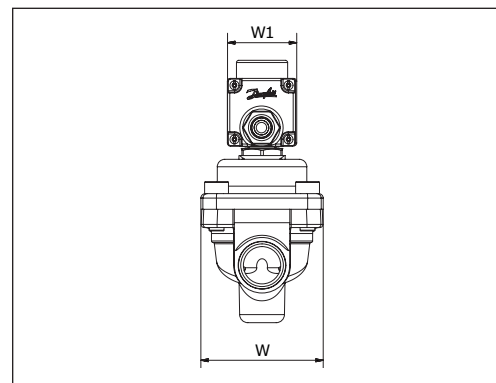
ターミナルボックス付コイル³⁾



マニュアルスピンドル付



側面図



形式	継手サイズ		マニュアルスピンドル	H ₁ [mm]	H ₂ [mm]	H ₄ [mm]	L [mm]	L ₁ [mm]	L ₂ [mm]	L _c [mm]	W [mm]	W ₁ 最大 [mm]	コイルを除く重量 [kg]	
	[in]	[mm]												
EVR 25	1 1/8	28	有	39	138	71	255	127.5	20	-	82	-	2.67*	
	1 1/8	28	なし	39	138	-	255	127.5	20	-	82	-	2.67*	
	1 3/8	35	有	39	138	71	281	140.5	25	-	82	-	2.80*	
	1 3/8	35	なし	39	138	-	281	140.5	25	-	82	-	2.80*	
* 継手: +0.060 kg														
ケーブル付コイル ¹⁾											49	-	46	-
DIN プラグ付コイル ²⁾											64	-	47	-
ターミナルボックス付コイル 10 W ³⁾											72	-	47	-
ターミナルボックス付コイル 12 / 20 W ³⁾											80	-	68	-

コイルの重量

10 W: 約 0.3 kg

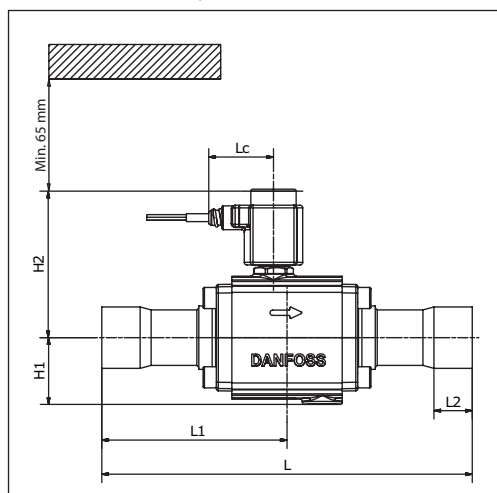
12 W および 20 W: 約 0.5 kg

3D 図は、こちらをご覧ください。 www.danfoss.com/products/cataegories/

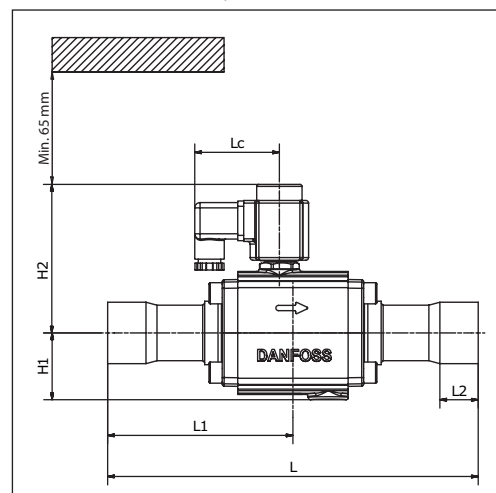
寸法および重量

EVR 32 - EVR 40
ろう付継手

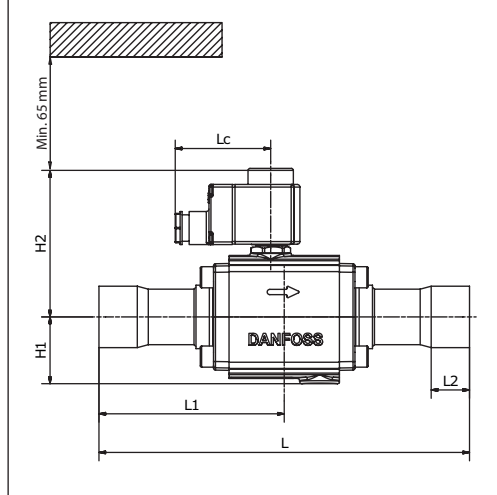
ケーブル付コイル¹⁾



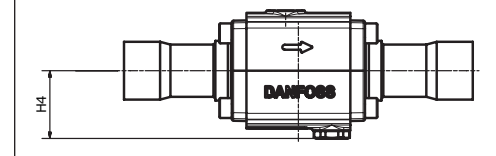
DIN プラグ付コイル²⁾



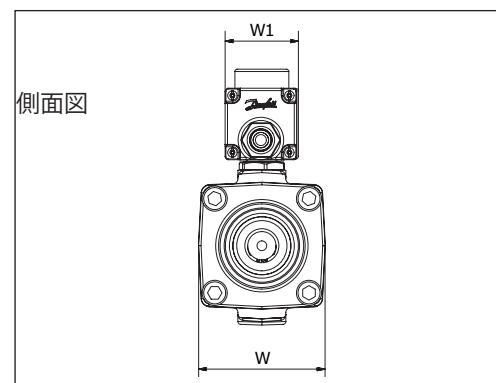
ターミナルボックス付コイル³⁾



マニュアルスピンドル付



側面図



形式	継手サイズ		マニ ユ アル スピ ンド ル	H ₁ [mm]	H ₂ [mm]	H ₄ [mm]	L [mm]	L ₁ [mm]	L ₂ [mm]	L _c [mm]	W [mm]	W ₁ 最 [mm]	コイル を除く 重量 [kg]	
	[in]	[mm]												
EVR 32	1 3/8	35	有	-	111	55	280	140	25	-	81	-	4.30	
	1 3/8	35	なし	51	111	-	280	140	25	-	81	-	4.30	
	1 5/8	42	有	-	111	55	280	140	29	-	81	-	4.40	
	1 5/8	42	なし	51	111	-	280	140	29	-	81	-	4.40	
	2 1/8	-	有	-	111	55	280	140	34	-	80	-	4.57	
	2 1/8	-	なし	51	111	-	280	140	34	-	80	-	4.57	
EVR 40	1 5/8	42	有	-	111	55	280	140	29	-	81	-	4.40	
	1 5/8	42	なし	51	111	-	280	140	29	-	81	-	4.40	
	2 1/8	-	有	-	111	55	280	140	34	-	80	-	4.57	
	2 1/8	-	なし	51	111	-	280	140	34	-	80	-	4.57	
ケーブル付コイル ¹⁾											49	-	46	-
DIN プラグ付コイル ²⁾											64	-	47	-
ターミナルボックス付コイル 10 W ³⁾											72	-	47	-
ターミナルボックス付コイル 12 / 20 W ³⁾											80	-	68	-

コイルの重量

10 W: 約 0.3 kg

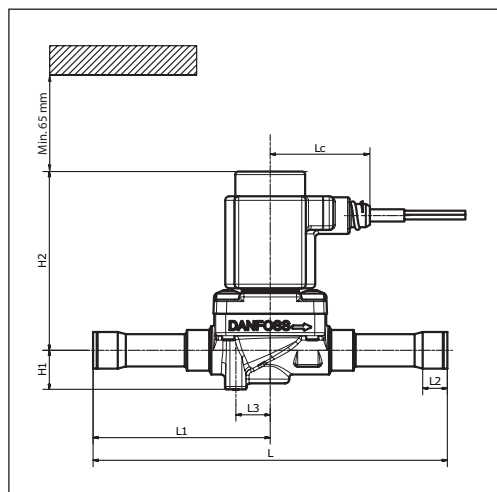
12 W および 20 W: 約 0.5 kg

3D 図は、こちらをご覧ください。 www.danfoss.com/products/cataegories/

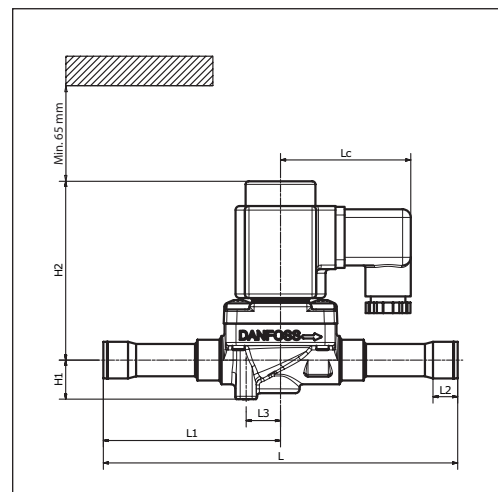
寸法 [mm]
および重量 [kg]

EVRC 15
ろう付継手

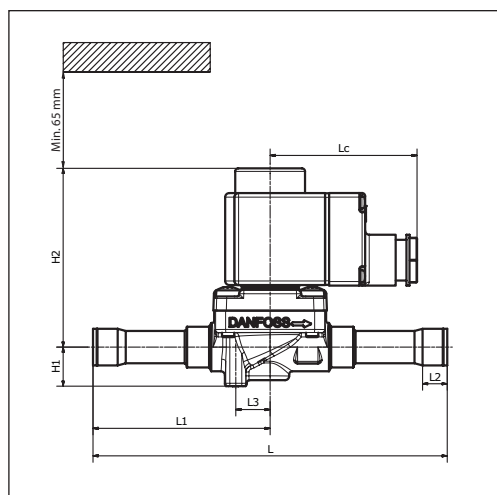
ケーブル付コイル¹⁾



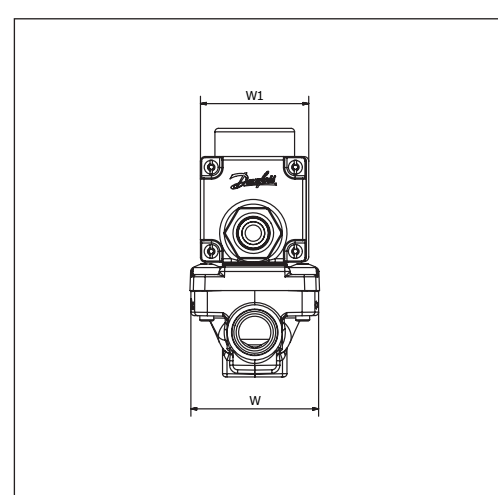
DIN プラグ付コイル²⁾



ターミナルボックス付コイル³⁾



側面図



形式	継手サイズ		マニュアル スピンドル	H ₁ [mm]	H ₂ [mm]	L [mm]	L ₁ [mm]	L ₂ [mm]	L ₃ [mm]	L _c [mm]	W [mm]	W ₁ 最大 [mm]	コイルを除く 重量 [kg]	
	[in]	[mm]												
EVRC 15	5/8	16	なし	19	89	174	87	12	17	-	56	-	0.70	
ケーブル付コイル ¹⁾											49	-	46	-
DIN プラグ付コイル ²⁾											64	-	47	-
ターミナルボックス付コイル 10 W ³⁾											72	-	47	-
ターミナルボックス付コイル 12 / 20 W ³⁾											80	-	68	-

コイルの重量

10 W: 約 0.3 kg

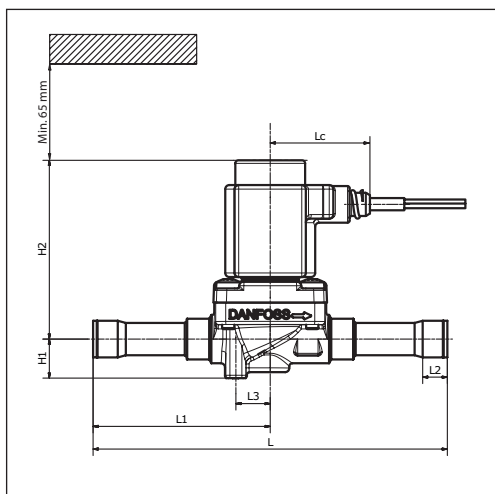
12 W および 20 W: 約 0.5 kg

3D 図は、こちらをご覧ください。 www.danfoss.com/products/cataegories/

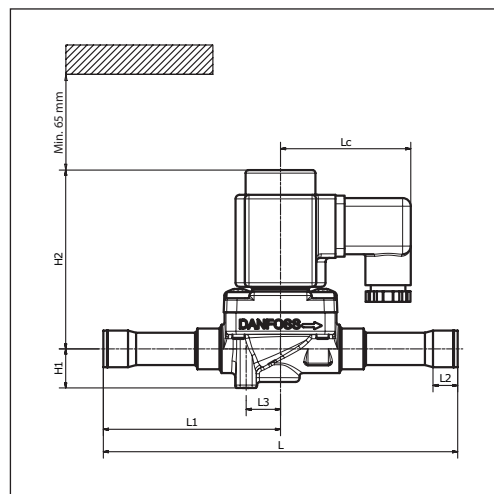
寸法および重量

EVRC 20
ろう付継手

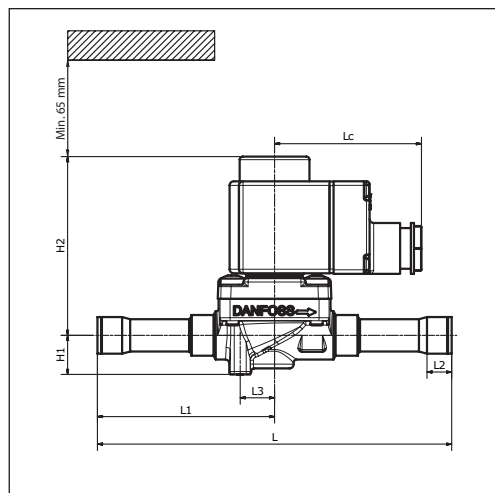
ケーブル付コイル¹⁾



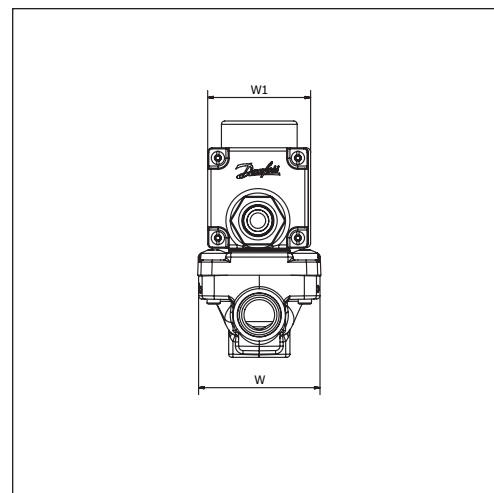
DIN プラグ付コイル²⁾



ターミナルボックス付コイル³⁾



側面図



形式	継手サイズ		マニュアルスピンドル	H ₁ [mm]	H ₂ [mm]	L [mm]	L ₁ [mm]	L ₂ [mm]	L ₃ [mm]	L _c [mm]	W [mm]	W ₁ 最大 [mm]	コイルを除く重量 [kg]	
	[in]	[mm]												
EVRC 20	7/8	22	なし	19	93	190	95	17	20	-	72	-	1.26	
ケーブル付コイル ¹⁾											49	-	46	-
DIN プラグ付コイル ²⁾											64	-	47	-
ターミナルボックス付コイル 10 W ³⁾											72	-	47	-
ターミナルボックス付コイル 12 / 20 W ³⁾											80	-	68	-

コイルの重量

10 W: 約 0.3 kg

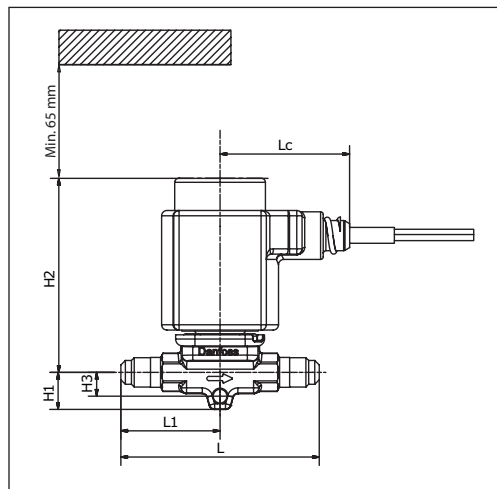
12 W および 20 W: 約 0.5 kg

3D 図は、こちらをご覧ください。 www.danfoss.com/products/cataegories/

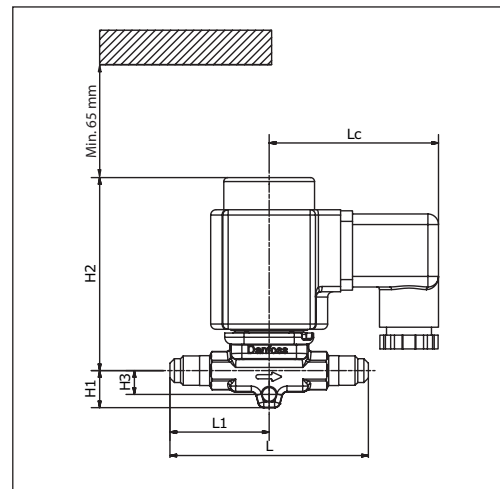
寸法および重量

EVR 2 - EVR 3
フレア継手

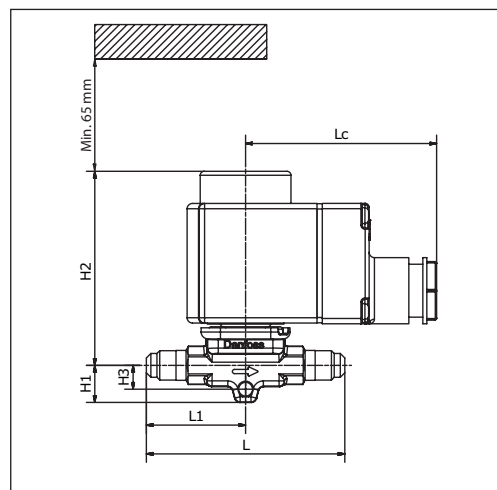
ケーブル付コイル¹⁾



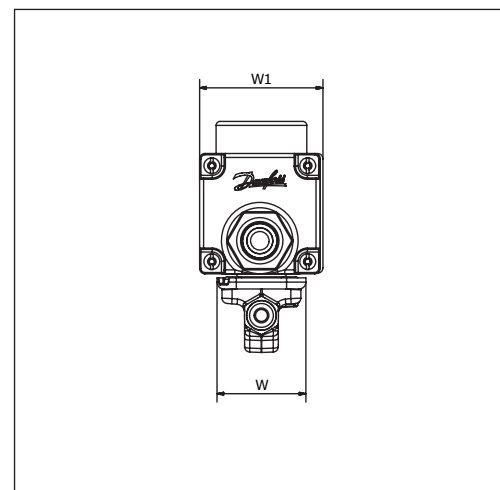
DIN プラグ付コイル²⁾



ターミナルボックス付コイル³⁾



側面図



形式	継手サイズ		H ₁ [mm]	H ₂ [mm]	H ₃ [mm]	L [mm]	L ₁ [mm]	L _c [mm]	W [mm]	W ₁ 最大 [mm]	コイルを 除く重量 [kg]	
	[in]	[mm]										
EVR 2	1/4	6	14	73	9	75	37.5	-	34	-	0.18	
EVR 3	1/4	6	14	73	9	75	37.5	-	34	-	0.18	
	3/8	10	14	73	9	75	37.5	-	34	-	0.18	
ケーブル付コイル ¹⁾									49	-	46	-
DIN プラグ付コイル ²⁾									64	-	47	-
ターミナルボックス付コイル 10 W ³⁾									72	-	47	-
ターミナルボックス付コイル 12 / 20 W ³⁾									80	-	68	-

コイルの重量

10 W: 約 0.3 kg

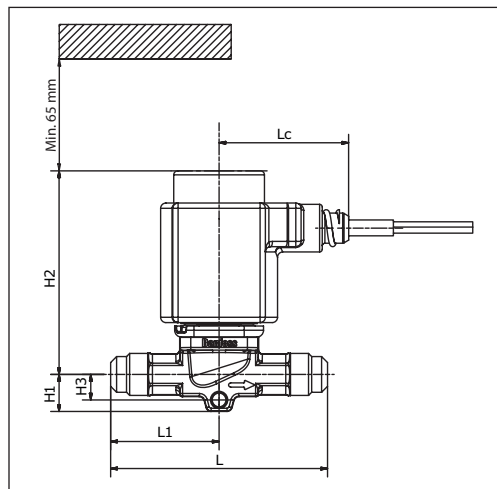
12 W および 20 W: 約 0.5 kg

3D 図は、こちらをご覧ください。 www.danfoss.com/products/cataegories/

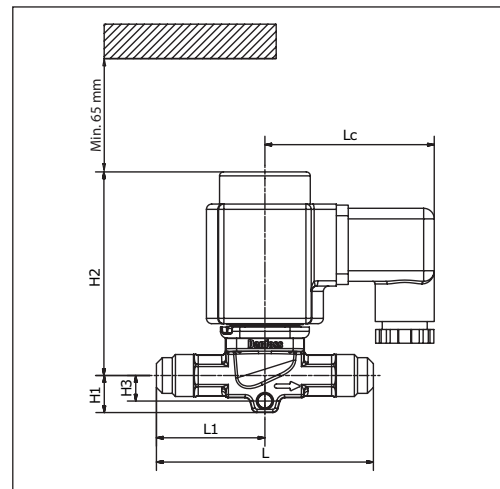
寸法および重量

EVR 6
フレア継手

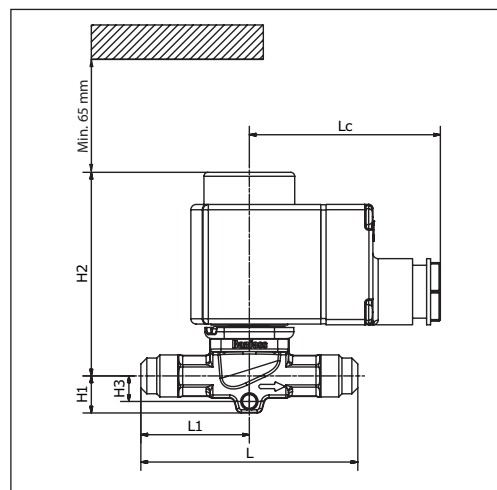
ケーブル付コイル¹⁾



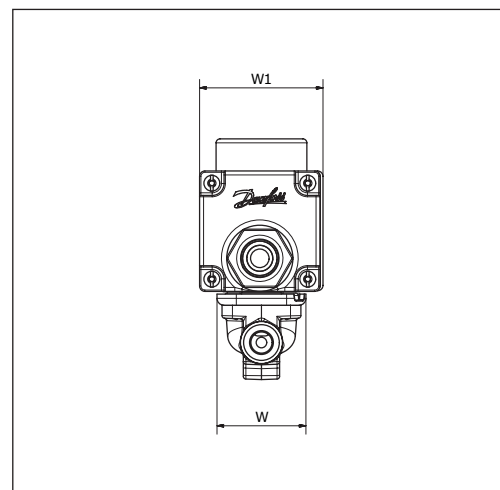
DIN プラグ付コイル²⁾



ターミナルボックス付コイル³⁾



側面図



形式	継手サイズ		H ₁ [mm]	H ₂ [mm]	H ₃ [mm]	L [mm]	L ₁ [mm]	L _c [mm]	W [mm]	W ₁ 最大 [mm]	コイルを 除く重量 [kg]	
	[インチ]	[mm]										
EVR 6	3/8	10	14	77	10	82	41	-	34	-	0.21	
	1/2	12	14	77	10	88	44	-	34	-	0.22	
ケーブル付コイル ¹⁾									49	-	46	-
DIN プラグ付コイル ²⁾									64	-	47	-
ターミナルボックス付コイル 10 W ³⁾									72	-	47	-
ターミナルボックス付コイル 12 / 20 W ³⁾									80	-	68	-

コイルの重量

10 W: 約 0.3 kg

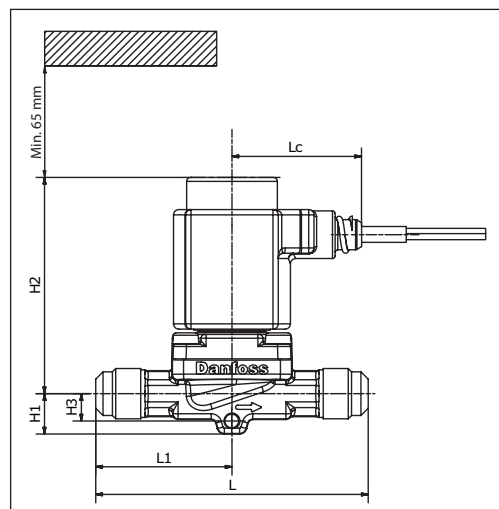
12 W および 20 W: 約 0.5 kg

3D 図は、こちらをご覧ください。 www.danfoss.com/products/cataegories/

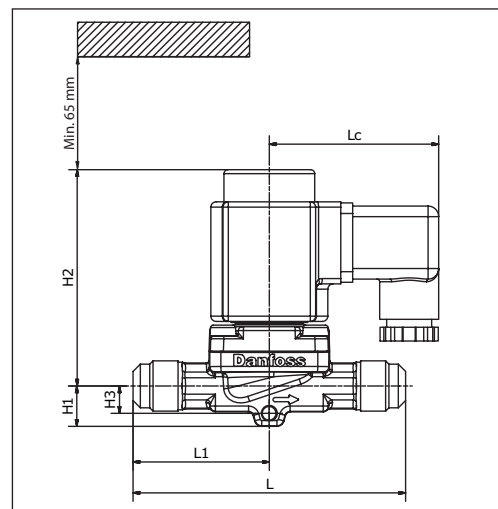
寸法および重量

EVR 10
フレア継手

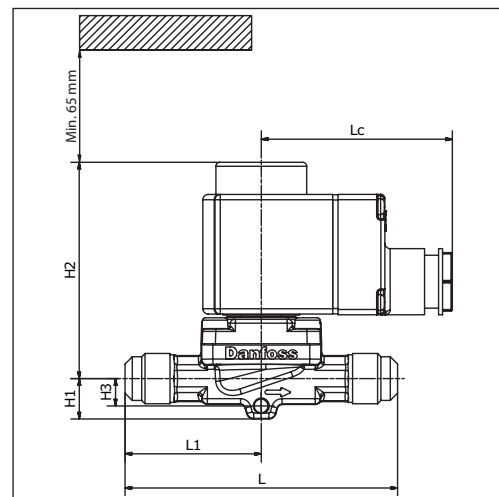
ケーブル付コイル¹⁾



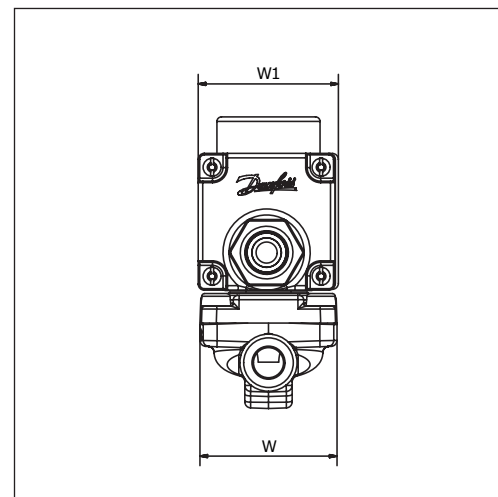
DIN プラグ付コイル²⁾



ターミナルボックス付コイル³⁾



側面図



形式	継手サイズ		H ₁ [mm]	H ₂ [mm]	H ₃ [mm]	L [mm]	L ₁ [mm]	L _c [mm]	W [mm]	W ₁ 最大 [mm]	コイルを 除く重量 [kg]	
	[in]	[mm]										
EVR 10	1/2	12	15	82	10	103	51.5	-	46	-	0.44	
	5/8	16	15	82	10	110	55	-	46	-	0.45	
ケーブル付コイル ¹⁾									49	-	46	-
DIN プラグ付コイル ²⁾									64	-	47	-
ターミナルボックス付コイル 10 W ³⁾									72	-	47	-
ターミナルボックス付コイル 12 / 20 W ³⁾									80	-	68	-

コイルの重量

10 W: 約 0.3 kg

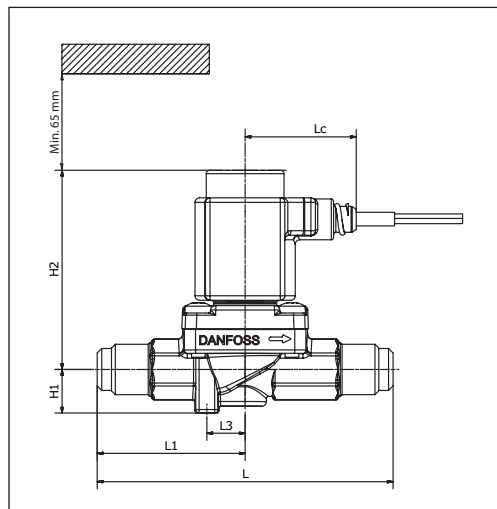
12 W および 20 W: 約 0.5 kg

3D 図は、こちらをご覧ください。 www.danfoss.com/products/cataegories/

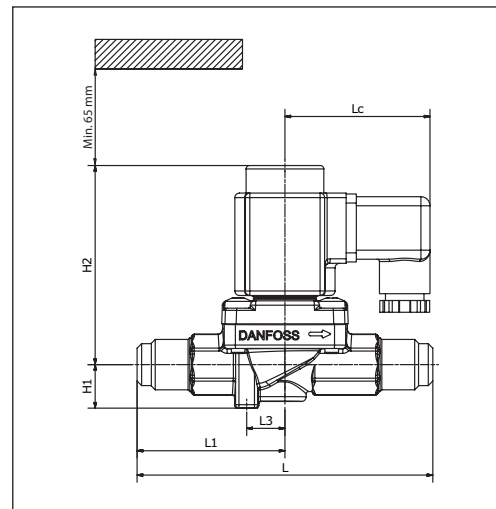
寸法および重量

EVR 15
フレア継手

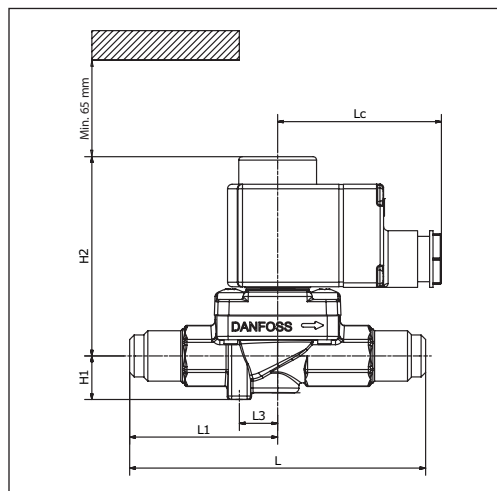
ケーブル付コイル¹⁾



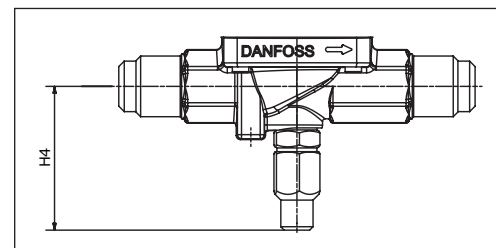
DIN プラグ付コイル²⁾



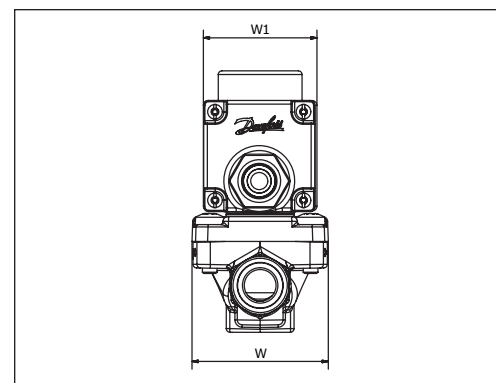
ターミナルボックス付コイル³⁾



マニュアルスピンドル付



側面図



形式	継手サイズ		マニ アル スピ ンドル	H ₁ [mm]	H ₂ [mm]	H ₄ [mm]	L [mm]	L ₁ [mm]	L ₃ [mm]	L _c [mm]	W [mm]	W ₁ 最大 [mm]	コイルを 除く 重量 [kg]
	[in]	[mm]											
EVR 15	5/8	16	有	19	89	53	131	65.5	17	-	56	-	0.78
	5/8	16	なし	19	89	-	131	65.5	17	-	56	-	0.78
ケーブル付コイル ¹⁾										49	-	46	-
DIN プラグ付コイル ²⁾										64	-	47	-
ターミナルボックス付コイル 10 W ³⁾										72	-	47	-
ターミナルボックス付コイル 12 / 20 W ³⁾										80	-	68	-

コイルの重量

10 W: 約 0.3 kg

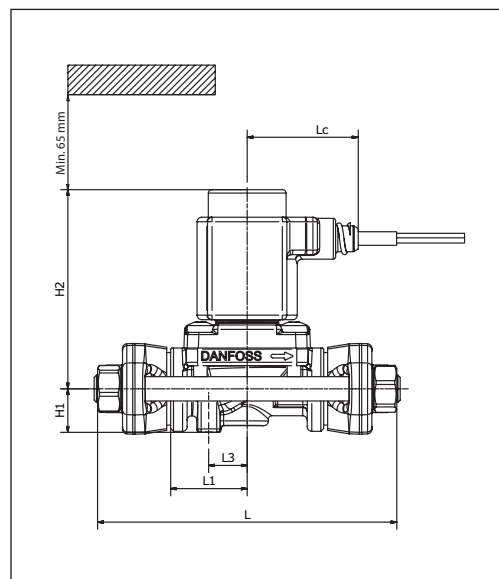
12 W および 20 W: 約 0.5 kg

3D 図は、こちらをご覧ください。 www.danfoss.com/products/cataegories/

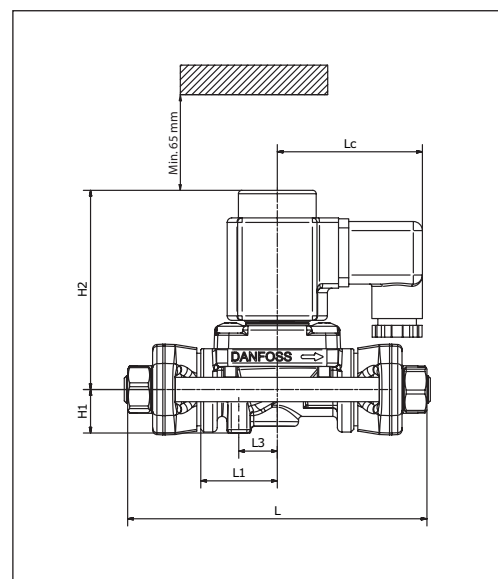
寸法および重量

EVR 15
フランジ継手

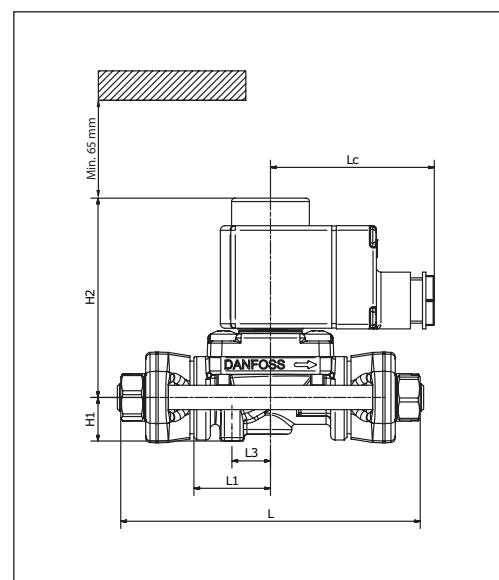
ケーブル付コイル¹⁾



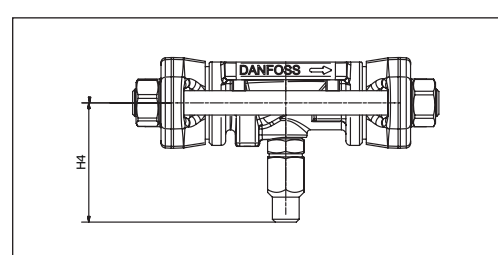
DIN プラグ付コイル²⁾



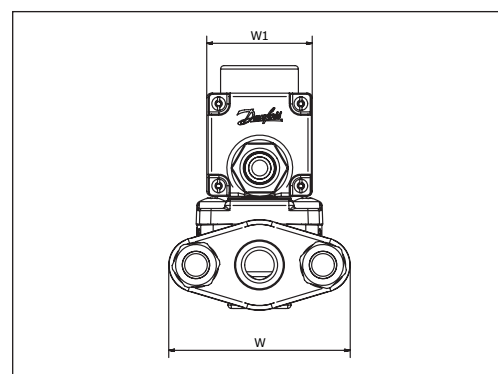
ターミナルボックス付コイル³⁾



マニュアルスピンドル付



側面図



形式	マニュアルスピンドル	H ₁ [mm]	H ₂ [mm]	H ₄ [mm]	L [mm]	L ₁ [mm]	L ₃ [mm]	L _c [mm]	W [mm]	W ₁ 最大 [mm]	コイルを除く重量 [kg]
EVR 15	有	19	89	53	126	33.8	17	—	80	—	0.64
	なし	19	89	—	126	33.8	17	—	80	—	0.64
ケーブル付コイル ¹⁾								49	—	46	—
DIN プラグ付コイル ²⁾								64	—	47	—
ターミナルボックス付コイル 10 W ³⁾								72	—	47	—
ターミナルボックス付コイル 12 / 20 W ³⁾								80	—	68	—

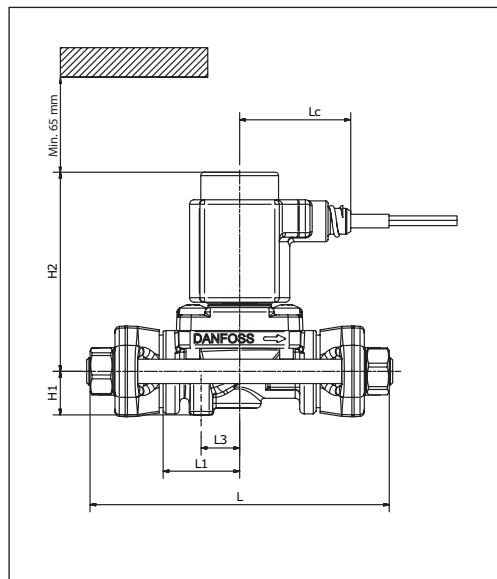
コイルの重量
 10 W: 約 0.3 kg
 12 W および 20 W: 約 0.5 kg
 フランジセットの重量
 0.6 kg

3D 図は、こちらをご覧ください。 www.danfoss.com/products/cataegories/

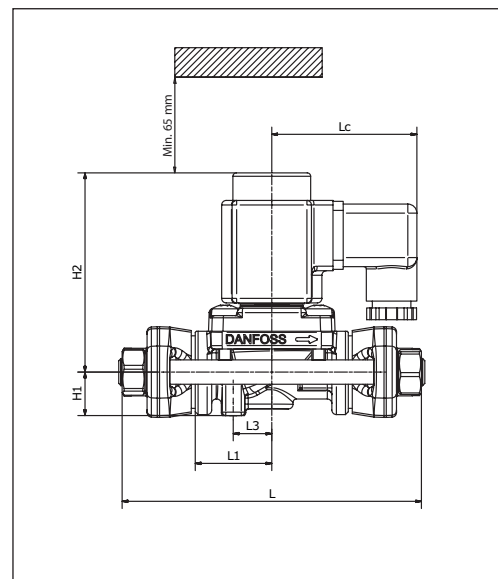
寸法および重量

EVR 20
フランジ継手

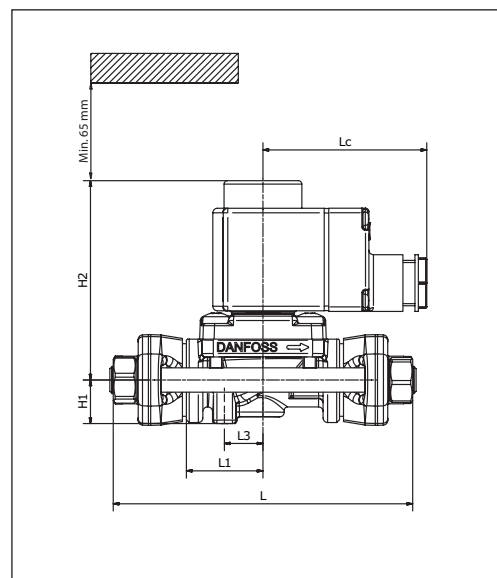
ケーブル付コイル¹⁾



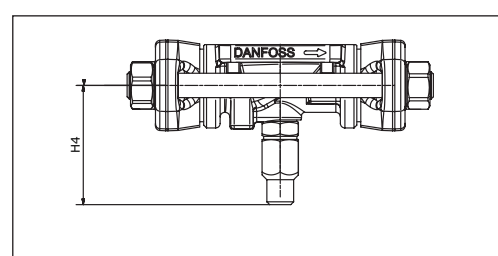
DIN プラグ付コイル²⁾



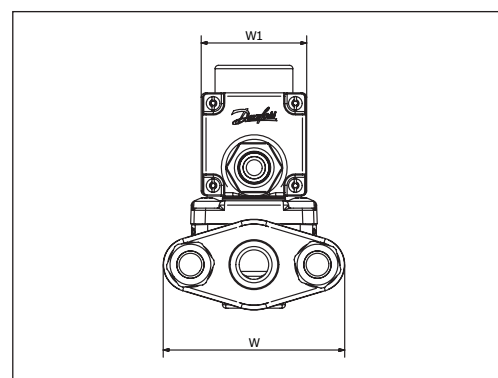
ターミナルボックス付コイル³⁾



マニュアルスピンドル付



側面図



形式	マニュアルスピンドル	H ₁ [mm]	H ₂ [mm]	H ₄ [mm]	L [mm]	L ₁ [mm]	L ₃ [mm]	L _c [mm]	W [mm]	W ₁ 最大 [mm]	コイルを除く重量 [kg]	
EVR 20	有	19	93	56	156	42.5	20	–	96	–	1.20	
	なし	19	93	–	156	42.5	20	–	96	–	1.20	
ケーブル付コイル ¹⁾									49	–	46	–
DIN プラグ付コイル ²⁾									64	–	47	–
ターミナルボックス付コイル 10 W ³⁾									72	–	47	–
ターミナルボックス付コイル 12 / 20 W ³⁾									80	–	68	–

コイルの重量
10 W: 約 0.3 kg
12 W および 20 W: 約 0.5 kg
フランジセットの重量
0.9 kg

3D 図は、こちらをご覧ください。 www.danfoss.com/products/cataegories/

液容量

形式	バルブ前後の圧力損失 Δp [bar] での液容量 Q_e [Kw]				
	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5
R22/R407C					
EVR 2	2.46	3.48	4.27	4.93	5.51
EVR 3	4.43	6.27	7.68	8.87	9.92
EVR 4	11.17	15.79	19.34	22.34	24.97
EVR 6	14.62	20.67	25.32	29.24	32.69
EVR 8	17.41	24.62	30.15	34.82	38.93
EVR 10	30.71	43.44	53.20	61.43	68.68
EVR 15	47.30	66.90	81.93	94.60	105.77
EVR 18	61.92	87.57	107.25	123.84	138.46
EVR 20	98.22	138.90	170.12	196.44	219.62
EVR 22	112.01	158.41	194.02	224.03	250.47
EVR 25	51.75	227.40	278.51	321.59	359.55
EVR 32	88.41	388.60	475.94	549.56	614.43
EVR 40	127.81	562.11	688.44	794.94	888.78
R134a					
EVR 2	2.28	3.22	3.95	4.56	5.10
EVR 3	4.10	5.80	7.11	8.21	9.17
EVR 4	10.33	14.61	17.90	20.67	23.10
EVR 6	13.52	19.13	23.42	27.05	30.24
EVR 8	16.11	22.78	27.90	32.21	36.02
EVR 10	28.42	40.19	49.22	56.83	63.54
EVR 15	43.76	61.89	75.80	87.52	97.86
EVR 18	57.29	81.01	99.22	114.57	128.10
EVR 20	90.87	128.51	157.39	181.74	203.19
EVR 22	103.63	146.56	179.50	207.26	231.73
EVR 25	47.87	210.38	257.66	297.52	332.64
EVR 32	81.79	359.52	440.32	508.43	568.45
EVR 40	118.24	520.04	636.92	735.45	822.26

容量は以下に基づきます。
 バルブ入口の液温
 $t_i = 25\text{ }^\circ\text{C}$
 蒸発温度 $t_e = -10\text{ }^\circ\text{C}$
 過熱度 0 K .

補正係数

バルブを選択する際、バルブ/蒸発器直前の液温 t_i によって補正係数を求め、これを蒸発器容量に乘じます。

補正された容量がわかれば、表から選定することができます。

 液温 t_i に対する補正係数

t_i [°C]	-10	0	10	15	20	25	30	35	40	45	50
R22	1.31	1.22	1.13	1.09	1.04	1.00	0.96	0.91	0.86	0.82	0.77
R407C	1.38	1.27	1.16	1.11	1.05	1.00	0.94	0.89	0.83	0.77	0.72
R134a	1.37	1.27	1.16	1.11	1.05	1.00	0.95	0.89	0.84	0.78	0.73

液容量
(続き)

形式	バルブ前後の圧力損失 Δp [bar] での液容量 Q_e [Kw]				
	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5
R404A/R507					
EVR 2	1.67	2.36	2.89	3.34	3.73
EVR 3	3.00	4.25	5.20	6.01	6.72
EVR 4	7.56	10.70	13.10	15.13	16.91
EVR 6	9.90	14.00	17.15	19.80	22.13
EVR 8	11.79	16.67	20.42	23.58	26.36
EVR 10	20.80	29.41	36.02	41.60	46.51
EVR 15	32.03	45.30	55.48	64.07	71.63
EVR 18	41.93	59.30	72.63	83.86	93.76
EVR 20	66.51	94.06	115.20	133.02	148.73
EVR 22	75.85	107.28	131.38	151.71	169.62
EVR 25	35.04	153.99	188.60	217.78	243.48
EVR 32	59.87	263.15	322.30	372.16	416.08
EVR 40	86.55	380.65	466.20	538.33	601.87
R410A					
EVR 2	2.42	3.42	4.18	4.83	5.40
EVR 3	4.35	6.15	7.53	8.69	9.72
EVR 4	10.95	15.48	18.96	21.90	24.48
EVR 6	14.33	20.27	24.82	28.66	32.04
EVR 8	17.07	24.14	29.56	34.14	38.16
EVR 10	30.11	42.58	52.15	60.22	67.33
EVR 15	46.37	65.58	80.32	92.74	103.69
EVR 18	60.70	85.85	105.14	121.41	135.73
EVR 20	96.29	136.17	166.77	192.57	215.30
EVR 22	109.81	155.30	190.20	219.62	245.55
EVR 25	50.73	222.93	273.03	315.27	352.48
EVR 32	86.67	380.96	466.58	538.76	602.35
EVR 40	125.29	551.06	674.90	779.31	871.30

容量は以下に基づきます。
バルブ入口の液温
 $t_i = 25\text{ }^\circ\text{C}$
蒸発温度 $t_e = -10\text{ }^\circ\text{C}$ 、
過熱度 0 K 。

補正係数

バルブを選定する際、バルブ/蒸発器直前の液温 t_i によって補正係数を求め、これを蒸発器容量に乘じます。

補正された容量がわかれば、表から選定することができます。

液温 t_i に対する補正係数

t_i [°C]	-10	0	10	15	20	25	30	35	40	45	50
R404A/R507	1.50	1.36	1.22	1.14	1.07	1.00	0.93	0.85	0.78	0.70	0.62
R410A	1.39	1.28	1.17	1.12	1.06	1.00	0.94	0.88	0.82	0.76	0.69

液容量
(続き)

形式	バルブ前後の圧力損失 Δp [bar]での液容量 Q_e [Kw]				
	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5
R32					
EVR 2	3.45	4.88	5.98	6.90	7.72
EVR 3	6.21	8.79	10.76	12.43	13.89
EVR 4	15.65	22.13	27.11	31.30	34.99
EVR 6	20.48	28.97	35.48	40.97	45.80
EVR 8	24.40	34.50	42.25	48.79	54.55
EVR 10	43.04	60.86	74.54	86.07	96.23
EVR 15	66.28	93.74	114.80	132.56	148.21
EVR 18	86.76	122.70	150.28	173.53	194.01
EVR 20	137.63	194.63	238.37	275.25	307.74
EVR 22	156.96	221.97	271.86	313.91	350.97
R290					
EVR 2	2.74	3.88	4.75	5.49	6.13
EVR 3	4.94	6.98	8.55	9.87	11.04
EVR 4	12.43	17.58	21.54	24.87	27.80
EVR 6	16.27	23.01	28.19	32.55	36.39
EVR 8	19.38	27.41	33.57	38.76	43.34
EVR 10	34.19	48.36	59.22	68.38	76.46
EVR 15	52.66	74.47	91.21	105.32	117.75
EVR 18	68.93	97.49	119.40	137.87	154.14
EVR 20	109.34	154.63	189.39	218.68	244.50
EVR 22	124.70	176.35	215.99	249.40	278.84
R600a					
EVR 2	2.76	3.91	4.78	5.52	6.18
EVR 3	4.97	7.03	8.61	9.94	11.12
EVR 4	12.52	17.71	21.69	25.04	28.00
EVR 6	16.39	23.17	28.38	32.77	36.64
EVR 8	19.52	27.60	33.80	39.03	43.64
EVR 10	34.43	48.69	59.64	68.86	76.99
EVR 15	53.03	74.99	91.85	106.05	118.57
EVR 18	69.41	98.17	120.23	138.83	155.21
EVR 20	110.10	155.71	190.71	220.21	246.20
EVR 22	125.57	177.58	217.50	251.14	280.79

容量は以下に基づきます。
バルブ入口の液温
 $t_i = 25\text{ }^\circ\text{C}$
蒸発温度 $t_e = -10\text{ }^\circ\text{C}$,
過熱度 0 K .

補正係数

バルブを選定する際、バルブ/蒸発器直前の液温 t_i によって補正係数を求め、これを蒸発器容量に乘じます。

補正された容量がわかれば、表から選定することができます。

液温 t_i に対する補正係数

t_i [°C]	-10	0	10	15	20	25	30	35	40	45	50
R32	1.31	1.23	1.14	1.09	1.05	1.00	0.95	0.90	0.86	0.81	0.75
R290	1.36	1.26	1.16	1.11	1.05	1.00	0.95	0.89	0.84	0.78	0.73
R600a	1.34	1.25	1.15	1.10	1.05	1.00	0.95	0.90	0.85	0.80	0.75

吸入容量

形式	圧力損失 Δp [bar]	蒸発温度 t_e [°C]での吸入蒸気容量 Q_e [Kw]						
		-40	-30	-20	-10	0	10	15
R22/R407C								
EVR 2	0.1	0.14	0.18	0.22	0.27	0.33	0.40	0.43
	0.15	0.16	0.21	0.27	0.33	0.40	0.48	0.52
	0.2	0.18	0.24	0.31	0.38	0.46	0.55	0.60
EVR 3	0.1	0.25	0.32	0.40	0.49	0.60	0.71	0.77
	0.15	0.29	0.38	0.49	0.60	0.73	0.87	0.94
	0.2	0.33	0.43	0.55	0.69	0.83	1.00	1.09
EVR 4	0.1	0.62	0.80	1.01	1.24	1.50	1.79	1.95
	0.15	0.74	0.97	1.22	1.51	1.83	2.19	2.38
	0.2	0.82	1.09	1.39	1.73	2.10	2.51	2.74
EVR 6	0.1	0.81	1.05	1.32	1.63	1.97	2.35	2.55
	0.15	0.97	1.26	1.60	1.98	2.40	2.86	3.11
	0.2	1.08	1.43	1.82	2.26	2.75	3.29	3.58
EVR 8	0.1	0.97	1.25	1.58	1.94	2.35	2.80	3.04
	0.15	1.15	1.50	1.91	2.35	2.85	3.41	3.71
	0.2	1.29	1.70	2.17	2.69	3.28	3.92	4.27
EVR 10	0.1	1.71	2.21	2.78	3.42	4.14	4.93	5.36
	0.15	2.03	2.65	3.36	4.15	5.04	6.02	6.54
	0.2	2.27	3.01	3.83	4.75	5.78	6.91	7.52
EVR 15	0.1	2.63	3.40	4.28	5.27	6.37	7.60	8.26
	0.15	3.12	4.09	5.18	6.40	7.76	9.26	10.07
	0.2	3.49	4.63	5.90	7.32	8.90	10.65	11.59
EVR 18	0.1	3.44	4.45	5.60	6.90	8.34	9.95	10.81
	0.15	4.09	5.35	6.78	8.37	10.15	12.13	13.19
	0.2	4.57	6.06	7.72	9.58	11.65	13.94	15.17

容量は、蒸発器直前の液温 $t_l = 25^\circ\text{C}$ に基づきます。

表の値は、蒸発器容量について述べたもので、蒸発温度 t_e およびバルブ前後の圧力損失 Δp により与えられます。

容量は、バルブ入口の乾燥飽和蒸気に基づきます。

バルブ入口が過熱ガスの場合、容積は過熱度 10K ごとに 4% 減少します。

補正係数

バルブを選定する際、膨張弁直前の液温 t_l によって補正係数を求め、これを蒸発器容量に乘じます。

補正された容量がわかれば、表から選定することができます。

蒸発温度 t_l に対する補正係数

t_l [°C]	-40	-30	-20	-10	0	10	15
R22	0.52	0.66	0.82	1.00	1.20	1.43	1.56
R407C	0.48	0.63	0.80	1.00	1.23	1.49	1.64

吸入容量
(続き)

形式	圧力損失 Δp [bar]	蒸発温度 t_e [°C]での吸入蒸気容量 Q_e [Kw]						
		-40	-30	-20	-10	0	10	15
R22/R407C (続き)								
EVR 20	0.1	5.46	7.07	8.89	10.94	13.23	15.78	17.15
	0.15	6.49	8.49	10.75	13.28	16.11	19.24	20.92
	0.2	7.25	9.61	12.25	15.20	18.48	22.11	24.06
EVR 22	0.1	6.23	8.06	10.14	12.48	15.09	17.99	19.56
	0.15	7.40	9.68	12.26	15.15	18.37	21.94	23.86
	0.2	8.27	10.96	13.97	17.34	21.08	25.22	27.44
EVR 25	0.2	11.87	15.73	20.06	24.89	30.26	36.20	39.39
EVR 32	0.2	20.29	26.88	34.27	42.53	51.71	61.86	67.32
EVR 40	0.2	29.35	38.89	49.58	61.52	74.79	89.48	97.38

容量は、蒸発器直前の液温 $t_l = 25$ °C に基づきます。

表の値は、蒸発器容量について述べたもので、蒸発温 t_e およびバルブ前後の圧力損失 Δp により与えられます。

容量は、バルブ入口の乾燥飽和蒸気に基づきます。

バルブ入口が過熱ガスの場合、容量は過熱度 10K ごとに 4 % 減少します。

補正係数

バルブを選定する際、膨張弁直前の液温 t_l によって補正係数を求め、これを蒸発器容量に乗じます。

補正された容量がわかれば、表から選定することができます。

蒸発温度 t_l に対する補正係数

t_l [°C]	-40	-30	-20	-10	0	10	15
R22	0.52	0.66	0.82	1.00	1.20	1.43	1.56
R407C	0.48	0.63	0.80	1.00	1.23	1.49	1.64

吸入容量
(続き)

形式	圧力損失 Δp [bar]	蒸発温度 t_e [° C]での吸入蒸気容量 Q_e [Kw]						
		-40	-30	-20	-10	0	10	15
R134a								
EVR 2	0.1	0.08	0.12	0.16	0.20	0.25	0.31	0.35
	0.15	0.10	0.14	0.19	0.24	0.31	0.38	0.42
	0.2	0.10	0.15	0.21	0.28	0.35	0.43	0.48
EVR 3	0.1	0.15	0.21	0.28	0.36	0.46	0.56	0.62
	0.15	0.17	0.25	0.34	0.44	0.55	0.68	0.76
	0.2	0.18	0.27	0.38	0.50	0.63	0.78	0.87
EVR 4	0.1	0.38	0.53	0.71	0.91	1.15	1.42	1.56
	0.15	0.43	0.62	0.85	1.10	1.39	1.72	1.90
	0.2	0.46	0.69	0.95	1.25	1.59	1.97	2.18
EVR 6	0.1	0.50	0.70	0.93	1.19	1.50	1.85	2.05
	0.15	0.57	0.82	1.11	1.44	1.82	2.25	2.49
	0.2	0.60	0.90	1.24	1.63	2.08	2.58	2.86
EVR 8	0.1	0.59	0.83	1.10	1.42	1.79	2.21	2.44
	0.15	0.67	0.97	1.32	1.71	2.17	2.68	2.97
	0.2	0.72	1.08	1.48	1.94	2.47	3.07	3.40
EVR 10	0.1	1.05	1.46	1.95	2.51	3.16	3.89	4.30
	0.15	1.19	1.72	2.32	3.02	3.82	4.73	5.23
	0.2	1.27	1.90	2.61	3.43	4.36	5.42	6.00
EVR 15	0.1	1.61	2.25	3.00	3.86	4.86	6.00	6.63
	0.15	1.83	2.65	3.58	4.65	5.89	7.29	8.06
	0.2	1.95	2.92	4.03	5.28	6.72	8.35	9.25
EVR 18	0.1	2.11	2.95	3.93	5.06	6.36	7.85	8.67
	0.15	2.40	3.46	4.69	6.09	7.70	9.54	10.55
	0.2	2.56	3.83	5.27	6.92	8.79	10.93	12.10

容量は、蒸発器直前の液温 $t_l = 25$ °C に基づきます。

表の値は、蒸発器容量について述べたもので、蒸発温度 t_e およびバルブ前後の圧力損失 Δp により与えられます。

容量は、バルブ入口の乾燥飽和蒸気に基づきます。

バルブ入口が過熱ガスの場合、容量は過熱度10Kごとに4%減少します。

補正係数

バルブを選定する際、膨張弁直前の液温 t_l によって補正係数を求め、これを蒸発器容量に乘じます。

補正された容量がわかれば、表から選定することができます。

蒸発温度 t_l に対する補正係数

t_l [° C]	-40	-30	-20	-10	0	10	15
R134a	0.45	0.61	0.79	1.00	1.25	1.53	1.69

吸入容量
(続き)

形式	圧力損失 Δp [bar]	蒸発温度 t_e [° C]での吸入蒸気容量 Q_e [Kw]						
		-40	-30	-20	-10	0	10	15
R134a (続き)								
EVR 20	0.1	3.35	4.68	6.23	8.02	10.09	12.46	13.76
	0.15	3.81	5.49	7.43	9.66	12.22	15.13	16.74
	0.2	4.06	6.07	8.36	10.97	13.95	17.34	19.20
EVR 22	0.1	3.82	5.34	7.10	9.15	11.51	14.21	15.69
	0.15	4.34	6.27	8.48	11.02	13.94	17.26	19.09
	0.2	4.63	6.92	9.53	12.51	15.91	19.77	21.89
EVR 25	0.2	6.64	9.94	13.68	17.96	22.84	28.38	31.43
EVR 32	0.2	11.35	16.99	23.38	30.69	39.03	48.51	53.71
EVR 40	0.2	16.42	24.57	33.83	44.40	56.46	70.16	77.68

容量は、蒸発器直前の液温 $t_l = 25$ °C に基づきます。

表の値は、蒸発器容量について述べたもので、蒸発温度 t_e およびバルブ前後の圧力損失 Δp により与えられます。

容量は、バルブ入口の乾燥飽和蒸気に基づきます。

バルブ入口が過熱ガスの場合、容量は過熱度 10K ごとに 4 % 減少します。

補正係数

バルブを選定する際、膨張弁直前の液温 t_l によって補正係数を求め、これを蒸発器容量に乘じます。

補正された容量がわかれば、表から選定することができます。

蒸発温度 t_l に対する補正係数

t_l [° C]	-40	-30	-20	-10	0	10	15
R134a	0.45	0.61	0.79	1.00	1.25	1.53	1.69

吸入容量
(続き)

形式	圧力損失 Δp [bar]	蒸発温度 t_e [° C]での[kW]あたりの吸入蒸気容量 Q_e						
		-40	-30	-20	-10	0	10	15
R404A/R507								
EVR 2	0.1	0.11	0.15	0.19	0.24	0.29	0.36	0.39
	0.15	0.13	0.18	0.23	0.29	0.36	0.44	0.48
	0.2	0.15	0.20	0.26	0.33	0.41	0.50	0.55
EVR 3	0.1	0.20	0.27	0.34	0.43	0.53	0.64	0.71
	0.15	0.24	0.32	0.42	0.52	0.65	0.79	0.86
	0.2	0.27	0.37	0.47	0.60	0.74	0.90	0.99
EVR 4	0.1	0.51	0.67	0.86	1.08	1.33	1.62	1.78
	0.15	0.61	0.81	1.05	1.32	1.63	1.98	2.17
	0.2	0.69	0.92	1.19	1.51	1.87	2.27	2.50
EVR 6	0.1	0.67	0.88	1.13	1.42	1.75	2.12	2.33
	0.15	0.80	1.06	1.37	1.72	2.13	2.59	2.84
	0.2	0.90	1.21	1.56	1.97	2.44	2.98	3.27
EVR 8	0.1	0.80	1.05	1.35	1.69	2.08	2.53	2.77
	0.15	0.95	1.26	1.63	2.05	2.53	3.08	3.38
	0.2	1.07	1.44	1.86	2.35	2.91	3.55	3.89
EVR 10	0.1	1.40	1.85	2.37	2.98	3.67	4.46	4.89
	0.15	1.68	2.23	2.88	3.62	4.47	5.44	5.97
	0.2	1.88	2.53	3.28	4.15	5.13	6.26	6.87
EVR 15	0.1	2.16	2.85	3.66	4.59	5.65	6.87	7.53
	0.15	2.58	3.44	4.43	5.57	6.89	8.38	9.20
	0.2	2.90	3.90	5.06	6.39	7.91	9.63	10.58
EVR 18	0.1	2.83	3.73	4.78	6.00	7.40	8.99	9.86
	0.15	3.38	4.50	5.80	7.30	9.01	10.97	12.04
	0.2	3.80	5.11	6.62	8.36	10.35	12.61	13.85

容量は、蒸発器直前の液温 $t_l = 25$ °C に基づきます。

表の値は、蒸発器容量について述べたもので、蒸発温度 t_e およびバルブ前後の圧力損失 Δp により与えられます。

容量は、バルブ入口の乾燥飽和蒸気に基づきます。

バルブ入口が過熱ガスの場合、容量は過熱度 10K ごとに 4 % 減少します。

補正係数

バルブを選定する際、膨張弁直前の液温 t_l によって補正係数を求め、これを蒸発器容量に乗じます。

補正された容量がわかれば、表から選定することができます。

蒸発温度 t_l に対する補正係数

t_l [° C]	-40	-30	-20	-10	0	10	15
R404A/R507	0.48	0.63	0.80	1.00	1.23	1.49	1.63

吸入容量
(続き)

形式	圧力損失 Δp [bar]	蒸発温度 t_e [°C] での [kW] あたりの吸入蒸気容量 Q_e						
		-40	-30	-20	-10	0	10	15
R404A/R507 (続き)								
EVR 20	0.1	4.49	5.92	7.59	9.52	11.74	14.26	15.64
	0.15	5.36	7.13	9.20	11.57	14.30	17.39	19.09
	0.2	6.03	8.10	10.50	13.26	16.42	20.01	21.97
EVR 22	0.1	5.12	6.75	8.66	10.86	13.38	16.26	17.84
	0.15	6.11	8.13	10.49	13.20	16.31	19.84	21.78
	0.2	6.87	9.24	11.98	15.13	18.73	22.82	25.06
EVR 25	0.2	9.87	13.26	17.19	21.71	26.88	32.75	35.97
EVR 32	0.2	16.86	22.66	29.38	37.11	45.94	55.97	61.47
EVR 40	0.2	24.39	32.78	42.50	53.68	66.45	80.96	88.92

容量は、蒸発器直前の液温 $t_l = 25$ °C に基づきます。

表の値は、蒸発器容量について述べたもので、蒸発温度 t_e およびバルブ前後の圧力損失 Δp により与えられます。

補正係数

バルブを選定する際、膨張弁直前の液温 t_l によって補正係数を求め、これを蒸発器容量に乘じます。

容量は、バルブ入口の乾燥飽和蒸気に基づきます。

補正された容量がわかれば、表から選定することができます。

バルブ入口が過熱ガスの場合、容量は過熱度 10K ごとに 4% 減少します。

蒸発温度 t_l に対する補正係数

t_l [°C]	-40	-30	-20	-10	0	10	15
R404A/R507	0.48	0.63	0.80	1.00	1.23	1.49	1.63

吸入容量
(続き)

形式	圧力損失 Δp [bar]	蒸発温度 t_e [° C]での吸入蒸気容量 Q_e [Kw]						
		-40	-30	-20	-10	0	10	15
R410A								
EVR 2	0.1	0.18	0.22	0.28	0.34	0.41	0.49	0.53
	0.15	0.21	0.27	0.34	0.42	0.50	0.60	0.65
	0.2	0.24	0.31	0.39	0.48	0.58	0.69	0.75
EVR 3	0.1	0.32	0.40	0.51	0.62	0.75	0.89	0.96
	0.15	0.38	0.49	0.61	0.75	0.91	1.08	1.18
	0.2	0.43	0.56	0.70	0.86	1.05	1.25	1.35
EVR 4	0.1	0.80	1.02	1.27	1.56	1.88	2.23	2.42
	0.15	0.96	1.23	1.55	1.90	2.29	2.73	2.96
	0.2	1.09	1.41	1.77	2.18	2.63	3.14	3.41
EVR 6	0.1	1.04	1.33	1.66	2.04	2.46	2.92	3.17
	0.15	1.26	1.62	2.02	2.48	3.00	3.57	3.88
	0.2	1.42	1.84	2.32	2.85	3.45	4.11	4.47
EVR 8	0.1	1.24	1.59	1.98	2.43	2.93	3.48	3.78
	0.15	1.50	1.92	2.41	2.96	3.57	4.25	4.62
	0.2	1.69	2.20	2.76	3.40	4.10	4.89	5.32
EVR 10	0.1	2.19	2.80	3.50	4.28	5.16	6.14	6.67
	0.15	2.64	3.39	4.25	5.22	6.30	7.50	8.15
	0.2	2.99	3.87	4.87	5.99	7.24	8.63	9.38
EVR 15	0.1	3.38	4.32	5.39	6.59	7.95	9.45	10.27
	0.15	4.06	5.23	6.55	8.03	9.70	11.55	12.54
	0.2	4.61	5.96	7.50	9.23	11.15	13.29	14.45
EVR 18	0.1	4.42	5.65	7.05	8.63	10.40	12.38	13.44
	0.15	5.32	6.84	8.57	10.52	12.69	15.11	16.42
	0.2	6.03	7.81	9.82	12.08	14.60	17.40	18.91

容量は、蒸発器直前の液温 $t_l = 25^\circ\text{C}$ に基づきます。

表の値は、蒸発器容量について述べたもので、蒸発温度 t_e およびバルブ前後の圧力損失 Δp により与えられます。

容量は、バルブ入口の乾燥飽和蒸気に基づきます。

バルブ入口が過熱ガスの場合、容量は過熱度10Kごとに4%減少します。

補正係数

バルブを選定する際、膨張弁直前の液温 t_l によって補正係数を求め、これを蒸発器容量に乗じます。

補正された容量がわかれば、表から選定することができます。

蒸発温度 t_l に対する補正係数

t_l [° C]	-40	-30	-20	-10	0	10	15
R410A	0.52	0.66	0.82	1.00	1.20	1.43	1.55

吸入容量
(続き)

形式	圧力損失 Δp [bar]	蒸発温度 t_e [° C]での吸入蒸気容量 Q_e [Kw]						
		-40	-30	-20	-10	0	10	15
R410A (続き)								
EVR 20	0.1	7.01	8.96	11.19	13.69	16.50	19.63	21.32
	0.15	8.44	10.85	13.59	16.68	20.13	23.97	26.05
	0.2	9.56	12.39	15.57	19.16	23.16	27.60	30.00
EVR 22	0.1	8.00	10.22	12.76	15.62	18.82	22.39	24.31
	0.15	9.62	12.38	15.50	19.02	22.96	27.34	29.71
	0.2	10.91	14.12	17.76	21.85	26.41	31.48	34.22
EVR 25	0.2	15.65	20.28	25.50	31.36	37.91	45.19	49.12
EVR 32	0.2	26.75	34.65	43.57	53.59	64.79	77.22	83.94
EVR 40	0.2	38.70	50.12	63.03	77.52	93.71	111.71	121.42

容量は、蒸発器直前の液温 $t_l = 25$ °C に基づきます。

表の値は、蒸発器容量について述べたもので、蒸発温度 t_e およびバルブ前後の圧力損失 Δp により与えられます。

容量は、バルブ入口の乾燥飽和蒸気に基づきます。

バルブ入口が過熱ガスの場合、容量は過熱度10Kごとに4%減少します。

補正係数

バルブを選定する際、膨張弁直前の液温 t_l によって補正係数を求め、これを蒸発器容量に乘じます。

補正された容量がわかれば、表から選定することができます。

蒸発温度 t_l に対する補正係数

t_l [° C]	-40	-30	-20	-10	0	10	15
R410A	0.52	0.66	0.82	1.00	1.20	1.43	1.55

吸入容量
(続き)

形式	圧力損失 Δp [bar]	蒸発温度 t_e [° C]での吸入蒸気容量 Q_e [Kw]						
		-40	-30	-20	-10	0	10	15
R32								
EVR 2	0.1	0.23	0.29	0.36	0.44	0.52	0.62	0.67
	0.15	0.28	0.36	0.44	0.54	0.64	0.75	0.82
	0.2	0.32	0.41	0.51	0.62	0.74	0.87	0.94
EVR 3	0.1	0.42	0.53	0.65	0.79	0.94	1.11	1.20
	0.15	0.50	0.64	0.79	0.96	1.15	1.36	1.47
	0.2	0.57	0.73	0.91	1.11	1.32	1.56	1.69
EVR 4	0.1	1.05	1.33	1.64	1.99	2.38	2.80	3.02
	0.15	1.27	1.61	2.00	2.43	2.90	3.42	3.70
	0.2	1.44	1.84	2.29	2.79	3.34	3.94	4.26
EVR 6	0.1	1.38	1.74	2.15	2.61	3.11	3.66	3.96
	0.15	1.66	2.11	2.62	3.18	3.80	4.47	4.84
	0.2	1.89	2.41	3.00	3.65	4.37	5.15	5.57
EVR 8	0.1	1.64	2.08	2.56	3.10	3.70	4.36	4.72
	0.15	1.98	2.52	3.12	3.78	4.52	5.33	5.76
	0.2	2.25	2.87	3.57	4.35	5.20	6.14	6.64
EVR 10	0.1	2.90	3.66	4.52	5.48	6.53	7.70	8.32
	0.15	3.49	4.44	5.50	6.67	7.97	9.40	10.16
	0.2	3.96	5.07	6.30	7.67	9.18	10.83	11.71
EVR 15	0.1	4.47	5.64	6.96	8.43	10.06	11.85	12.81
	0.15	5.38	6.83	8.46	10.28	12.28	14.48	15.66
	0.2	6.10	7.81	9.70	11.81	14.13	16.68	18.04
EVR 18	0.1	5.84	7.38	9.11	11.04	13.17	15.52	16.77
	0.15	7.04	8.95	11.08	13.45	16.08	18.96	20.49
	0.2	7.99	10.22	12.70	15.46	18.50	21.83	23.61
EVR 20	0.1	9.27	11.71	14.45	17.51	20.89	24.61	26.60
	0.15	11.17	14.19	17.57	21.34	25.50	30.07	32.51
	0.2	12.67	16.21	20.15	24.52	29.34	34.63	37.45
EVR 22	0.1	10.57	13.35	16.48	19.97	23.83	28.07	30.34
	0.15	12.73	16.18	20.04	24.34	29.08	34.29	37.07
	0.2	14.46	18.48	22.98	27.96	33.46	39.49	42.71

容量は、蒸発器直前の液温 $t_l = 25$ °C に基づきます。

表の値は、蒸発器容量について述べたもので、蒸発温度 t_e およびバルブ前後の圧力損失 Δp により与えられます。

容量は、バルブ入口の乾燥飽和蒸気に基づきます。

バルブ入口が過熱ガスの場合、容量は過熱度 10K ごと4%減少します。

補正係数

バルブを選定する際、膨張弁直前の液温 t_l によって補正係数を求め、これを蒸発器容量に乗じます。

補正された容量がわかれば、表から選定することができます。

蒸発温度 t_l に対する補正係数

t_l [° C]	-40	-30	-20	-10	0	10	15
R32	0.54	0.67	0.83	1.00	1.19	1.40	1.51

吸入容量
(続き)

形式	圧力損失 Δp [bar]	蒸発温度 t_e [° C]での吸入蒸気容量 Q_e [Kw]						
		-40	-30	-20	-10	0	10	15
R290								
EVR 2	0.1	0.17	0.22	0.27	0.34	0.41	0.49	0.53
	0.15	0.20	0.26	0.33	0.41	0.50	0.60	0.65
	0.2	0.22	0.29	0.38	0.47	0.57	0.68	0.75
EVR 3	0.1	0.30	0.39	0.49	0.61	0.73	0.88	0.96
	0.15	0.36	0.47	0.59	0.73	0.89	1.07	1.17
	0.2	0.40	0.53	0.68	0.84	1.03	1.23	1.35
EVR 4	0.1	0.76	0.98	1.24	1.52	1.85	2.22	2.42
	0.15	0.90	1.18	1.49	1.85	2.25	2.70	2.95
	0.2	1.01	1.33	1.70	2.12	2.58	3.10	3.39
EVR 6	0.1	0.99	1.29	1.62	2.00	2.42	2.90	3.16
	0.15	1.18	1.54	1.95	2.42	2.95	3.54	3.86
	0.2	1.32	1.75	2.23	2.77	3.38	4.06	4.43
EVR 8	0.1	1.18	1.53	1.93	2.38	2.89	3.46	3.77
	0.15	1.41	1.84	2.33	2.88	3.51	4.21	4.59
	0.2	1.57	2.08	2.65	3.30	4.03	4.84	5.28
EVR 10	0.1	2.09	2.70	3.40	4.19	5.09	6.10	6.64
	0.15	2.48	3.24	4.11	5.09	6.19	7.43	8.10
	0.2	2.78	3.67	4.68	5.82	7.10	8.54	9.32
EVR 15	0.1	3.22	4.16	5.23	6.46	7.84	9.39	10.23
	0.15	3.82	4.99	6.33	7.83	9.54	11.44	12.48
	0.2	4.28	5.65	7.21	8.96	10.94	13.15	14.35
EVR 18	0.1	4.21	5.44	6.85	8.45	10.26	12.29	13.40
	0.15	5.01	6.54	8.28	10.26	12.48	14.98	16.34
	0.2	5.60	7.40	9.43	11.73	14.32	17.21	18.78
EVR 20	0.1	6.68	8.63	10.87	13.41	16.28	19.50	21.25
	0.15	7.94	10.37	13.13	16.27	19.80	23.76	25.91
	0.2	8.88	11.73	14.96	18.61	22.71	27.30	29.79
EVR 22	0.1	7.62	9.85	12.39	15.29	18.56	22.24	24.23
	0.15	9.06	11.83	14.98	18.55	22.58	27.10	29.55
	0.2	10.13	13.38	17.06	21.22	25.90	31.13	33.97

容量は、蒸発器直前の液温 $t_l = 25^\circ\text{C}$ に基づきます。

表の値は、蒸発器容量について述べたもので、蒸発温度 t_e およびバルブ前後の圧力損失 Δp により与えられます。

容量は、バルブ入口の乾燥飽和蒸気に基づきます。

バルブ入口が過熱ガスの場合、容量は過熱度 10K ごとに 4% 減少します。

補正係数

バルブを選定する際、膨張弁直前の液温 t_l によって補正係数を求め、これを蒸発器容量に乘じます。

補正された容量がわかれば、表から選定することができます。

蒸発温度 t_l に対する補正係数

t_l [° C]	-40	-30	-20	-10	0	10	15
R290	0.51	0.65	0.82	1.00	1.21	1.44	1.57

吸入容量
(続き)

形式	圧力損失 Δp [bar]	蒸発温度 t_e [° C]での吸入蒸気容量 Q_e [Kw]						
		-40	-30	-20	-10	0	10	15
R600a								
EVR 2	0.1	0.07	0.11	0.15	0.19	0.24	0.30	0.34
	0.15	0.08	0.12	0.17	0.23	0.29	0.36	0.41
	0.2	0.08	0.13	0.19	0.25	0.33	0.41	0.46
EVR 3	0.1	0.13	0.19	0.26	0.34	0.44	0.54	0.60
	0.15	0.14	0.22	0.31	0.41	0.52	0.66	0.73
	0.2	0.14	0.23	0.34	0.46	0.59	0.75	0.83
EVR 4	0.1	0.33	0.48	0.66	0.87	1.10	1.37	1.52
	0.15	0.34	0.54	0.77	1.03	1.32	1.65	1.84
	0.2	0.34	0.57	0.84	1.15	1.49	1.88	2.09
EVR 6	0.1	0.43	0.63	0.87	1.14	1.44	1.80	1.99
	0.15	0.45	0.71	1.01	1.35	1.73	2.17	2.40
	0.2	0.45	0.75	1.10	1.50	1.95	2.46	2.74
EVR 8	0.1	0.51	0.75	1.03	1.35	1.72	2.14	2.37
	0.15	0.53	0.85	1.20	1.60	2.06	2.58	2.86
	0.2	0.53	0.89	1.32	1.79	2.33	2.93	3.26
EVR 10	0.1	0.90	1.33	1.82	2.39	3.03	3.77	4.18
	0.15	0.94	1.50	2.12	2.83	3.63	4.55	5.05
	0.2	0.94	1.58	2.32	3.16	4.10	5.17	5.76
EVR 15	0.1	1.39	2.05	2.81	3.67	4.67	5.81	6.43
	0.15	1.45	2.31	3.27	4.36	5.60	7.01	7.78
	0.2	1.45	2.43	3.57	4.86	6.32	7.97	8.87
EVR 18	0.1	1.82	2.68	3.67	4.81	6.11	7.60	8.42
	0.15	1.90	3.02	4.27	5.70	7.33	9.17	10.18
	0.2	1.90	3.18	4.68	6.37	8.27	10.43	11.61
EVR 20	0.1	2.89	4.26	5.83	7.63	9.70	12.06	13.36
	0.15	3.02	4.79	6.78	9.04	11.62	14.55	16.15
	0.2	3.02	5.04	7.42	10.10	13.12	16.54	18.41
EVR 22	0.1	3.30	4.86	6.64	8.70	11.06	13.76	15.24
	0.15	3.44	5.46	7.73	10.31	13.25	16.59	18.42
	0.2	3.44	5.74	8.46	11.52	14.97	18.86	20.99

容量は、蒸発器直前の液温 $t_l = 25$ °C に基づきます。

表の値は、蒸発器容量について述べたもので、蒸発温度 t_e およびバルブ前後の圧力損失 Δp により与えられます。

容量は、バルブ入口の乾燥飽和蒸気に基づきます。

バルブ入口が過熱ガスの場合、容量は過熱度 10K ごとに 4 % 減少します。

補正係数

バルブを選定する際、膨張弁直前の液温 t_l によって補正係数を求め、これを蒸発器容量に乘じます。

補正された容量がわかれば、表から選定することができます。

蒸発温度 t_l に対する補正係数

t_l [° C]	-40	-30	-20	-10	0	10	15
R600a	0.44	0.60	0.78	1.00	1.25	1.54	1.70

吸入容量
(続き)

ホットガスデフロスト
ホットガスデフロストでは、凝縮温度 t_c および蒸発温度 t_e からバルブを選定することは通常できません。

これは蒸発器の圧力が、凝縮圧力の付近の値まで素早く上昇するからです。デフロストが終了するまで、この値のままです。

ほとんどの場合、熱回収の例として示されるように、バルブは凝縮温度 t_c およびバルブ前後の圧力損失 Δp から選定されます。

熱回収
以下の値が示されます。

- 冷媒 = R22/R407C
- 蒸発温度 $t_e = -30\text{ }^\circ\text{C}$
- 凝縮温度 $t_c = 40\text{ }^\circ\text{C}$
- バルブ直前のホットガス温度 $t_h = 85\text{ }^\circ\text{C}$
- 必要なホットガス容量 $Q_h = 8\text{ kW}$

$t_c = 40\text{ }^\circ\text{C}$ で R22/R407C の表では、圧力損失 Δp が 0.2 bar の時に、EVR10の容量は 8.6 Kw です。必要な容量は以下のように計算されます。

$$Q_{\text{表}} = f_{\text{蒸発器}} \times f_{\text{ホットガス温度}} \times Q_h$$

$t_e = -30\text{ }^\circ\text{C}$ の補正係数は、表では 0.95 となっています。

ホットガス温度、 $t_h = 85\text{ }^\circ\text{C}$ の補正は、1.04 の係数に相応して、4% と計算されます。

Q_h は、求められた係数で補正することが必要です。

$$8 \times 0.95 \times 1.04 = 7.91\text{ kW}$$

EVR 10, $\Delta p = 0.2\text{ bar}$, $Q_{\text{表}} = 8.6\text{ kW}$
EVR 10, $\Delta p = 0.1\text{ bar}$, $Q_{\text{表}} = 6.1\text{ kW}$

EVR 6 は必要な容量を与えることができますが、 Δp が約 0.8 bar の場合、EVR 6 は小さすぎます

EVR15 は非常に大きいため、必要な Δp 、0.1 bar が得られるかどうかは疑わしくなります。したがって EVR 15 は大きすぎます。

結果： EVR 10 は、指定の条件に対して正しいバルブとなります。

ホットガス容量

形式	バルブ前後の 圧力損失 Δp [bar]	ホットガス容量 Qh [Kw] 蒸発温度 t _e = -10.0 [° C]. ホットガス温度 t _h = t _c + 25.0 [K], 過冷却 Δt _{sub} = 4.0 [K]				
		凝縮温度 t _c [° C]				
		20	30	40	50	60
R22/R407C						
EVR 2	0.1	0.44	0.47	0.49	0.51	0.51
	0.2	0.61	0.66	0.69	0.71	0.72
	0.3	0.75	0.80	0.84	0.87	0.88
	0.4	0.86	0.92	0.97	1.00	1.02
	0.8	1.18	1.27	1.35	1.40	1.43
	1.6	1.57	1.72	1.84	1.93	1.98
EVR 3	0.1	0.79	0.84	0.88	0.91	0.92
	0.2	1.11	1.18	1.24	1.28	1.30
	0.3	1.35	1.44	1.51	1.57	1.59
	0.4	1.54	1.65	1.74	1.80	1.83
	0.8	2.12	2.29	2.42	2.52	2.57
	1.6	2.83	3.10	3.32	3.47	3.56
EVR 4	0.1	1.98	2.11	2.22	2.29	2.33
	0.2	2.79	2.97	3.13	3.23	3.28
	0.3	3.39	3.62	3.81	3.95	4.01
	0.4	3.89	4.16	4.39	4.54	4.62
	0.8	5.35	5.77	6.10	6.34	6.47
	1.6	7.14	7.81	8.35	8.74	8.96
EVR 6	0.1	2.60	2.77	2.90	3.00	3.05
	0.2	3.65	3.89	4.09	4.23	4.30
	0.3	4.44	4.74	4.99	5.17	5.25
	0.4	5.09	5.45	5.74	5.95	6.05
	0.8	7.00	7.55	7.99	8.30	8.47
	1.6	9.34	10.22	10.93	11.44	11.73
EVR 8	0.1	3.09	3.30	3.46	3.58	3.63
	0.2	4.34	4.64	4.87	5.04	5.12
	0.3	5.28	5.65	5.94	6.15	6.25
	0.4	6.06	6.49	6.84	7.08	7.20
	0.8	8.34	8.99	9.51	9.89	10.08
	1.6	11.13	12.17	13.02	13.63	13.97

ホットガス温度 t_h が 10 K 上昇すると t_h = t_c + 25 °C に基づいてバルブ容量は約 2% 減少させます。またその逆の場合もあります。

蒸発温度 t_e が変わると、バルブ容量も変化します。補正係数の表を参照してください。

補正係数

バルブを選定する際は、蒸発温度 t_e に応じた補正係数を下表から求め、要求されるホットガス容量に乘じる必要があります。

蒸発温度 t_e の補正係数

t _e [° C]	-40	-30	-20	-10	0	10	15
R22	0.92	0.95	0.98	1.00	1.02	1.04	1.05
R407C	0.90	0.94	0.97	1.00	1.03	1.06	1.07

ホットガス容量
(続き)

形式	バルブ前後の 圧力損失 Δp [bar]	ホットガス容量 Q_h [Kw] 蒸発温度 $t_e = -10.0$ [° C]. ホットガス温度 $t_h = t_c + 25.0$ [K]. 過冷却 $\Delta t_{sub} = 4.0$ [K]				
		凝縮温度 t_c [° C]				
		20	30	40	50	60
R22/R407C (続き)						
EVR 10	0.1	5.45	5.81	6.10	6.31	6.40
	0.2	7.66	8.18	8.60	8.89	9.03
	0.3	9.32	9.97	10.49	10.86	11.03
	0.4	10.69	11.45	12.06	12.50	12.71
	0.8	14.71	15.86	16.78	17.45	17.79
	1.6	19.63	21.48	22.96	24.05	24.64
EVR 15	0.1	8.40	8.95	9.40	9.71	9.86
	0.2	11.80	12.60	13.24	13.69	13.91
	0.3	14.36	15.35	16.15	16.72	16.99
	0.4	16.46	17.63	18.58	19.24	19.57
	0.8	22.65	24.42	25.85	26.87	27.39
	1.6	30.23	33.08	35.37	37.03	37.95
EVR 18	0.1	11.00	11.72	12.30	12.71	12.90
	0.2	15.45	16.49	17.33	17.93	18.20
	0.3	18.79	20.09	21.14	21.89	22.24
	0.4	21.55	23.08	24.32	25.19	25.61
	0.8	29.65	31.97	33.84	35.18	35.86
	1.6	39.57	43.30	46.30	48.48	49.68
EVR 20	0.1	17.44	18.59	19.52	20.17	20.47
	0.2	24.50	26.16	27.49	28.43	28.87
	0.3	29.81	31.87	33.54	34.71	35.27
	0.4	34.19	36.61	38.57	39.96	40.63
	0.8	47.03	50.71	53.68	55.80	56.88
	1.6	62.77	68.68	73.44	76.90	78.81
EVR 22	0.1	19.89	21.20	22.26	23.00	23.34
	0.2	27.95	29.83	31.36	32.43	32.93
	0.3	34.00	36.35	38.25	39.59	40.23
	0.4	38.99	41.76	43.99	45.57	46.34
	0.8	53.63	57.83	61.22	63.64	64.87
	1.6	71.59	78.32	83.75	87.70	89.87

ホットガス温度 t_h が10 K上昇すると $t_h = t_c + 25$ °C に基づいてバルブ容量は約2%減少させます。またその逆の場合もあります。

蒸発温度 t_e が変わると、バルブ容量も変化します。補正係数の表を参照してください。

補正係数

バルブを選定する際は、蒸発温度 t_e に応じた補正係数を下表から求め、要求されるホットガス容量に乘じる必要があります。

蒸発温度 t_e の補正係数

t_e [° C]	-40	-30	-20	-10	0	10	15
R22	0.92	0.95	0.98	1.00	1.02	1.04	1.05
R407C	0.90	0.94	0.97	1.00	1.03	1.06	1.07

ホットガス容量
(続き)

形式	バルブ前後の 圧力損失 Δp [bar]	ホットガス容量 Q_h [Kw] 蒸発温度 $t_e = -10.0$ [° C]. ホットガス温度 $t_h = t_c + 25.0$ [K]. 過冷却 $\Delta t_{sub} = 4.0$ [K]				
		凝縮温度 t_c [° C]				
		20	30	40	50	60

R22/R407C (続き)

EVR 25	0.2	40.12	42.82	45.01	46.55	47.27
	0.3	48.80	52.18	54.91	56.83	57.75
	0.4	55.97	59.94	63.15	65.42	66.52
	0.8	76.99	83.01	87.87	91.35	93.12
	1.6	102.77	112.43	120.23	125.89	129.01
EVR 32	0.2	68.55	73.18	76.92	79.55	80.78
	0.3	83.39	89.17	93.83	97.12	98.69
	0.4	95.64	102.43	107.91	111.79	113.67
	0.8	131.57	141.86	150.17	156.11	159.13
	1.6	175.62	192.14	205.45	215.13	220.47
EVR 40	0.2	99.16	105.86	111.26	115.07	116.85
	0.3	120.63	128.98	135.72	140.49	142.75
	0.4	138.35	148.17	156.10	161.71	164.42
	0.8	190.31	205.20	217.22	225.81	230.18
	1.6	254.03	277.93	297.19	311.19	318.91

ホットガス温度 t_h が 10 K 上昇すると $t_h = t_c + 25$ °C に基づいてバルブ容量は約 2% 減少させます。またその逆の場合もあります。

蒸発温度 t_e が変わると、バルブ容量も変化します。補正係数の表を参照してください。

補正係数

バルブを選定する際は、蒸発温度 t_e に応じた補正係数を下表から求め、要求されるホットガス容量に乘じる必要があります。

蒸発温度 t_e の補正係数

t_e [° C]	-40	-30	-20	-10	0	10	15
R22	0.92	0.95	0.98	1.00	1.02	1.04	1.05
R407C	0.90	0.94	0.97	1.00	1.03	1.06	1.07

ホットガス容量
(続き)

形式	バルブ前後の 圧力損失 Δp [bar]	ホットガス容量 Q_h [Kw] 蒸発温度 $t_e = -10.0$ [° C]. ホットガス温度 $t_h = t_c + 25.0$ [K]. 過冷却 $\Delta t_{sub} = 4.0$ [K]				
		凝縮温度 t_c [° C]				
		20	30	40	50	60
R134a						
EVR 2	0.1	0.35	0.37	0.38	0.39	0.39
	0.2	0.48	0.52	0.54	0.55	0.55
	0.3	0.59	0.63	0.66	0.67	0.67
	0.4	0.67	0.72	0.75	0.77	0.77
	0.8	0.90	0.98	1.04	1.07	1.07
	1.6	1.15	1.29	1.39	1.45	1.47
EVR 3	0.1	0.62	0.66	0.69	0.70	0.70
	0.2	0.87	0.93	0.97	0.99	0.99
	0.3	1.06	1.13	1.18	1.21	1.20
	0.4	1.21	1.29	1.36	1.39	1.39
	0.8	1.63	1.77	1.87	1.93	1.93
	1.6	2.07	2.32	2.50	2.61	2.64
EVR 4	0.1	1.57	1.67	1.74	1.78	1.77
	0.2	2.20	2.34	2.45	2.50	2.49
	0.3	2.66	2.85	2.98	3.04	3.03
	0.4	3.04	3.26	3.42	3.50	3.49
	0.8	4.09	4.45	4.70	4.85	4.86
	1.6	5.22	5.84	6.30	6.58	6.66
EVR 6	0.1	2.06	2.19	2.28	2.32	2.31
	0.2	2.88	3.07	3.20	3.27	3.26
	0.3	3.48	3.72	3.90	3.98	3.97
	0.4	3.98	4.26	4.47	4.58	4.57
	0.8	5.36	5.82	6.16	6.35	6.36
	1.6	6.83	7.65	8.24	8.61	8.71
EVR 8	0.1	2.45	2.60	2.71	2.77	2.75
	0.2	3.43	3.65	3.81	3.89	3.88
	0.3	4.15	4.44	4.64	4.75	4.73
	0.4	4.73	5.08	5.32	5.45	5.44
	0.8	6.38	6.93	7.33	7.56	7.57
	1.6	8.14	9.11	9.82	10.26	10.38

ホットガス温度 t_h が10 K上昇すると $t_h = t_c + 25$ °C に基づいてバルブ容量は約 2 % 減少させます。またその逆の場合もあります。

蒸発温度 t_e が変わるとバルブ容量も変化します。補正係数の表を参照してください。

補正係数

バルブを選定する際は、蒸発温度 t_e に応じた補正係数を下表から求め、要求されるホットガス容量に乘じる必要があります。

蒸発温度 t_e の補正係数

t_e [° C]	-40	-30	-20	-10	0	10	15
R134a	0.88	0.92	0.96	1.00	1.04	1.08	1.09

ホットガス容量
(続き)

形式	バルブ前後の 圧力損失 Δp [bar]	ホットガス容量 Q_h [Kw] 蒸発温度 $t_e = -10.0$ [° C]. ホットガス温度 $t_h = t_c + 25.0$ [K]. 過冷却 $\Delta t_{sub} = 4.0$ [K]				
		凝縮温度 t_c [° C]				
		20	30	40	50	60
R134a (続き)						
EVR 10	0.1	4.32	4.60	4.79	4.88	4.85
	0.2	6.05	6.44	6.73	6.87	6.84
	0.3	7.32	7.83	8.19	8.37	8.34
	0.4	8.35	8.96	9.39	9.62	9.60
	0.8	11.26	12.23	12.94	13.33	13.36
	1.6	14.35	16.06	17.32	18.09	18.30
EVR 15	0.1	6.66	7.08	7.37	7.52	7.48
	0.2	9.31	9.92	10.36	10.58	10.53
	0.3	11.27	12.05	12.61	12.89	12.85
	0.4	12.86	13.80	14.46	14.81	14.78
	0.8	17.34	18.84	19.93	20.54	20.58
	1.6	22.10	24.74	26.68	27.86	28.19
EVR 18	0.1	8.72	9.26	9.65	9.84	9.79
	0.2	12.19	12.99	13.56	13.85	13.79
	0.3	14.76	15.78	16.50	16.88	16.82
	0.4	16.84	18.06	18.93	19.39	19.35
	0.8	22.70	24.66	26.08	26.88	26.94
	1.6	28.93	32.39	34.93	36.48	36.90
EVR 20	0.1	13.83	14.69	15.31	15.61	15.52
	0.2	19.33	20.61	21.51	21.97	21.87
	0.3	23.41	25.02	26.18	26.77	26.68
	0.4	26.71	28.65	30.03	30.76	30.69
	0.8	36.00	39.12	41.37	42.64	42.73
	1.6	45.89	51.37	55.40	57.86	58.53
EVR 22	0.1	15.77	16.76	17.46	17.80	17.71
	0.2	22.05	23.50	24.53	25.05	24.94
	0.3	26.69	28.54	29.85	30.53	30.43
	0.4	30.46	32.67	34.25	35.08	35.00
	0.8	41.06	44.61	47.18	48.63	48.74
	1.6	52.34	58.59	63.18	65.98	66.75

ホットガス温度 t_h が 10 K 上昇すると $t_h = t_c + 25$ °C に基づいてバルブ容量は約 2 % 減少させます。またその逆の場合もあります。

蒸発温度 t_e が変わると、バルブ容量も変化します。補正係数の表を参照してください。

補正係数

バルブを選定する際は、蒸発温度 t_e に応じた補正係数を下表から求め、要求されるホットガス容量に乘じる必要があります。

蒸発温度 t_e の補正係数

t_e [° C]	-40	-30	-20	-10	0	10	15
R134a	0.88	0.92	0.96	1.00	1.04	1.08	1.09

ホットガス容量
(続き)

形式	バルブ前後の 圧力損失 Δp [bar]	ホットガス容量 Q_h [Kw] 蒸発温度 $t_e = -10.0$ [° C]. ホットガス温度 $t_h = t_c + 25.0$ [K]. 過冷却 $\Delta t_{sub} = 4.0$ [K]				
		凝縮温度 t_c [° C]				
		20	30	40	50	60
R134a (続き)						
EVR 25	0.2	31.65	33.74	35.22	35.96	35.81
	0.3	38.32	40.97	42.86	43.83	43.68
	0.4	43.73	46.90	49.17	50.36	50.25
	0.8	58.94	64.04	67.73	69.81	69.96
	1.6	75.14	84.10	90.69	94.72	95.82
EVR 32	0.2	54.08	57.65	60.18	61.46	61.19
	0.3	65.48	70.01	73.24	74.90	74.65
	0.4	74.73	80.15	84.02	86.06	85.87
	0.8	100.72	109.44	115.75	119.29	119.55
	1.6	128.40	143.72	154.99	161.86	163.75
EVR 40	0.2	78.23	83.39	87.05	88.90	88.51
	0.3	94.72	101.27	105.94	108.34	107.99
	0.4	108.10	115.93	121.54	124.49	124.21
	0.8	145.69	158.31	167.43	172.55	172.94
	1.6	185.73	207.90	224.19	234.14	236.87

ホットガス温度 t_h が 10 K 上昇すると $t_h = t_c + 25$ °C に基づいてバルブ容量は約 2 % 減少させます。またその逆の場合もあります。

蒸発温度 t_e が変わるとバルブ容量も変化します。補正係数の表を参照してください。

補正係数

バルブを選定する際は、蒸発温度 t_e に応じた補正係数を下表から求め、要求されるホットガス容量に乘じる必要があります。

蒸発温度 t_e の補正係数

t_e [° C]	-40	-30	-20	-10	0	10	15
R134a	0.88	0.92	0.96	1.00	1.04	1.08	1.09

ホットガス容量
(続き)

形式	バルブ前後の 圧力損失 Δp bar	ホットガス容量 Q_h [Kw] 蒸発温度 $t_e = -10.0$ [° C]. ホットガス温度 $t_h = t_c + 25.0$ [K], 過冷却 $\Delta t_{sub} = 4.0$ [K]				
		凝縮温度 t_c [° C]				
		20	30	40	50	60
R404A/R507						
EVR 2	0.1	0.40	0.40	0.40	0.38	0.34
	0.2	0.56	0.57	0.56	0.54	0.49
	0.3	0.68	0.69	0.69	0.66	0.59
	0.4	0.78	0.80	0.79	0.76	0.68
	0.8	1.07	1.11	1.10	1.06	0.96
	1.6	1.44	1.50	1.52	1.47	1.33
EVR 3	0.1	0.71	0.73	0.72	0.69	0.62
	0.2	1.00	1.02	1.02	0.97	0.88
	0.3	1.22	1.25	1.24	1.19	1.07
	0.4	1.40	1.43	1.43	1.37	1.23
	0.8	1.93	1.99	1.99	1.91	1.73
	1.6	2.60	2.71	2.73	2.64	2.40
EVR 4	0.1	1.79	1.83	1.82	1.74	1.56
	0.2	2.52	2.57	2.56	2.45	2.20
	0.3	3.07	3.14	3.12	2.99	2.69
	0.4	3.52	3.61	3.59	3.44	3.10
	0.8	4.86	5.01	5.01	4.82	4.35
	1.6	6.54	6.82	6.88	6.66	6.04
EVR 6	0.1	2.35	2.39	2.38	2.27	2.04
	0.2	3.30	3.37	3.35	3.21	2.89
	0.3	4.02	4.11	4.09	3.92	3.53
	0.4	4.61	4.72	4.70	4.51	4.06
	0.8	6.36	6.56	6.56	6.30	5.69
	1.6	8.56	8.93	9.00	8.71	7.91
EVR 8	0.1	2.79	2.85	2.83	2.71	2.44
	0.2	3.93	4.01	3.99	3.82	3.44
	0.3	4.78	4.89	4.87	4.66	4.20
	0.4	5.49	5.62	5.60	5.37	4.84
	0.8	7.58	7.81	7.81	7.51	6.78
	1.6	10.20	10.63	10.72	10.38	9.42

ホットガス温度 t_h が10 K上昇すると $t_h = t_c + 25$ °C に基づいてバルブ容量は約 2 % 減少させます。またその逆の場合もあります。

蒸発温度 t_e が変わるとバルブ容量も変化します。補正係数の表を参照してください。

補正係数

バルブを選定する際は、蒸発温度 t_e に応じた補正係数を下表から求め、要求されるホットガス容量に乘じる必要があります。

蒸発温度 t_e の補正係数

t_e [° C]	-40	-30	-20	-10	0	10	15
R404A/R507	0.86	0.91	0.96	1.00	1.04	1.08	1.10

ホットガス容量
(続き)

形式	バルブ前後の 圧力損失 Δp bar	ホットガス容量 Q_h [Kw] 蒸発温度 $t_e = -10.0$ [° C]. ホットガス温度 $t_h = t_c + 25.0$ [K]. 過冷却 $\Delta t_{sub} = 4.0$ [K]				
		凝縮温度 t_c [° C]				
		20	30	40	50	60
R404A/R507 (続き)						
EVR 10	0.1	4.93	5.03	4.99	4.78	4.30
	0.2	6.93	7.08	7.04	6.74	6.06
	0.3	8.44	8.63	8.59	8.23	7.41
	0.4	9.69	9.92	9.88	9.47	8.54
	0.8	13.37	13.78	13.78	13.25	11.96
	1.6	17.99	18.76	18.92	18.31	16.61
EVR 15	0.1	7.59	7.75	7.69	7.36	6.62
	0.2	10.67	10.90	10.84	10.37	9.34
	0.3	13.00	13.29	13.23	12.67	11.41
	0.4	14.92	15.28	15.22	14.59	13.14
	0.8	20.59	21.22	21.22	20.40	18.42
	1.6	27.70	28.89	29.14	28.20	25.58
EVR 18	0.1	9.94	10.14	10.07	9.63	8.66
	0.2	13.97	14.27	14.19	13.58	12.22
	0.3	17.01	17.40	17.31	16.59	14.94
	0.4	19.53	20.00	19.92	19.10	17.21
	0.8	26.96	27.78	27.77	26.71	24.12
	1.6	36.26	37.82	38.14	36.91	33.49
EVR 20	0.1	15.76	16.08	15.97	15.27	13.74
	0.2	22.16	22.64	22.50	21.54	19.39
	0.3	26.98	27.61	27.46	26.31	23.69
	0.4	30.97	31.73	31.60	30.29	27.29
	0.8	42.76	44.06	44.05	42.36	38.25
	1.6	57.52	59.99	60.50	58.55	53.12
EVR 22	0.1	17.98	18.34	18.21	17.42	15.67
	0.2	25.28	25.82	25.66	24.57	22.11
	0.3	30.77	31.48	31.32	30.00	27.02
	0.4	35.32	36.19	36.04	34.55	31.13
	0.8	48.77	50.25	50.24	48.31	43.63
	1.6	65.60	68.42	69.00	66.77	60.58

ホットガス温度 t_h が10 K上昇すると $t_h = t_c + 25$ °C に基づいてバルブ容量は約 2 % 減少させます。またその逆の場合もあります。

蒸発温度 t_e が変わるとバルブ容量も変化します。補正係数の表を参照してください。

補正係数

バルブを選定する際は、蒸発温度 t_e に応じた補正係数を下表から求め、要求されるホットガス容量に乘じる必要があります。

蒸発温度 t_e の補正係数

t_e [° C]	-40	-30	-20	-10	0	10	15
R404A/R507	0.86	0.91	0.96	1.00	1.04	1.08	1.10

ホットガス容量
(続き)

形式	バルブ前後の 圧力損失 Δp bar	ホットガス容量 Q_h [Kw] 蒸発温度 $t_e = -10.0$ [° C]. ホットガス温度 $t_h = t_c + 25.0$ [K]. 過冷却 $\Delta t_{sub} = 4.0$ [K]				
		凝縮温度 t_c [° C]				
		20	30	40	50	60
R404A/R507 (続き)						
EVR 25	0.2	36.28	37.07	36.84	35.26	31.74
	0.3	44.17	45.19	44.96	43.07	38.78
	0.4	50.71	51.95	51.73	49.59	44.68
	0.8	70.00	72.13	72.12	69.35	62.63
	1.6	94.17	98.22	99.05	95.85	86.97
EVR 32	0.2	62.00	63.34	62.95	60.26	54.24
	0.3	75.49	77.23	76.83	73.60	66.28
	0.4	86.65	88.77	88.40	84.75	76.36
	0.8	119.62	123.26	123.24	118.51	107.02
	1.6	160.92	167.84	169.27	163.80	148.61
EVR 40	0.2	89.69	91.63	91.06	87.17	78.45
	0.3	109.20	111.71	111.13	106.46	95.87
	0.4	125.34	128.41	127.87	122.59	110.45
	0.8	173.04	178.29	178.27	171.43	154.81
	1.6	232.77	242.78	244.85	236.94	214.97

ホットガス温度 t_h が10 K上昇すると $t_h = t_c + 25$ °C に基づいてバルブ容量は約 2 % 減少させます。またその逆の場合もあります。

蒸発温度 t_e が変わるとバルブ容量も変化します。補正係数の表を参照してください。

補正係数

バルブを選定する際は、蒸発温度 t_e に応じた補正係数を下表から求め、要求されるホットガス容量に乘じる必要があります。

蒸発温度 t_e の補正係数

t_e [° C]	-40	-30	-20	-10	0	10	15
R404A/R507	0.86	0.91	0.96	1.00	1.04	1.08	1.10

ホットガス容量
(続き)

形式	バルブ前後の 圧力損失 Δp bar	ホットガス容量 Q_h [Kw] 蒸発温度 $t_e = -10.0$ [° C]. ホットガス温度 $t_h = t_c + 25.0$ [K]. 過冷却 $\Delta t_{sub} = 4.0$ [K]				
		凝縮温度 t_c [° C]				
		20	30	40	50	60
R410A						
EVR 2	0.1	0.55	0.58	0.60	0.60	0.58
	0.2	0.78	0.81	0.84	0.84	0.82
	0.3	0.95	0.99	1.03	1.03	1.00
	0.4	1.09	1.14	1.18	1.19	1.15
	0.8	1.51	1.60	1.65	1.67	1.61
	1.6	2.06	2.20	2.29	2.32	2.25
EVR 3	0.1	0.99	1.04	1.07	1.08	1.04
	0.2	1.40	1.47	1.51	1.52	1.47
	0.3	1.70	1.79	1.85	1.86	1.79
	0.4	1.96	2.06	2.13	2.14	2.07
	0.8	2.72	2.88	2.98	3.00	2.91
	1.6	3.71	3.96	4.12	4.17	4.06
EVR 4	0.1	2.50	2.62	2.70	2.71	2.62
	0.2	3.51	3.69	3.81	3.82	3.70
	0.3	4.29	4.51	4.65	4.67	4.52
	0.4	4.93	5.19	5.35	5.39	5.21
	0.8	6.85	7.24	7.50	7.56	7.32
	1.6	9.35	9.97	10.38	10.51	10.22
EVR 6	0.1	3.27	3.43	3.53	3.55	3.43
	0.2	4.60	4.83	4.98	5.00	4.84
	0.3	5.61	5.90	6.08	6.12	5.91
	0.4	6.45	6.79	7.01	7.05	6.82
	0.8	8.96	9.48	9.81	9.89	9.58
	1.6	12.23	13.05	13.59	13.76	13.38
EVR 8	0.1	3.89	4.08	4.21	4.22	4.08
	0.2	5.48	5.76	5.93	5.96	5.76
	0.3	6.68	7.03	7.25	7.29	7.04
	0.4	7.68	8.09	8.35	8.40	8.12
	0.8	10.67	11.29	11.68	11.78	11.41
	1.6	14.57	15.54	16.18	16.39	15.93

ホットガス温度 t_h が 10 K 上昇すると $t_h = t_c + 25$ °C に基づいてバルブ容量を約 2 % 減少させます。またその逆の場合もあります。

蒸発温度 t_e が変わるとバルブ容量も変化します。補正係数の表を参照してください。

補正係数

バルブを選定する際は、蒸発温度 t_e に応じた補正係数を下表から求め、要求されるホットガス容量に乘じる必要があります。

蒸発温度 t_e の補正係数

t_e [° C]	-40	-30	-20	-10	0	10	15
R410A	0.93	0.95	0.98	1.00	1.02	1.03	1.04

ホットガス容量
(続き)

形式	バルブ前後の 圧力損失 Δp bar	ホットガス容量 Q_h [Kw] 蒸発温度 $t_e = -10.0$ [° C]. ホットガス温度 $t_h = t_c + 25.0$ [K]. 過冷却 $\Delta t_{sub} = 4.0$ [K]				
		凝縮温度 t_c [° C]				
		20	30	40	50	60
R410A (続き)						
EVR 10	0.1	6.86	7.20	7.42	7.45	7.20
	0.2	9.66	10.16	10.46	10.52	10.16
	0.3	11.78	12.40	12.78	12.85	12.43
	0.4	13.55	14.27	14.72	14.81	14.33
	0.8	18.83	19.91	20.61	20.78	20.13
	1.6	25.70	27.41	28.55	28.91	28.10
EVR 15	0.1	10.57	11.10	11.43	11.48	11.09
	0.2	14.88	15.64	16.12	16.20	15.65
	0.3	18.15	19.09	19.69	19.80	19.14
	0.4	20.87	21.98	22.68	22.81	22.07
	0.8	29.00	30.67	31.74	32.00	31.00
	1.6	39.58	42.22	43.97	44.53	43.28
EVR 18	0.1	13.83	14.52	14.96	15.02	14.51
	0.2	19.48	20.47	21.10	21.20	20.49
	0.3	23.76	24.99	25.77	25.91	25.05
	0.4	27.32	28.77	29.69	29.86	28.88
	0.8	37.97	40.15	41.55	41.89	40.59
	1.6	51.81	55.27	57.56	58.29	56.66
EVR 20	0.1	21.94	23.04	23.72	23.83	23.02
	0.2	30.90	32.48	33.46	33.63	32.50
	0.3	37.68	39.65	40.88	41.10	39.74
	0.4	43.33	45.63	47.09	47.37	45.82
	0.8	60.22	63.68	65.91	66.45	64.38
	1.6	82.19	87.67	91.30	92.46	89.87
EVR 22	0.1	25.03	26.28	27.06	27.17	26.25
	0.2	35.24	37.04	38.17	38.35	37.07
	0.3	42.98	45.22	46.62	46.88	45.32
	0.4	49.41	52.04	53.70	54.02	52.25
	0.8	68.68	72.63	75.17	75.79	73.42
	1.6	93.73	99.98	104.12	105.44	102.49

ホットガス温度 t_h が 10 K 上昇すると $t_h = t_c + 25$ °C に基づいてバルブ容量は約 2% 減少させます。またその逆の場合もあります。

蒸発温度 t_e が変わるとバルブ容量も変化します。補正係数の表を参照してください。

補正係数

バルブを選定する際は、蒸発温度 t_e に応じた補正係数を下表から求め、要求されるホットガス容量に乘じる必要があります。

蒸発温度 t_e の補正係数

t_e [° C]	-40	-30	-20	-10	0	10	15
R410A	0.93	0.95	0.98	1.00	1.02	1.03	1.04

ホットガス容量
(続き)

形式	バルブ前後の 圧力損失 Δp bar	ホットガス容量 Q_h [Kw] 蒸発温度 $t_e = -10.0$ [° C]. ホットガス温度 $t_h = t_c + 25.0$ [K]. 過冷却 $\Delta t_{sub} = 4.0$ [K]				
		凝縮温度 t_c [° C]				
		20	30	40	50	60
R410A (続き)						
EVR 25	0.2	50.59	53.17	54.79	55.05	53.21
	0.3	61.69	64.91	66.93	67.29	65.06
	0.4	70.93	74.70	77.09	77.55	75.01
	0.8	98.59	104.26	107.91	108.79	105.40
	1.6	134.55	143.52	149.46	151.36	147.13
EVR 32	0.2	86.45	90.86	93.62	94.08	90.92
	0.3	105.43	110.92	114.37	115.00	111.18
	0.4	121.22	127.66	131.73	132.52	128.18
	0.8	168.48	178.16	184.40	185.91	180.11
	1.6	229.93	245.26	255.41	258.66	251.43
EVR 40	0.2	125.05	131.43	135.43	136.09	131.52
	0.3	152.50	160.44	165.44	166.34	160.82
	0.4	175.34	184.66	190.55	191.69	185.41
	0.8	243.70	257.72	266.74	268.92	260.53
	1.6	332.59	354.78	369.46	374.15	363.69

ホットガス温度 t_h が 10 K 上昇すると $t_h = t_c + 25$ °C に基づいてバルブ容量は約 2% 減少させます。またその逆の場合もあります。

蒸発温度 t_e が変わるとバルブ容量も変化します。補正係数の表を参照してください。

補正係数

バルブを選定する際は、蒸発温度 t_e に応じた補正係数を下表から求め、要求されるホットガス容量に乘じる必要があります。

蒸発温度 t_e の補正係数

t_e [° C]	-40	-30	-20	-10	0	10	15
R410A	0.93	0.95	0.98	1.00	1.02	1.03	1.04

ホットガス容量
(続き)

形式	バルブ前後の 圧力損失 Δp bar	ホットガス容量 Qh [Kw] 蒸発温度 t _e = -10.0 [° C]. ホットガス温度 t _h = t _c + 25.0 [K]. 過冷却 Δt _{sub} = 4.0 [K]				
		凝縮温度 t _c [° C]				
		20	30	40	50	60
R32						
EVR 2	0.1	0.69	0.74	0.78	0.81	0.82
	0.2	0.97	1.04	1.10	1.15	1.16
	0.3	1.19	1.28	1.35	1.40	1.42
	0.4	1.37	1.47	1.55	1.61	1.64
	0.8	1.90	2.05	2.18	2.27	2.31
	1.6	2.61	2.83	3.02	3.16	3.22
EVR 3	0.1	1.24	1.33	1.41	1.46	1.48
	0.2	1.75	1.88	1.99	2.06	2.09
	0.3	2.14	2.30	2.43	2.52	2.56
	0.4	2.46	2.64	2.79	2.90	2.95
	0.8	3.43	3.69	3.92	4.08	4.15
	1.6	4.69	5.10	5.43	5.68	5.80
EVR 4	0.1	3.14	3.36	3.54	3.68	3.73
	0.2	4.42	4.73	5.00	5.19	5.27
	0.3	5.39	5.78	6.11	6.35	6.45
	0.4	6.20	6.66	7.04	7.32	7.43
	0.8	8.63	9.30	9.86	10.27	10.45
	1.6	11.81	12.83	13.68	14.31	14.61
EVR 6	0.1	4.10	4.39	4.64	4.81	4.89
	0.2	5.78	6.20	6.54	6.80	6.90
	0.3	7.05	7.57	8.00	8.31	8.44
	0.4	8.11	8.71	9.21	9.58	9.73
	0.8	11.29	12.17	12.91	13.44	13.68
	1.6	15.46	16.80	17.91	18.73	19.12
EVR 8	0.1	4.89	5.23	5.52	5.73	5.82
	0.2	6.89	7.38	7.79	8.09	8.22
	0.3	8.40	9.01	9.52	9.89	10.05
	0.4	9.66	10.38	10.97	11.40	11.59
	0.8	13.45	14.50	15.37	16.01	16.29
	1.6	18.41	20.00	21.33	22.31	22.77

ホットガス温度 t_h が10 K上昇すると t_h = t_c + 25 °C に基づいてバルブ容量を約 2% 減少させます。またその逆の場合もあります。

蒸発温度 t_e が変わるとバルブ容量も変化します。補正係数の表を参照してください。

補正係数

バルブを選定する際は、蒸発温度 t_e に応じた補正係数を下表から求め、要求されるホットガス容量に乘じる必要があります。

蒸発温度 t_e の補正係数

t _e [° C]	-40	-30	-20	-10	0	10	15
R32	0.96	0.97	0.99	1.00	1.01	1.01	1.01

ホットガス容量
(続き)

形式	バルブ前後の 圧力損失 Δp bar	ホットガス容量 Qh [Kw] 蒸発温度 t _e = -10.0 [° C]. ホットガス温度 t _h = t _c + 25.0 [K]. 過冷却 Δt _{sub} = 4.0 [K]				
		凝縮温度 t _c [° C]				
		20	30	40	50	60
R32 (続き)						
EVR 10	0.1	8.62	9.23	9.75	10.11	10.27
	0.2	12.15	13.02	13.75	14.28	14.50
	0.3	14.82	15.90	16.80	17.45	17.73
	0.4	17.04	18.30	19.36	20.12	20.45
	0.8	23.72	25.57	27.12	28.24	28.75
	1.6	32.48	35.29	37.63	39.35	40.17
EVR 15	0.1	13.28	14.22	15.01	15.58	15.81
	0.2	18.71	20.05	21.18	21.99	22.33
	0.3	22.82	24.49	25.88	26.88	27.31
	0.4	26.25	28.19	29.81	30.98	31.49
	0.8	36.54	39.39	41.77	43.50	44.27
	1.6	50.02	54.35	57.96	60.61	61.87
EVR 18	0.1	17.38	18.62	19.65	20.39	20.70
	0.2	24.49	26.25	27.72	28.79	29.23
	0.3	29.88	32.05	33.87	35.19	35.75
	0.4	34.36	36.90	39.02	40.56	41.22
	0.8	47.83	51.56	54.67	56.94	57.95
	1.6	65.48	71.14	75.87	79.33	80.99
EVR 20	0.1	27.57	29.53	31.17	32.34	32.84
	0.2	38.84	41.64	43.97	45.66	46.37
	0.3	47.39	50.84	53.73	55.82	56.71
	0.4	54.50	58.53	61.90	64.34	65.38
	0.8	75.87	81.79	86.72	90.32	91.93
	1.6	103.86	112.85	120.34	125.84	128.47
EVR 22	0.1	31.45	33.68	35.54	36.89	37.45
	0.2	44.30	47.49	50.15	52.07	52.88
	0.3	54.05	57.99	61.28	63.66	64.67
	0.4	62.16	66.76	70.59	73.37	74.57
	0.8	86.52	93.27	98.91	103.00	104.84
	1.6	118.45	128.70	137.24	143.52	146.52

ホットガス温度 t_h が 10 K 上昇すると t_h = t_c + 25 °C に基づいてバルブ容量は約 2% 減少させます。またその逆の場合もあります。

蒸発温度 t_e が変わるとバルブ容量も変化します。補正係数の表を参照してください。

補正係数

バルブを選定する際は、蒸発温度 t_e に応じた補正係数を下表から求め、要求されるホットガス容量に乘じる必要があります。

蒸発温度 t_e の補正係数

t _e [° C]	-40	-30	-20	-10	0	10	15
R32	0.96	0.97	0.99	1.00	1.01	1.01	1.01

ホットガス容量
(続き)

形式	バルブ前後の 圧力損失 Δp bar	ホットガス容量 Q_h [Kw] 蒸発温度 $t_e = -10.0$ [° C]. ホットガス温度 $t_h = t_c + 25.0$ [K], 過冷却 $\Delta t_{sub} = 4.0$ [K]				
		凝縮温度 t_c [° C]				
		20	30	40	50	60
R290						
EVR 2	0.1	0.53	0.55	0.56	0.56	0.55
	0.2	0.74	0.77	0.79	0.79	0.77
	0.3	0.90	0.94	0.96	0.97	0.94
	0.4	1.03	1.08	1.11	1.11	1.08
	0.8	1.41	1.49	1.54	1.55	1.52
	1.6	1.87	2.00	2.09	2.12	2.09
EVR 3	0.1	0.95	0.99	1.01	1.01	0.98
	0.2	1.33	1.39	1.42	1.42	1.39
	0.3	1.62	1.69	1.73	1.74	1.70
	0.4	1.86	1.94	1.99	2.00	1.95
	0.8	2.54	2.68	2.76	2.78	2.73
	1.6	3.37	3.60	3.76	3.82	3.76
EVR 4	0.1	2.39	2.49	2.54	2.54	2.48
	0.2	3.36	3.50	3.58	3.59	3.50
	0.3	4.08	4.26	4.36	4.38	4.27
	0.4	4.67	4.89	5.02	5.03	4.92
	0.8	6.40	6.75	6.96	7.01	6.87
	1.6	8.48	9.08	9.47	9.62	9.48
EVR 6	0.1	3.13	3.26	3.33	3.33	3.25
	0.2	4.39	4.58	4.69	4.69	4.58
	0.3	5.34	5.58	5.71	5.73	5.59
	0.4	6.12	6.40	6.57	6.59	6.44
	0.8	8.38	8.84	9.11	9.18	8.99
	1.6	11.09	11.88	12.39	12.58	12.40
EVR 8	0.1	3.73	3.88	3.96	3.97	3.87
	0.2	5.23	5.45	5.58	5.59	5.45
	0.3	6.36	6.64	6.80	6.82	6.66
	0.4	7.29	7.62	7.82	7.85	7.66
	0.8	9.98	10.52	10.85	10.93	10.71
	1.6	13.21	14.15	14.76	14.99	14.77

ホットガス温度 t_h が10 K上昇すると $t_h = t_c + 25$ °C に基づいてバルブ容量を約 2% 減少させます。またその逆の場合もあります。

蒸発温度 t_e が変わるとバルブ容量も変化します。補正係数の表を参照してください。

補正係数

バルブを選定する際は、蒸発温度 t_e に応じた補正係数を下表から求め、要求されるホットガス容量に乘じる必要があります。

蒸発温度 t_e の補正係数

t_e [° C]	-40	-30	-20	-10	0	10	15
R290	0.88	0.92	0.96	1.00	1.04	1.07	1.09

ホットガス容量
(続き)

形式	バルブ前後の 圧力損失 Δp bar	ホットガス容量 Q_h [Kw] 蒸発温度 $t_e = -10.0$ [° C]. ホットガス温度 $t_h = t_c + 25.0$ [K]. 過冷却 $\Delta t_{sub} = 4.0$ [K]				
		凝縮温度 t_c [° C]				
		20	30	40	50	60
R290 (続き)						
EVR 10	0.1	6.58	6.84	6.99	7.00	6.82
	0.2	9.23	9.62	9.85	9.86	9.62
	0.3	11.22	11.72	12.00	12.03	11.74
	0.4	12.85	13.45	13.79	13.84	13.52
	0.8	17.61	18.56	19.14	19.28	18.89
	1.6	23.31	24.97	26.04	26.44	26.06
EVR 15	0.1	10.13	10.54	10.77	10.78	10.51
	0.2	14.22	14.82	15.16	15.19	14.81
	0.3	17.28	18.04	18.48	18.53	18.09
	0.4	19.80	20.71	21.24	21.32	20.82
	0.8	27.13	28.59	29.48	29.70	29.09
	1.6	35.90	38.45	40.10	40.72	40.14
EVR 18	0.1	13.26	13.80	14.10	14.11	13.75
	0.2	18.61	19.40	19.85	19.88	19.39
	0.3	22.62	23.62	24.20	24.26	23.68
	0.4	25.91	27.11	27.81	27.90	27.26
	0.8	35.51	37.42	38.59	38.87	38.09
	1.6	46.99	50.33	52.49	53.31	52.55
EVR 20	0.1	21.03	21.89	22.37	22.38	21.81
	0.2	29.52	30.77	31.48	31.53	30.76
	0.3	35.87	37.47	38.38	38.48	37.56
	0.4	41.10	43.01	44.11	44.26	43.24
	0.8	56.32	59.36	61.21	61.66	60.41
	1.6	74.54	79.84	83.26	84.56	83.35
EVR 22	0.1	23.98	24.96	25.51	25.52	24.88
	0.2	33.66	35.10	35.91	35.96	35.08
	0.3	40.91	42.73	43.77	43.88	42.83
	0.4	46.88	49.05	50.31	50.48	49.31
	0.8	64.23	67.70	69.81	70.32	68.90
	1.6	85.01	91.05	94.95	96.44	95.06

ホットガス温度 t_h が 10 K 上昇すると $t_h = t_c + 25$ °C に基づいてバルブ容量は約 2% 減少させます。またその逆の場合もあります。

蒸発温度 t_e が変わるとバルブ容量も変化します。補正係数の表を参照してください。

補正係数

バルブを選定する際は、蒸発温度 t_e に応じた補正係数を下表から求め、要求されるホットガス容量に乘じる必要があります。

蒸発温度 t_e の補正係数

t_e [° C]	-40	-30	-20	-10	0	10	15
R290	0.88	0.92	0.96	1.00	1.04	1.07	1.09

ホットガス容量
(続き)

形式	バルブ前後の 圧力損失 Δp bar	ホットガス容量 Qh [Kw] 蒸発温度 t _e = -10.0 [° C]. ホットガス温度 t _h = t _c + 25.0 [K], 過冷却 Δt _{sub} = 4.0 [K]				
		凝縮温度 t _c [° C]				
		20	30	40	50	60
R600a						
EVR 2	0.1	0.33	0.35	0.37	0.37	0.37
	0.2	0.46	0.49	0.51	0.52	0.52
	0.3	0.55	0.59	0.62	0.63	0.63
	0.4	0.62	0.67	0.70	0.72	0.73
	0.8	0.79	0.88	0.94	0.98	1.00
	1.6	0.89	1.06	1.19	1.28	1.32
EVR 3	0.1	0.60	0.63	0.66	0.67	0.67
	0.2	0.82	0.88	0.92	0.94	0.94
	0.3	0.99	1.06	1.11	1.14	1.14
	0.4	1.11	1.20	1.27	1.30	1.31
	0.8	1.43	1.58	1.70	1.77	1.79
	1.6	1.60	1.91	2.14	2.30	2.37
EVR 4	0.1	1.50	1.59	1.66	1.69	1.68
	0.2	2.07	2.22	2.32	2.37	2.36
	0.3	2.48	2.67	2.80	2.87	2.87
	0.4	2.80	3.03	3.19	3.28	3.29
	0.8	3.59	3.99	4.28	4.46	4.51
	1.6	4.02	4.81	5.40	5.79	5.97
EVR 6	0.1	1.96	2.08	2.17	2.21	2.20
	0.2	2.71	2.90	3.03	3.10	3.09
	0.3	3.25	3.49	3.67	3.76	3.76
	0.4	3.67	3.97	4.18	4.30	4.31
	0.8	4.70	5.22	5.61	5.84	5.90
	1.6	5.27	6.30	7.07	7.58	7.82
EVR 8	0.1	2.34	2.48	2.58	2.63	2.62
	0.2	3.23	3.45	3.61	3.69	3.68
	0.3	3.87	4.16	4.37	4.48	4.48
	0.4	4.37	4.72	4.98	5.12	5.13
	0.8	5.60	6.22	6.68	6.95	7.03
	1.6	6.27	7.50	8.42	9.03	9.31

ホットガス温度 t_h が 10 K 上昇すると t_h = t_c + 25 °C に基づいてバルブ容量を約 2% 減少させます。またその逆の場合もあります。

蒸発温度 t_e が変わるとバルブ容量も変化します。補正係数の表を参照してください。

補正係数

バルブを選定する際は、蒸発温度 t_e に応じた補正係数を下表から求め、要求されるホットガス容量に乘じる必要があります。

蒸発温度 t_e の補正係数

t _e [° C]	-40	-30	-20	-10	0	10	15
R600a	0.86	0.91	0.95	1.00	1.05	1.10	1.12

ホットガス容量
(続き)

形式	バルブ前後の 圧力損失 Δp bar	ホットガス容量 Qh [Kw] 蒸発温度 t _e = -10.0 [° C]. ホットガス温度 t _h = t _c + 25.0 [K], 過冷却 Δt _{sub} = 4.0 [K]				
		凝縮温度 t _c [° C]				
		20	30	40	50	60
R600a (続き)						
EVR 10	0.1	4.12	4.38	4.56	4.65	4.63
	0.2	5.70	6.09	6.37	6.51	6.50
	0.3	6.83	7.34	7.70	7.90	7.90
	0.4	7.70	8.33	8.78	9.03	9.05
	0.8	9.87	10.98	11.78	12.26	12.41
	1.6	11.07	13.24	14.85	15.92	16.43
EVR 15	0.1	6.35	6.75	7.02	7.16	7.13
	0.2	8.78	9.39	9.81	10.03	10.01
	0.3	10.52	11.30	11.86	12.16	12.16
	0.4	11.87	12.83	13.52	13.90	13.94
	0.8	15.20	16.91	18.14	18.89	19.11
	1.6	17.04	20.39	22.88	24.52	25.30
EVR 18	0.1	8.31	8.83	9.19	9.37	9.33
	0.2	11.50	12.29	12.84	13.12	13.10
	0.3	13.77	14.80	15.53	15.92	15.92
	0.4	15.53	16.80	17.70	18.20	18.25
	0.8	19.90	22.13	23.75	24.73	25.01
	1.6	22.31	26.69	29.95	32.10	33.12
EVR 20	0.1	13.19	14.01	14.58	14.86	14.81
	0.2	18.24	19.49	20.37	20.82	20.78
	0.3	21.84	23.47	24.63	25.25	25.26
	0.4	24.64	26.65	28.08	28.87	28.94
	0.8	31.57	35.10	37.67	39.22	39.67
	1.6	35.39	42.33	47.50	50.92	52.54
EVR 22	0,1	15,04	15,98	16,63	16,95	16,89
	0,2	20,80	22,23	23,23	23,74	23,70
	0,3	24,91	26,77	28,09	28,80	28,81
	0,4	28,10	30,39	32,02	32,93	33,01
	0,8	36,00	40,03	42,96	44,73	45,24
	1,6	40,36	48,28	54,18	58,07	59,92

ホットガス温度 t_h が 10 K 上昇すると t_h = t_c + 25 °C に基づいてバルブ容量は約 2% 減少させます。またその逆の場合もあります。

蒸発温度 t_e が変わるとバルブ容量も変化します。補正係数の表を参照してください。

補正係数

バルブを選定する際は、蒸発温度 t_e に応じた補正係数を下表から求め、要求されるホットガス容量に乘じる必要があります。

蒸発温度 t_e の補正係数

t _e [° C]	-40	-30	-20	-10	0	10	15
R600a	0.86	0.91	0.95	1.00	1.05	1.10	1.12

ホットガス容量
(続き)

形式	凝縮温度 t_c [°C]	バルブ前後の圧力損失 Δp [bar] 時のホットガス容量 G_h [kg/h]								
		ホットガス温度 $t_h = 60^\circ\text{C}$								
		0.5	1	2	3	4	5	6	7	8
R22/R407C										
EVR 2	25	20	27	36	41	44	46	46	46	46
	35	23	32	43	50	55	58	60	61	61
	45	27	38	51	60	67	72	75	78	79
EVR 3	25	35	49	65	74	79	82	83	83	83
	35	42	57	77	90	99	104	108	109	110
	45	49	68	92	109	120	129	136	140	143
EVR 4	25	89	123	163	186	200	207	208	208	208
	35	105	145	195	227	249	263	272	276	276
	45	123	170	232	273	303	325	341	352	359
EVR 6	25	117	160	213	244	262	270	272	272	272
	35	137	189	255	297	326	344	356	361	361
	45	160	223	304	358	397	426	447	461	470
EVR 8	25	139	191	254	290	312	322	324	324	324
	35	163	226	304	354	388	410	423	430	430
	45	191	265	362	426	473	507	532	549	560
EVR 10	25	246	337	447	512	550	568	572	572	572
	35	288	398	536	625	684	724	747	758	759
	45	337	468	638	752	834	895	939	969	988
EVR 15	25	378	519	689	788	847	875	881	881	881
	35	443	613	826	962	1054	1114	1151	1167	1169
	45	519	721	983	1158	1285	1378	1446	1493	1522
EVR 18	25	495	679	902	1032	1108	1146	1153	1153	1153
	35	581	802	1082	1260	1380	1459	1506	1528	1530
	45	679	944	1286	1516	1682	1804	1893	1954	1992
EVR 20	25	785	1078	1430	1637	1758	1817	1830	1830	1830
	35	921	1273	1716	1998	2188	2314	2389	2423	2427
	45	1078	1497	2040	2405	2669	2862	3003	3100	3160
EVR 22	25	896	1229	1631	1867	2005	2072	2087	2087	2087
	35	1050	1451	1957	2279	2496	2639	2725	2764	2768
	45	1229	1707	2327	2743	3043	3264	3424	3535	3604
EVR 25	25	1286	1764	2342	2680	2878	2975	2995	2995	2995
	35	1508	2083	2809	3271	3583	3788	3911	3967	3973
	45	1764	2451	3340	3937	4369	4686	4916	5074	5174
EVR 32	25	2197	3015	4002	4580	4918	5084	5119	5119	5119
	35	2576	3560	4800	5590	6122	6473	6684	6779	6790
	45	3015	4188	5708	6728	7466	8008	8400	8672	8841
EVR 40	25	3179	4361	5789	6625	7114	7354	7404	7404	7404
	35	3726	5150	6943	8086	8856	9364	9668	9806	9821
	45	4361	6058	8257	9732	10799	11583	12151	12544	12789

ホットガス温度 t_h が10 K以上上昇すると $t_h = t_c + 25^\circ\text{C}$ に基づいてバルブ容量は約 2% 減少させます。またその逆の場合もあります。

蒸発温度 t_e が変わると、バルブ容量も変化します。

ホットガス容量
(続き)

形式	凝縮温度 t_c [°C]	バルブ前後の圧力損失 Δp [bar]時のホットガス容量 G_h [kg/h] ホットガス温度 $t_h = 60^\circ\text{C}$								
		0.5	1	2	3	4	5	6	7	8
R134a										
EVR 2	25	17	22	28	30	31	31	31	-	-
	35	20	27	35	39	41	42	42	42	42
	45	24	32	43	49	53	55	56	56	56
EVR 3	25	30	40	51	55	55	55	55	-	-
	35	36	49	63	71	74	75	75	75	75
	45	42	58	77	89	96	100	101	101	101
EVR 4	25	75	101	128	138	139	139	139	-	-
	35	90	122	159	179	187	189	189	189	189
	45	107	146	195	224	241	251	254	254	254
EVR 6	25	99	132	167	180	182	182	182	-	-
	35	118	160	209	234	245	247	247	247	247
	45	140	192	255	293	316	328	332	332	332
EVR 8	25	117	158	199	215	216	216	216	-	-
	35	140	191	248	279	292	294	294	294	294
	45	166	228	304	349	376	391	395	395	395
EVR 10	25	207	278	351	379	381	381	381	-	-
	35	247	336	438	491	515	519	519	519	519
	45	293	403	536	616	664	690	698	698	698
EVR 15	25	319	428	541	583	587	587	587	-	-
	35	380	518	675	757	793	799	799	799	799
	45	451	620	826	948	1023	1062	1074	1074	1074
EVR 18	25	417	560	708	764	769	769	769	-	-
	35	498	678	884	991	1038	1046	1046	1046	1046
	45	591	812	1081	1242	1339	1390	1406	1406	1406
EVR 20	25	662	889	1123	1211	1220	1220	1220	-	-
	35	790	1075	1402	1572	1647	1658	1658	1658	1658
	45	937	1288	1715	1969	2123	2205	2231	2231	2231
EVR 22	25	755	1014	1281	1381	1391	1391	1391	-	-
	35	901	1226	1599	1792	1879	1891	1891	1891	1891
	45	1069	1469	1956	2246	2421	2515	2544	2544	2544
EVR 25	25	1084	1455	1838	1983	1997	1997	1997	-	-
	35	1293	1760	2295	2573	2697	2715	2715	2715	2715
	45	1535	2108	2807	3224	3476	3610	3652	3652	3652
EVR 32	25	1852	2487	3142	3388	3412	3412	3412	-	-
	35	2210	3008	3922	4397	4608	4640	4640	4640	4640
	45	2622	3603	4797	5510	5940	6169	6241	6242	6242
EVR 40	25	2679	3597	4545	4901	4935	4935	4935	-	-
	35	3196	4350	5673	6360	6666	6712	6712	6712	6712
	45	3793	5212	6939	7970	8592	8924	9028	9028	9028

ホットガス温度 t_h が10 K上昇すると $t_h = t_c + 25^\circ\text{C}$ に基づいてバルブ容量は約 2% 減少させます。またその逆の場合もあります。

蒸発温度 t_e が変わるとバルブ容量も変化します。

ホットガス容量
(続き)

形式	凝縮温度 t_c [°C]	バルブ前後の圧力損失 Δp [bar]時のホットガス容量 G_h [kg/h] ホットガス温度 $t_h = 60^\circ\text{C}$								
		0.5	1	2	3	4	5	6	7	8
R404A/R507										
EVR 2	25	24	33	44	50	55	57	58	59	59
	35	28	39	52	61	68	72	75	77	78
	45	33	46	63	75	83	90	95	98	101
EVR 3	25	43	59	78	91	98	103	105	105	105
	35	50	70	94	111	122	130	135	139	140
	45	60	83	114	134	150	162	171	177	182
EVR 4	25	107	148	198	228	248	259	265	265	265
	35	126	175	238	278	307	327	341	349	353
	45	150	209	286	339	378	407	430	446	458
EVR 6	25	140	193	259	299	324	339	346	347	347
	35	165	229	311	364	402	428	446	457	462
	45	196	273	374	443	494	533	562	584	600
EVR 8	25	167	230	308	356	386	404	412	414	414
	35	197	273	370	434	479	510	531	544	550
	45	234	326	446	528	589	635	670	696	714
EVR 10	25	295	406	543	628	681	713	728	730	730
	35	348	482	653	766	844	900	937	960	970
	45	413	574	786	931	1038	1120	1181	1227	1260
EVR 15	25	454	625	837	967	1049	1098	1120	1124	1124
	35	535	742	1006	1179	1301	1386	1444	1479	1494
	45	636	885	1211	1434	1599	1725	1820	1890	1941
EVR 18	25	594	818	1095	1265	1373	1437	1467	1471	1471
	35	701	971	1317	1544	1703	1814	1890	1935	1956
	45	832	1158	1585	1877	2093	2257	2382	2474	2540
EVR 20	25	942	1298	1737	2007	2178	2280	2327	2333	2333
	35	1111	1540	2089	2448	2701	2878	2997	3070	3103
	45	1320	1837	2515	2978	3321	3581	3778	3925	4029
EVR 22	25	1075	1480	1981	2289	2484	2600	2653	2661	2661
	35	1268	1757	2382	2792	3080	3282	3418	3501	3539
	45	1505	2095	2868	3396	3787	4084	4309	4476	4595
EVR 25	25	1543	2125	2844	3285	3566	3732	3809	3819	3819
	35	1820	2521	3419	4008	4421	4711	4907	5026	5080
	45	2161	3008	4117	4875	5436	5862	6185	6426	6597
EVR 32	25	2636	3631	4860	5614	6094	6377	6509	6527	6527
	35	3110	4309	5843	6850	7555	8051	8385	8589	8681
	45	3692	5140	7035	8331	9290	10018	10570	10981	11273
EVR 40	25	3814	5252	7029	8121	8814	9225	9415	9441	9441
	35	4498	6233	8452	9908	10929	11646	12130	12424	12557
	45	5341	7434	10176	12051	13438	14491	15290	15884	16306

ホットガス温度 t_h が10 K上昇すると $t_h = t_c + 25^\circ\text{C}$ に基づいてバルブ容量は約 2% 減少させます。またその逆の場合もあります。

蒸発温度 t_e が変わるとバルブ容量も変化します。

ホットガス容量
(続き)

形式	凝縮温度 t_c [°C]	バルブ前後の圧力損失 Δp [bar]時のホットガス容量 G_h [kg/h]								
		ホットガス温度 $t_h = 60^\circ\text{C}$								
		0.5	1	2	3	4	5	6	7	8
R410A										
EVR 2	25	24	33	45	52	58	62	65	67	68
	35	28	39	53	63	71	77	81	85	87
	45	33	46	64	77	86	94	101	106	110
EVR 3	25	42	59	80	94	104	112	117	120	122
	35	50	70	96	114	128	138	146	152	157
	45	60	84	115	138	156	170	181	191	198
EVR 4	25	107	148	202	237	263	281	294	302	307
	35	126	176	242	287	321	347	368	384	396
	45	150	210	291	348	392	427	456	480	500
EVR 6	25	140	194	264	311	344	368	384	396	402
	35	165	230	316	376	420	455	482	502	518
	45	197	275	381	455	513	559	597	629	654
EVR 8	25	167	231	315	370	409	438	458	471	479
	35	197	274	377	447	501	542	574	598	617
	45	235	328	453	542	611	666	711	749	779
EVR 10	25	294	408	555	652	722	772	808	831	844
	35	347	484	665	789	883	956	1012	1055	1088
	45	414	579	800	956	1078	1175	1255	1321	1374
EVR 15	25	453	628	855	1005	1112	1190	1244	1280	1300
	35	535	746	1024	1216	1360	1472	1559	1626	1676
	45	637	891	1231	1473	1660	1810	1933	2034	2117
EVR 18	25	593	822	1119	1315	1456	1557	1629	1676	1702
	35	700	976	1340	1592	1780	1927	2040	2128	2194
	45	834	1166	1612	1928	2173	2370	2530	2663	2771
EVR 20	25	940	1305	1774	2086	2309	2470	2583	2658	2700
	35	1111	1548	2125	2524	2824	3056	3236	3375	3480
	45	1323	1850	2557	3058	3446	3759	4014	4223	4395
EVR 22	25	1072	1488	2024	2380	2634	2817	2946	3032	3080
	35	1267	1766	2424	2879	3221	3485	3691	3849	3969
	45	1509	2110	2916	3488	3931	4287	4578	4817	5013
EVR 25	25	1539	2136	2905	3416	3781	4044	4229	4352	4421
	35	1819	2535	3480	4133	4623	5003	5298	5526	5697
	45	2166	3029	4186	5006	5642	6153	6571	6914	7196
EVR 32	25	2630	3650	4964	5837	6461	6910	7227	7437	7554
	35	3108	4332	5946	7063	7901	8549	9054	9443	9735
	45	3702	5176	7153	8555	9642	10515	11229	11816	12297
EVR 40	25	3805	5279	7180	8444	9345	9996	10455	10757	10928
	35	4496	6266	8601	10216	11429	12367	13096	13659	14082
	45	5355	7487	10347	12375	13947	15211	16243	17091	17787

ホットガス温度 t_h が10 K上昇すると $t_h = t_c + 25^\circ\text{C}$ に基づいてバルブ容量は約 2% 減少させます。またその逆の場合もあります。

蒸発温度 t_e が変わるとバルブ容量も変化します。

ホットガス容量
(続き)

形式	凝縮温度 t_c [°C]	バルブ前後の圧力損失 Δp [bar]時のホットガス容量 G_h [kg/h] ホットガス温度 $t_h = 60^\circ \text{C}$								
		0.5	1	2	3	4	5	6	7	8
R32										
EVR 2	25	20	28	38	45	49	52	54	55	56
	35	24	33	45	54	60	65	69	71	73
	45	28	39	54	65	73	80	85	90	93
EVR 3	25	36	50	68	80	89	94	98	100	100
	35	43	60	82	97	109	117	124	128	132
	45	51	71	98	117	132	144	154	161	167
EVR 4	25	107	150	204	240	265	282	292	298	298
	35	126	178	244	290	324	350	369	383	393
	45	149	212	293	350	394	430	458	481	499
EVR 6	25	125	177	240	282	311	331	344	350	351
	35	148	209	287	341	381	412	434	451	462
	45	175	249	344	412	464	505	539	566	587
EVR 8	25	166	234	318	374	413	439	456	464	465
	35	196	277	381	452	505	545	576	598	612
	45	232	330	456	546	615	670	714	750	778
EVR 10	25	260	365	496	582	643	684	710	723	724
	35	306	432	593	704	787	850	897	931	954
	45	363	514	711	850	958	1043	1112	1168	1212
EVR 15	25	401	559	761	893	986	1049	1089	1108	1111
	35	473	662	910	1080	1207	1303	1375	1428	1463
	45	561	788	1090	1304	1469	1600	1706	1792	1859
EVR 18	25	493	690	938	1102	1216	1294	1344	1368	1371
	35	582	817	1122	1333	1489	1608	1697	1762	1805
	45	690	973	1345	1608	1812	1974	2105	2210	2293
EVR 20	25	804	1133	1540	1809	1996	2125	2206	2245	2251
	35	948	1342	1843	2188	2445	2639	2786	2892	2963
	45	1125	1597	2207	2640	2975	3241	3456	3629	3765
EVR 22	25	916	1273	1737	2050	2278	2447	2571	2659	2717
	35	1080	1507	2074	2470	2771	3008	3196	3345	3462
	45	1281	1792	2482	2975	3360	3673	3932	4148	4328

ホットガス温度 t_h が10 K上昇すると $t_h = t_c + 25^\circ \text{C}$ に基づいてバルブ容量は約 2% 減少させます。またその逆の場合もあります。

蒸発温度 t_e が変わるとバルブ容量も変化します。

ホットガス容量
(続き)

形式	バルブ前後の圧力損失 Δp [bar]時のホットガス容量 G_h [kg/h]									
	ホットガス温度 $t_h = 60^\circ \text{C}$									
	0.5	1	2	3	4	5	6	7	8	
R290										
EVR 2	25	13	18	24	27	29	29	29	29	29
	35	16	22	29	33	36	38	38	38	38
	45	18	25	34	40	44	47	48	49	50
EVR 3	25	24	33	43	49	52	53	53	53	53
	35	28	39	52	60	65	68	69	69	69
	45	33	45	61	72	79	84	87	89	90
EVR 4	25	61	83	109	124	131	133	133	133	133
	35	71	98	130	151	163	171	174	174	174
	45	82	114	155	181	199	212	220	224	226
EVR 6	25	80	109	143	162	171	174	174	174	174
	35	93	128	171	197	214	223	227	228	228
	45	108	149	202	237	260	277	288	294	296
EVR 8	25	95	130	170	193	204	208	208	208	208
	35	110	152	203	235	254	266	271	271	271
	45	129	178	241	282	310	330	342	350	352
EVR 10	25	167	229	300	340	360	366	366	366	366
	35	195	268	359	414	449	469	478	479	479
	45	227	314	425	497	547	582	604	617	622
EVR 15	25	258	352	463	523	554	564	564	564	564
	35	300	413	553	638	691	722	736	737	737
	45	349	483	654	766	843	896	931	950	957
EVR 18	25	337	461	606	685	726	738	738	738	738
	35	393	541	723	835	905	946	963	965	965
	45	457	633	857	1002	1103	1173	1218	1244	1253
EVR 20	25	535	731	960	1087	1151	1171	1171	1171	1171
	35	623	858	1147	1324	1435	1500	1528	1531	1531
	45	725	1004	1359	1590	1750	1860	1932	1973	1988
EVR 22	25	610	834	1095	1239	1313	1335	1335	1335	1335
	35	711	979	1308	1510	1637	1710	1743	1746	1746
	45	827	1145	1550	1813	1995	2121	2204	2250	2267

ホットガス温度 t_h が10 K上昇すると $t_h = t_c + 25^\circ \text{C}$ に基づいてバルブ容量は約 2 % 減少させます。またその逆の場合もあります。

蒸発温度 t_e が変わるとバルブ容量も変化します。

ホットガス容量
(続き)

形式	凝縮温度 t_c [°C]	バルブ前後の圧力損失 Δp [bar]時のホットガス容量 G_h [kg/h]								
		ホットガス温度 $t_h = 60^\circ\text{C}$								
		0.5	1	2	3	4	5	6	7	8
R600a										
EVR 2	25	9	11	12	12	-	-	-	-	-
	35	10	13	16	16	16	-	-	-	-
	45	12	16	20	21	21	21	21	-	-
EVR 3	25	15	19	21	21	-	-	-	-	-
	35	18	24	28	29	29	-	-	-	-
	45	22	29	36	38	38	38	38	-	-
EVR 4	25	39	49	54	54	-	-	-	-	-
	35	46	60	72	72	72	-	-	-	-
	45	55	73	91	96	96	96	96	-	-
EVR 6	25	51	64	71	71	-	-	-	-	-
	35	61	79	94	95	95	-	-	-	-
	45	71	95	119	125	125	125	125	-	-
EVR 8	25	60	77	84	84	-	-	-	-	-
	35	72	94	112	113	113	-	-	-	-
	45	85	113	141	149	149	149	149	-	-
EVR 10	25	106	135	148	148	-	-	-	-	-
	35	127	166	197	199	199	-	-	-	-
	45	150	200	249	263	263	263	263	-	-
EVR 15	25	164	208	228	228	-	-	-	-	-
	35	196	256	303	307	307	-	-	-	-
	45	231	308	384	406	406	406	406	-	-
EVR 18	25	214	272	299	299	-	-	-	-	-
	35	256	335	397	401	401	-	-	-	-
	45	303	404	502	531	531	531	531	-	-
EVR 20	25	340	432	474	474	-	-	-	-	-
	35	407	532	630	637	637	-	-	-	-
	45	480	640	797	842	843	843	843	-	-
EVR 22	25	388	493	541	541	-	-	-	-	-
	35	464	607	719	726	726	-	-	-	-
	45	547	730	908	960	961	961	961	-	-

ホットガス温度 t_h が 10 K 上昇すると $t_h = t_c + 25^\circ\text{C}$ に基づいてバルブ容量は約 2% 減少させます。またその逆の場合もあります。

蒸発温度 t_e の変わるとバルブ容量も変化します。

カタログ、ブローシャー、その他の印刷物に方が一間違いが含まれていたとしても、Danfoss社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。なおDanfoss社は予告なしに製品に変更を加える権利を保有しています。既にご注文をいただいている製品に関しても、注文品の詳細に影響を及ぼさない範囲内で、変更することがあります。印刷物に記載されている商標はDanfoss社の所有物件です。名称DanfossおよびDanfossのロゴタイプはDanfoss社の商標で、それに関するすべての権利はDanfoss社に帰属します。